

秋田県の 絶滅のおそれのある 野生生物

Threatened Wildlife of Akita Prefecture 2002

2002

秋田県版
レッドデータ
ブック
植物編

Red
Data
Book of
Akita
Prefecture
Plants

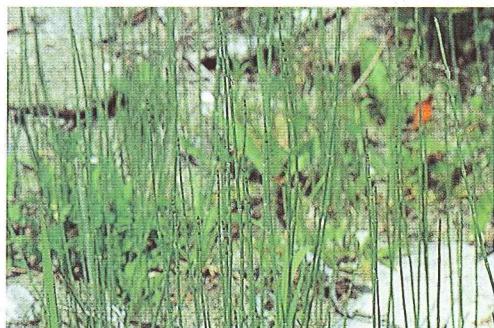


秋田県環境と文化のむら協会

表紙写真

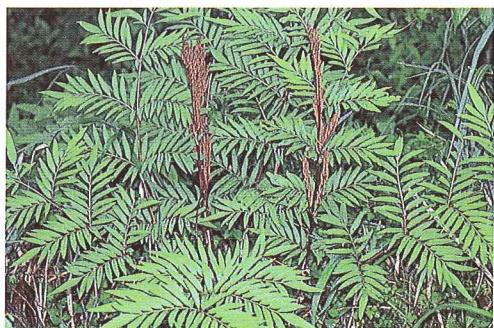
ミズスキ 沖田 貞敏撮影	ネムロコウホネ 青木 満撮影	ヤチツツジ 青木 満撮影
ヤマトミクリ 沖田 貞敏撮影	ヒナチドリ 高田 順撮影	アオモリマンテマ 青木 満撮影
フサタヌキモ 沖田 貞敏撮影	ダケスゲ 高田 順撮影	サンショウウモ 沖田 貞敏撮影

維管束植物



イヌドクサ 絶滅種 (EX)

高田 順撮影 P. 29



ヤシヤゼンマイ 絶滅危惧種 I A類 (CR)

沖田 貞敏撮影 P. 33



オオアカウキクサ 絶滅種 (EX)

高田 順撮影 P. 29



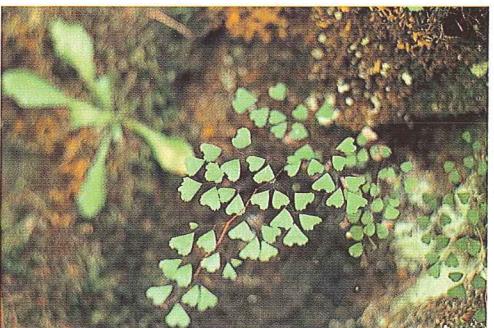
キジノオシダ 絶滅危惧種 I A類 (CR)

高田 順撮影 P. 34



ヒシモドキ 絶滅種 (EX)

高田 順撮影 P. 31



ハコネシダ 絶滅危惧種 I A類 (CR)

沖田 貞敏撮影 P. 34



ミズスギ 絶滅危惧種 I A類 (CR)

沖田 貞敏撮影 P. 33



イヌチャセンシダ 絶滅危惧種 I A類 (CR)

高田 順撮影 P. 35



エゾデンダ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 38



ヒロハカツラ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 41



ネバリタデ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 39



ヒメキンポウゲ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 41



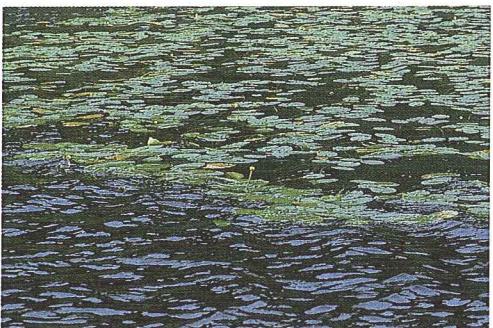
チョウカイフスマ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 40



シナノキンバイ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 42



ミドリアカザ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 40



ネムロコウホネ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 42



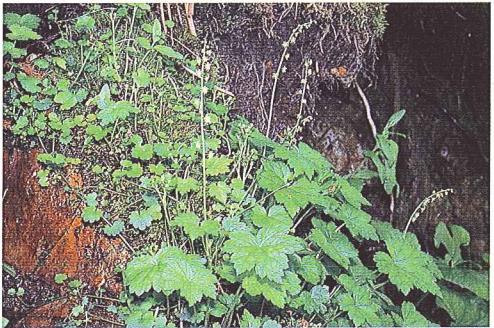
コマクサ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 43



アカヒガボタン 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 44



キバナハタザオ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 43



エゾノチャルメルソウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 44



イワベンケイ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 43



ザリコミ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 45



アラシグサ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 44



エゾツツルキンバイ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 46



キンロバイ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 46



タカネスマレ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 48



マルバシャリンバイ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 46



シハイスマレ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 49



タカネイバラ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 46



コパノイチヤクソウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 50



エゾノタチツボスミレ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 48



ヤチツツジ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 50



ヒメクロマメノキ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 50



ムラサキ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 53



ミチノクコザクラ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
菊地 卓弥撮影 P. 51



ムシャリンドウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 53



オオサクラソウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 51



キセワタ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 54



タカネセンブリ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 52



ヤマジノタツナミソウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 54



ミチノクコゴメグサ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 55



リンネソウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 56



キクモ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 55



エゾヒヨウタンボク 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 57



イワブクロ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 56



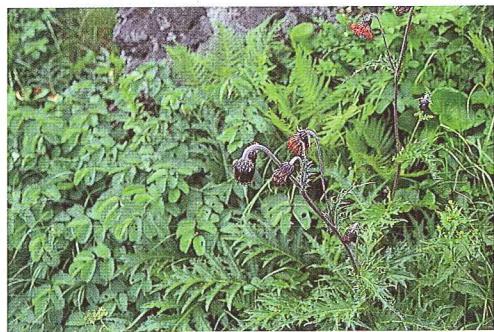
イワギキョウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 58



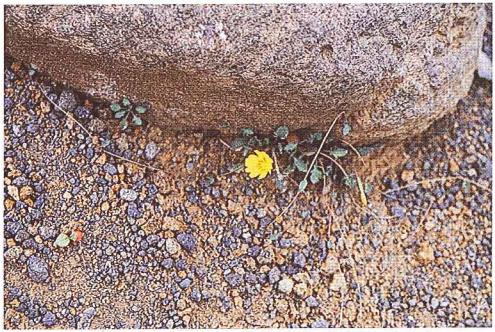
ヒメカワガタ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 56



ハリオニアザミ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 59



チョウカイアザミ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 59



ミヤマイワニガナ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 60



ウゴシオギク 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 59



カワラニガナ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 60



ムカシヨモギ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 60



コオニタビラコ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 61



ミヤマアズマギク 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 60



ミヤマウスユキソウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 61



オタカラコウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 61



ホソバノシバナ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 63



スプタ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 62



ホッスマ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 63



トチカガミ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 62



トリゲモ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 64



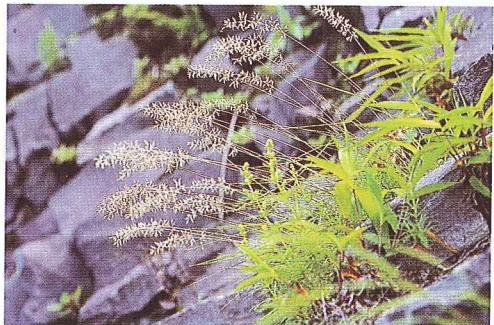
オオシバナ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 63



イトイバラモ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 64



ミクリゼキショウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 66



ミノボロ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 68



カニツリノガリヤス 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 67



オガイチゴツナギ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 68



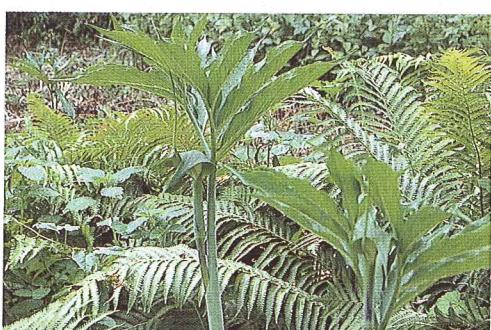
ヒナガリヤス 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 67



チシマカニツリ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 69



ツクシガヤ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 68



マイヅルテンナンショウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 69



ヒメカイウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 69



ダケスゲ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 72



ヤマトミクリ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 70



キンスゲ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 72



ヤガミスゲ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 71



イワスゲ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 72



ウスイロスゲ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 71



カンエンガヤツリ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 72



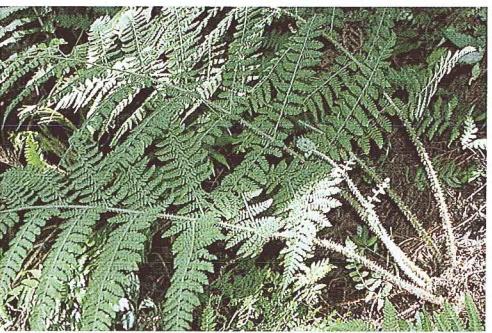
チョウセンキバナノアツモリソウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 73



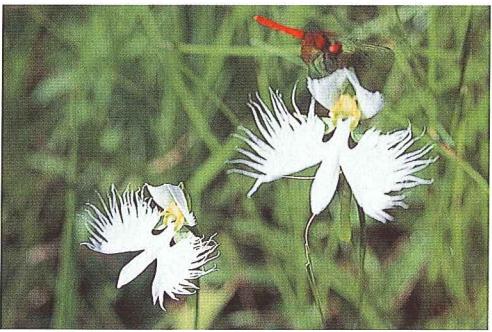
タカネサギソウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
高田 順撮影 P. 75



フジチドリ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 74



キヨスミヒメワラビ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 79



サギソウ 絶滅危惧種 I A類 (CR)
沖田 貞敏撮影 P. 74



ゲジゲジシダ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 80



ホザキイチヨウラン 絶滅危惧種 I A類 (CR)
青木 満撮影 P. 75



ヌリワラビ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 82



ネズ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 83



ハクサンイチゲ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 86



ヤマミズ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 83



リュウキンカ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 86



アオモリマンテンマ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
青木 満撮影 P. 85



オキナグサ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 87



スマソウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 86



ナンブソウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 88



コシノカンアオイ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 88



オオタカネイバラ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 92



オサバグサ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 89



ハマフウロ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 94



オオシラヒゲソウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
菊地 卓弥撮影 P. 91



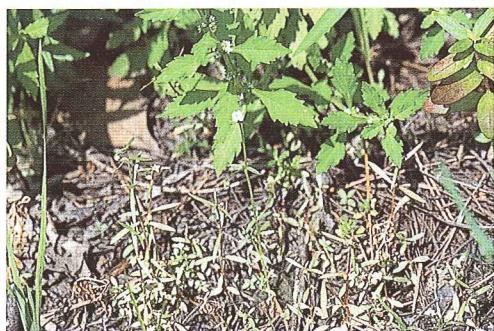
シナノタイゲキ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 94



タコノアシ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 91



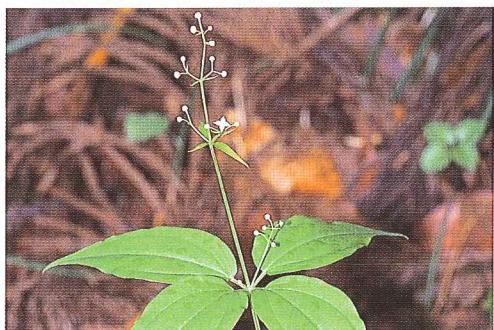
スギナモ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 98



ヒメナエ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 102



フサタヌキモ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 107



オオキヌタソウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 103



ヒメタヌキモ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 107



ママコナ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 105



キキョウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 108



ムシトリスミレ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 107



エゾノキツネアザミ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 109



オオトリゴモ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 112



チシマセキショウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 114



シロウマアサツキ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 112



オオバナノエンレイソウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 115



ヤマラッキョウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 113



ミズアオイ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 115



キヌガサソウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 114



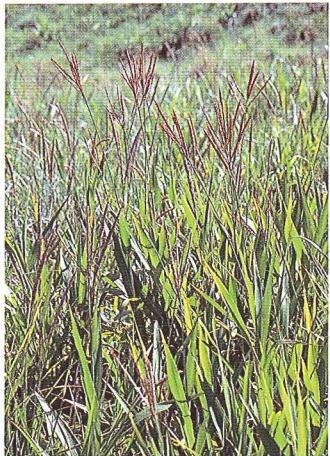
ミヤマヒナホシクサ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 116



ヒナザサ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 117



マルホハリイ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 127



アイアシ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 118



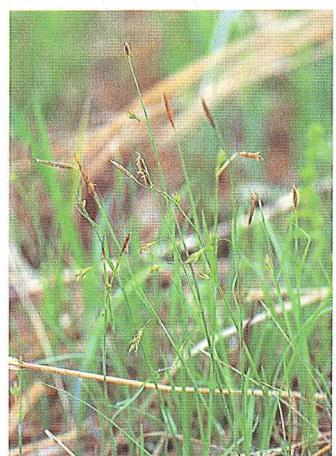
アオテンツキ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 128



ヒゲシバ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
菊地 卓弥撮影 P. 120



サルメンエビネ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 129



エゾツリスゲ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 124



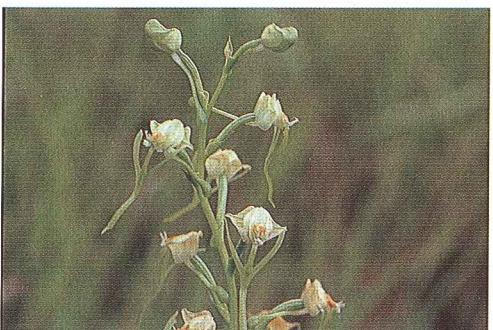
トケンラン 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 130



ツチアケビ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 131



ミズチドリ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 135



ミズトンボ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
菊地 卓弥撮影 P. 132



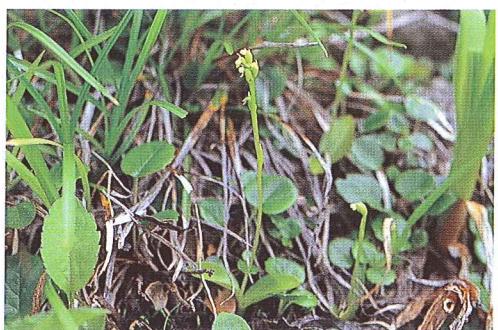
ツレサギソウ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 135



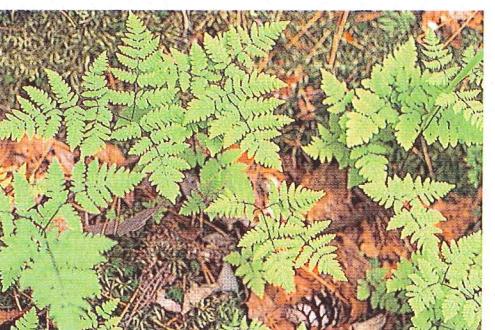
ヒナチドリ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
高田 順撮影 P. 134



リシリシノブ 絶滅危惧種 II類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 137



タカネトンボ 絶滅危惧種 I B類 (EN)
沖田 貞敏撮影 P. 134



ウサギシダ 絶滅危惧種 II類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 138



サンショウモ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 139



ハンゲショウ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 144



ヌカボタデ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 141



タコアシオトギリ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 144



ウゼントリカブト 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 142



エゾワサビ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 145



フクジュソウ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 143



ツガルミセバヤ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 146



ハクサンタイゲキ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 149



アザザ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 155



ヒゴスミレ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 151



チョウジソウ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 155



ヤナギラン 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 151



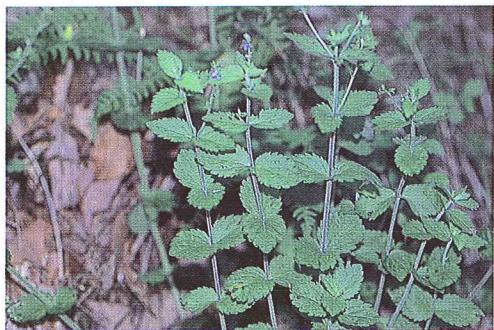
コシジタビラコ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 156



カラフトニンジン 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 152



サンインヒキオコシ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
菊地 卓弥撮影 P. 156



ヒヨクソウ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 158



ハイドジョウツナギ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 166



サワシロギク 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 160



タマミクリ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 167



ニッコウアザミ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 161



コアニチドリ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 171



タカユイヌノヒゲ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
高田 順撮影 P. 165



トキソウ 絶滅危惧種 II 類 (VU)
沖田 貞敏撮影 P. 172

目 次

口 絵

発刊にあたって

秋田県の自然環境の概要	7
秋田県版レッドデータブックの概要	11
掲載種の解説	
維管束植物	25
秋田県の自然公園・自然環境保全地域等一覧	195
著者、写真提供者	199
索引	201

発刊にあたって

秋田県は日本海と奥羽山脈に囲まれた約116万km²、全国第6位の県土を有しています。変化に富んだ地形と湿潤な気候のもと、豊かな自然がはぐくまれてきました。砂浜と岩礁からなる海岸地帯、古くから耕作が行われてきた平野部、白神山地のブナ林や原生的な和賀山塊に代表される山岳地帯など、県内には様々な自然環境が存在し、そこには多種多様な動植物が生息・生育してきました。

しかしながら、豊かな自然が残されてきた秋田県においても、近年の社会・経済システムや生活スタイルの変化は著しいものでした。様々な開発行為、宅地や農地の造成、森林の伐採、河川の整備などは、その地形を改変するだけでなく、多様な野生生物やその生息・生育環境にも多大な影響を及ぼしてきました。あるものは個体数を大きく減少させ、さらには絶滅に至ったものも知られています。

野生生物が減少、絶滅したということは、様々な生物が生息できる環境までもが失われてきたことを意味しています。このことはまた、我々人間がよって立つ自然環境が失われつつあることを示しているのです。このようなことを背景に近年、様々な野生生物とそれらが生息・生育できる自然環境の保全の重要性が広く認識されるようになりました。

野生生物を人為的に絶滅させないためには、まず絶滅のおそれのある種を的確に把握する必要があります。そのため秋田県では、秋田県版レッドリストの作成に取り組んできました。このたび秋田県の御協力により、「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物2002 秋田県版レッドデータブック動物編」「同 植物編」を本協会より発行する運びとなりました。

本書は秋田県版レッドリストを基に県内の希少野生生物の現状を取りまとめたものであり、今後の希少野生生物の保護や生物多様性の保全対策などの基礎資料として活用されることを刊行の目的としています。県民のみならず、研究者、関係各機関等が広く本書を活用され、県内の自然環境保全の推進にそれぞれの立場からさらに御協力を賜りますようお願いいたします。

平成14年3月

秋田県環境と文化のむら協会会長 工 藤 英 美

秋田県の 自然環境の概要

県内には、海岸地帯から高山帯までの間に、平野部、河川・湖沼地域、扇状地と湧水地帯、山麓帯から山地帯、亜高山帯等の様々な環境が存在する。そこには多種多様な生物が生息・生育し、独自の生態系を形成している。以下、主要な生態系毎に県内の自然環境の概要を述べる。

1. 森林生態系

森林は県内の生態系の中核をなしている重要な存在であり、県内に生息・生育する多くの動植物もまた、何らかの形で森林生態系にその存在基盤を依存している。

現在の森林面積は県内面積の70%余りを占めているが、森林面積の50%近くが針葉樹を中心とした人工林で、人工林の大半はスギ植林地である。その他の森林の多くは落葉広葉樹林であるが、その半分は伐採等様々な人為的影響を受けたコナラやミズナラなどからなる二次林となっている。ブナ林をはじめとする自然林の多くは、標高500～600m以高の山地部にまとまって残存している。

亜高山性の森林は、標高1,100m～1,200m以上の高標高地に遺存的に点在している。八幡平・駒ヶ岳一帯や鳥海山地域を除いていずれも小面積で連続性が少ないが、そのため固有性を保持しているとも言える。また、由利地方海岸部には暖地性の常緑広葉樹のタブノキ林等が小面積で残存している。

高標高地の森林は、日常生活圏から離れて位置すること、気象条件が厳しいことなどから、車道や登山道沿線等を除いて比較的自然性の高い生態系が維持されている。しかし、近年の中・高年者登山ブームによる立ち入りや盗掘等の影響が懸念されている。

2. 草地生態系

県内における自然草原としては、高山ハイデや高山風衝草原、亜高山性広葉草原、雪田植生等のほか、山地帯に多く見られる雪崩地植生や高茎草本群落、岩壁植生、河川の氾濫原植生、海浜地の砂丘植生や海岸風衝草原、あるいは火山・硫氣孔荒原などが代表的である。これらは砂丘植生と河川の氾濫原植生等を除いて連続性を欠いている上、面積も狭小であり、かつ遺存的に点在している。また、砂丘植生及び河川氾濫原植生等は、元来が不安定な立地に成立していると共に、人為的な影響を受けやすい状況となっている。

二次草原としては、シバ草地やススキ草地が主に里山地帯に点在している。比較的面積の大きい箇所は、寒風山一帯や一部の牧場及びスキー場等に限定されており、その他は小面積で残存しているに過ぎない。二次草原は、古くからの放牧・採草、火入れ等の人為的干渉により成立してきたが、農牧畜業の衰退や人為的干渉の減少に伴い大幅に面積を減少させ遷移による森林化が進行している。それに伴い、二次草原に依存して生息・生育する生物の減少が懸念され、二次草原の維持・管理が課題となっている。

3. 湿原生態系

県内には、釧路湿原や尾瀬ヶ原のような大規模な湿原は見られないが、低層湿原から高層湿原まで様々な発達段階の湿原が各所に点在している。

亜高山帯および山地帯上部に分布する中間湿原や高層湿原は、八幡平周辺、栗駒山、鳥海山等の主に自然公園内にあるため比較的自然度が高いが、場所によっては、盗掘・踏み付け等による影響も見られる。

一方、低山地帯や低湿地、河川氾濫原、砂丘後背地等に分布する湿原は、開田等、土地造成、公園造成などの人為的影響を古くから受けており、既に消失した湿原も多い。残されている湿原の多

くも、様々な開発行為や営農行為等から直接・間接の影響を受けており、その存続基盤は脆弱な状況にある。

また、八郎潟干拓地に成立したヨシ草原は、干拓事業により人工的に創り出された湿生湿原であるが、湿地としての規模は県内最大規模であり、鳥類等の生息地として重要である。

4. 河川・湖沼生態系

県内には、雄物川、米代川、子吉川の三大河川のほか、馬場目川、水沢川、白雪川をはじめとした多くの独立中小河川が分布している。これら河川は水生生物の生息場所としてだけではなく、周辺の河畔林が河川環境の維持・保全や、様々な動植物の移動・分散ルート等としての役割も担っている。さらに河川上流部の渓谷林は、森林生態系との連続性の確保に大きな役割を果たしている。

県内に分布する三大湖沼である十和田湖、田沢湖、八郎湖は、おのおの大規模な生態系の改変を被っており、二次的に成立した生態系となっている。山間部に位置する湖沼においても、過去に様々な魚類の放流の影響を受けているケースが散見される。

平野部に位置する大小さまざまな河跡湖やため池群の中には、県内の生物相を特徴付ける希少な淡水魚類、水生植物や湿原植物が残存している。しかし、利水等を目的とした開発、ブラックバス等の移入種による在来種の駆逐等の問題がある。

また、平鹿・仙北地域等の扇状地に多く分布する湧水地帯には、希少なイバラトミヨ雄物型や水生植物が生息・生育する特異な生態系が形成されている。この生態系は水田地帯と密接な関係があり、当該地の広域的・一体的保全が課題となっている。

5. 沿岸域生態系

県内の沿岸には暖流の対馬海流が北上しているため、緯度のわりには温暖な気候となっており、南方系の生物が由利地方、男鹿半島、岩館海岸等に線状に分布している。

県中央部で日本海に突出している男鹿半島西側一帯および北部の岩館海岸、南部の象潟海岸には自然性の高い岩礁海岸が発達し、海岸岩礁性の様々な生物群が分布している。またこれら岩礁地帯は、ハヤブサ等の猛禽類や、ウミウなどの繁殖地としても重要な位置を占めている。

岩礁海岸の間には長大な砂浜海岸が弧状に連なり、海岸砂丘植生が線状に分布しているが、道路・港湾整備やクロマツ植林による海岸防風林化等の影響を受け、本来の植生が大幅に減少している。また、砂丘後背地に見られる湿地・湖沼群も、主に江戸時代から昭和20年代にかけての開田や土地造成等の影響を受け、天王湿原などごく一部を除いて大幅に面積を減少させるとともに、自然性の低下が危惧されている。

県内の海岸線にはサンゴ礁および干潟は存在しないが、男鹿、八森、象潟の岩礁性海岸の地先には様々なタイプの藻場が分布し、特にホンダワラ類を主体とするガラモ場は、ハタハタの産卵場として不可欠な存在となっている。

また、沿岸部における特異な生態系として、塩沼湿地が小面積ながら男鹿半島の西部海岸に分布している。この塩沼湿地は、海釣り利用者等による踏みつけや漂着物による影響を部分的に受けている。

6. 耕地生態系

県内の耕地面積は県面積の13%強を占め、そのうち水田が県面積の約11%を占めており森林に次ぐ面積となっている。これら耕作地の大半は、標高200m以下の低地に分布しており、標高の高い地

域の耕地の多くは戦後の開拓や近年の農地造成によるものである。このため、ヨシ群落やハンノキ林などの原植生は、谷湿原や池沼周辺部、河川氾濫原などに断片的に残存しているに過ぎない。

耕地生態系、特に水田地帯は、河川、ため池、用排水路等と、水を介して繋がった複合的な生態系をなしている。そこには、メダカ、カエル、ホタルなどの身近な生き物が数多く生息していたが、高度経済成長期を境として、社会・経済条件の大幅な変化から、耕地における生物多様性が減少してきている。このため、一部の水生植物や淡水魚、昆虫の中には、絶滅の危惧が指摘される種まで生じている。近年は農業関係の各種事業において、環境に配慮した対策が検討されているが、人為的な影響を非常に受けやすい生態系であることには変わりがない。

7. 都市生態系

県内の主な都市は、耕地生態系同様標高100m以下の平野部に集中している。これらは、低湿地においては水田地帯及びヨシ群落やハンノキ林から、丘陵地帯においては畠地および二次林地帯などから改変されたものと考えられる。

県内の都市地域は、概して都市公園面積率が低いが、都市近郊丘陵部の二次林や海岸部のクロマツ防風林、河畔林等により森林生態系と回廊的または飛石状に連続性が確保されている地域が多い。反面、近年の都市開発は郊外の里山二次林地帯に進行しており、秋田市などでは都市中心域と森林との隔離が進行する傾向がみられる。また、都市公園や街路の植栽への郷土産樹種等の使用、河川整備時の多自然型工法等による親水性の確保と水生生物の生息・生育空間の回復が課題となっている。

-
- コケモートウヒクラス
域自然植生
 - ブナクラス域自然林
 - ブナクラス域二次林
および二次草原
 - ヤブツバキクラス域自然林
(各クラス域共通)
 - 河辺・湿原・塩沼地・
砂丘植生
 - 植林地・伐採跡地
 - 水田・畑地・人工草地・
開放水域
 - 市街地・集落

秋田県現存植生図

1/750,000

出典：「自然環境管理計画 ネイチャー秋田21」
(秋田県, 1987) 一部改変

秋田県版 レッドデータブックの概要

1. 作成の目的

レッドデータブックは、絶滅の危機にある種のリストであり、それらの種を多くの人々に広く知らせることにより種の絶滅を防止することを目的としている。

世界で最初のレッドデータブックは、1966年、国際自然保護連合（IUCN）によって発行され、その後、多くの国でレッドデータブックが作られてきた。

我が国では1989年、(財)日本自然保護協会と(財)世界自然保護基金日本委員会により「我が国における保護上重要な植物種の現状」が、1991年、環境庁（現環境省）により「日本の絶滅のおそれのある野生生物—脊椎動物編一」、「同一無脊椎動物編一」が発行された。

その後環境庁は、1994年にIUCNが採択したレッドリストカテゴリーの考え方を取り入れた新たなカテゴリーに基づき、レッドリストの見直しを行った。その結果は、1997年に両生類、爬虫類および植物、1998年に哺乳類および鳥類、1999年に汽水・淡水魚類、2000年に無脊椎動物（昆虫類、貝類、クモ類、甲殻類等）のレッドリストとして公表され、レッドデータブックとしては2000年に「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 爬虫類・両生類」、「同 植物Ⅰ（維管束植物）」および「同 植物Ⅱ（維管束植物以外）」が発行されている。

一方、都道府県においては、県版レッドデータブックの作成・公表が順次進められている。県版レッドデータブックが必要とされるのは、全国的には絶滅のおそれがないと評価されている種であっても県レベルでは絶滅に瀕している種があるなど、地域において種のおかれている状況が国レベルの状況とは必ずしも一致しないためである。したがって、県レベルで種の保全を行っていくためには、より地域に密着したレッドデータブックが必要なのである。

秋田県版レッドデータブックはこのような背景のもとに作成され、その目的は本県において絶滅のおそれのある種の現状を明らかにすることである。本書には、それ自体に法的強制力はないが、県民や事業者の皆様に本書を通じて絶滅の危機にある県内の動植物の現状を知っていただくことにより、県内の自然環境や生物多様性の保全に活用されることを期待するものである。

2. 掲載対象

今回対象とした分類群は、動物では哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、淡水魚類、昆虫類および陸産貝類、植物では維管束植物である。これらのうち、哺乳類では海棲哺乳類を対象から除き、鳥類では繁殖鳥および越冬鳥のみを対象とし、旅鳥、沖合に生息する海鳥等は対象としなかった。また昆虫類はトンボ目、カワゲラ目、カメムシ目のタガメ、コウチュウ目、トビケラ目、チョウ目のみを対象とした。対象外となった分類群については、環境省等他の機関によるレッドデータブック等を参照してほしい。

対象とした生物の単位は、種、地域個体群とし、維管束植物については雑種も対象に加えた。種の単位は、動物では種および亜種、植物では種、亜種および変種とした。

対象範囲は、本県全域に生息・生育するものとしたが、いわゆる迷鳥、迷蝶等や偶産と考えられるもの、帰化種・移入種等については対象としなかった。

3. 検討体制

本書に掲載した種は、平成10年度に設置した「秋田県版レッドリスト選定委員会」において検討し平成12年度までの3年間に公表してきた秋田県版レッドリストに、平成13年度に行った一部見直しを加えたものである。同委員会の構成は下記のとおり。

秋田県版レッドリスト選定委員会

【哺乳類】

揚妻 直樹 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター（理学博士）
東 英生 哺乳類研究所
向山 満 青森県立三戸高等学校

【鳥類】

小笠原 曜 秋田大学教育文化学部教授（理学博士）
佐藤 磯男 男鹿市立男鹿東中学校
高橋 一郎 秋田市立下浜中学校

【爬虫類、両生類】

本郷 敏夫 秋田県環境と文化のむら協会

【淡水魚類】

杉山 秀樹 秋田県水産振興センター

【昆虫類】

青谷 晃吉 秋田県教育庁義務教育課
梅津 一史 秋田県立新屋高等学校
佐々木明夫 秋田自然史研究会
佐藤 福男 秋田県農業試験場
高橋 雅彌 秋田県立秋田北高等学校
成田 弘 環境省・希少野性動植物種保存推進員（農学博士）

【陸産貝類】

川口 洋治 日本貝類学会会員

【維管束植物】

沖田 貞敏 秋田県立西仙北高等学校
菊地 卓弥 秋田県立鷹巣高等学校
高田 順 秋田自然史研究会
高橋 祥祐 秋田自然史研究会
藤原 陸夫 長野県自然保護研究所
松田 義徳 秋田県立雄勝高等学校

（氏名五十音順、敬称略）

4. カテゴリー

秋田県版レッドデータブックカテゴリーは、環境省レッドデータブックカテゴリー（1997年環境庁公表）に準拠している。

秋田県版レッドデータブックカテゴリー

絶滅種 (EX)	: 本県ではすでに絶滅したと考えられる種。
野生絶滅種 (EW)	: 飼育・栽培下でのみ存続している種。
絶滅危惧種	: 絶滅の危機に瀕している種。
I A類 (CR)	: ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
I B類 (EN)	: 絶滅危惧種 I Aほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
II類 (VU)	: 絶滅の危険が増大している種。
準絶滅危惧種 (NT)	: 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧種」に移行する可能性のある種。
情報不足種 (DD)	: 「絶滅危惧種」に移行する可能性はあるが、評価するだけの情報が不足している種。
地域個体群 (LP)	: 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い個体群。
分布上希少な雑種 (RH)	: 維管束植物独自のカテゴリー。雑種起源と考えられる希少種。
留意種 (N)	: 本県では絶滅のおそれはないが、国際的、国内的に保護を要すると評価されている種、現在講じられている保護策により絶滅の危険が回避されている種、過去に個体数・分布が著しく減少した種、他の機関で準絶滅危惧種以上の評価を受けている種。

環境省カテゴリーからの変更点は以下の4点である。

- ①カテゴリーの名称に“種”を付加。
- ②環境省では付属資料となっていた絶滅のおそれのある地域個体群をレッドデータブックカテゴリーに組み入れ、名称を「地域個体群」とした。
- ③維管束植物についてはレッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される雑種のためのカテゴリーとして「分布上希少な雑種」を設けた。
- ④本県では絶滅のおそれはないが、国際的、国内的に保護を要するとされている種などのためのカテゴリーとして「留意種」を設けた。

秋田県版レッドデータブックカテゴリー定義

区分および基本概念	定性的要件	定量的要件
●絶滅種 Extinct (EX) 本県ではすでに絶滅したと考えられる種（注1）	過去に本県に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、本県ではすでに絶滅したと考えられる種	
●野生絶滅種 Extinct in the Wild (EW) 飼育・栽培下でのみ存続している種	過去に本県に生息したことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、本県において野生ではすでに絶滅したと考えられる種 【確実な情報があるもの】 ① 信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。 ② 信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。 【情報量が少ないもの】 ③ 過去50年間前後の間に、信頼できる生息の情報が得られていない。	
○絶滅危惧種 I 類 (CR+EN) 絶滅の危機に瀕している種 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。	次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 ① 既知のすべての個体群で、危機の水準にまで減少している。 ② 既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。 ③ 既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④ ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 【情報量が少ないもの】 ⑤ それほど遠くない過去（30年～50年）の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。	絶滅危惧種 I A 類 Critically Endangered (CR) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。 A. 次のいずれかの形で個体群の減少がみられる場合。 1. 最近10年間もしくは3世代のどちらか長い期間（注2）を通じて、80%以上の減少があったと推定される。 2. 今後10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、80%以上の減少があると予測される。 B. 出現範囲が100km ² 未満もしくは生息地面積が10km ² 未満であると推定されるほか、次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。 1. 生息地が過度に分断されているか、ただ1カ所の地点に限定されている。 2. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に継続的な減少が予測される。 3. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 C. 個体群の成熟個体数が250未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。 1. 3年間もしくは1世代のどちらか長い期間に25%以上の継続的な減少が推定される。 2. 成熟個体数の継続的な減少が観察、もしくは推定・予測され、かつ個体群が構造的に過度の分断を受けるか全ての個体が1つの亜個体群に含まれる状況にある。 D. 成熟個体数が50未満であると推定される個体群である場合。 E. 数量解析により、10年間、もしくは3世代のどちらか長い期間における絶滅の可能性が50%以上と予測される場合。
●絶滅危惧種 THREATENED	絶滅危惧種 I B 類 Endangered (EN) 絶滅危惧種 I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	A. 次のいずれかの形で個体群の減少が見られる場合。 1. 最近10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上の減少があったと推定される。 2. 今後10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上の減少があると予測される。 B. 出現範囲が500km ² 未満もしくは生息地面積が50km ² 未満であると推定されるほか、次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。 1. 生息地が過度に分断されているか、5以下の地点に限定されている。 2. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に継続的な減少が予測される。 3. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 C. 個体群の成熟個体数が2,500未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。 1. 5年間もしくは2世代のどちらか長い期間に20%以上の継続的な減少が推定される。 2. 成熟個体数の継続的な減少が観察、もしくは推定・予測され、かつ個体群が構造的に過度の分断を受けるか全ての個体が1つの亜個体群に含まれる状況にある。 D. 成熟個体数が250未満であると推定される個体群である場合。 E. 数量解析により、20年間、もしくは5世代のどちらか長い期間における絶滅の可能性が20%以上と予測される場合。

区分および基本概念	定性的要件	定量的要件
● 絶滅危惧種 THREATENED	<p>○絶滅危惧種 II類 Vulnerable (VU) 絶滅の危険が増大している種</p> <p>現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧種 I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。</p> <p>次のいずれかに該当する種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 ② 大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 ③ 大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④ 分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。 	<p>A. 次のいずれかの形で個体群の減少が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最近10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、20%以上の減少があったと推定される。 2. 今後10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、20%以上の減少があると予測される。 <p>B. 出現範囲が2,500km²未満もしくは生息地面積が250km²未満であると推定され、また次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生息地が過度に分断されているか、10以下の地点に限定されている。 2. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等について、継続的な減少が予測される。 3. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 <p>C. 個体群の成熟個体数が10,000未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 10年間もしくは3世代のどちらか長い期間内に10%以上の継続的な減少が推定される。 2. 成熟個体数の継続的な減少が観察、もしくは推定・予測され、かつ個体群が構造的に過度の分断を受けるか全ての個体が1つの亜個体群に含まれる状況にある。 <p>D. 個体群が極めて小さく、成熟個体数が1,000未満と推定されるか、生息地面積あるいは分布地点が極めて限定されている場合。</p> <p>E. 数量解析により、100年間における絶滅の可能性が10%以上と予測される場合。</p>
●準絶滅危惧種 Near Threatened (NT) 存続基盤が脆弱な種	<p>現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。</p> <p>次に該当する種</p> <p>生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> a) 個体数が減少している。 b) 生息条件が悪化している。 c) 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 d) 交雫可能な別種が侵入している。 	
●情報不足種 Data Deficient (DD) 評価するだけの情報が不足している種	<p>環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性（具体的には、次のいずれかの要素）を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていない種</p> <ol style="list-style-type: none"> a) どの生息地においても生息密度が低く希少である。 b) 生息地が局限されている。 c) 生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）。 d) 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている 	
●地域個体群 Threatened Local Population (LP)	<p>地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。</p> <p>次のいずれかに該当する地域個体群</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生息状況、学術的価値等の観点から、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される種の地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルで見た場合絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの。 ② 地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。 	
●分布上希少な雜種 Rare Hybrid (RH)	<p>生育地が局限され、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される雜種で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。</p>	
●留意種 Noteworthy (N)	<ol style="list-style-type: none"> ① 本県では絶滅の恐れはないが、国際的、国内的に保護を要するとされている種。 ② 現在は保護策が講じられていて、差し迫った危機はないが、それが中止されれば絶滅危惧種 II類以上の危険度になる種。 ③ 過去に個体数・分布が著しく減少した種など。 ④ 他の機関で準絶滅危惧種以上の評価を受けている種。 	

(注 1) 種:動物では種および亜種、植物では種、亜種および変種を示す。

(注 2) 最近10年間もしくは3世代:1世代が短く3世代に要する期間が10年未満のものは年数を、1世代が長く3世代に要する期間が10年を越えるものは世代数を採用する。

5. 掲載種

(1) 掲載種数

本書に掲載した種は計1,235種である。分類群毎の種数は下表に示す。

絶滅のおそれがあると判断された種（絶滅危惧種 I A 類、絶滅危惧種 I B 類および絶滅危惧種 II 類）は720種である。また23種が絶滅種と判断された。

分類群	カテゴリー	絶滅種	野生絶滅種	絶滅危惧種				準絶滅危惧種	情報不足種	地域個体群	分布上希少な雑種	留意種	合計
				絶滅危惧種 I A 類	絶滅危惧種 I B 類	絶滅危惧種 II 類	絶滅危惧種計						
哺乳類		1	0	0	8	12	20	2	2	0	—	5	30
鳥類		0	0	6	6	20	32	50	19	0	—	0	101
爬虫類		0	0	0	0	0	0	0	2	0	—	0	2
両生類		0	0	0	0	0	0	1	0	0	—	0	1
淡水魚類		1	0	5	4	7	16	8	1	2	—	0	28
昆虫類		3	0	30	29	27	86	46	45	1	—	8	189
陸産貝類		0	0	4	3	3	10	4	3	0	—	1	18
維管束植物		18	0	168	241	147	556	157	57	0	71	7	866
合計		23	0	213	291	216	720	268	129	3	71	21	1,235

(2) 植物編掲載種一覧

【維管束植物】			
絶滅種 (EX)	ミヤマツチトリモチ ムカゴトラノオ ナガバノウナギツカミ ネバリタデ チョウカイフスマ シラオイハコベ エゾオオヤマハコベ ミドリアカザ ヒロハカツラ ミヤマオダマキ ヒメキンポウゲ ハイキンポウゲ シナノキンバイ ネムロコウホネ オゼコウホネ ヤマエンゴサク コマクサ ハクセンナズナ キバナハタザオ イワベンケイ アラシグサ アカヒダボタン エゾノチャルメルソウ ヒメウメバチソウ バイカウツギ ザリコミ カラフトダイコンソウ オオウラジロノキ エゾツルキンバイ キンロバイ マルバシャリンバイ タカネイバラ タカネナナカマド ケハギ ミヤマハハソ ムラサキマユミ クロツリバナ エゾノタチツボスミレ タカネスミレ ゲンジスミレ シハイスマリ ヒメアカバナ ヤマトグサ ヤマゼリ	コバノイチヤクソウ ヤチツツジ ウラジロハナヒリノキ ヒメクロマメノキ ミヤマタゴボウ ミチノクコザクラ オオサクラソウ ハナイカリ ミヤマアケボノソウ タカネセンブリ ティカカズラ フナバラソウ エゾルリムラサキ ムラサキ カリガネソウ ムシャリンドウ キセワタ ミソガワソウ ヤマジノタツナミソウ ハダカホオズキ アブノメ ミチノクコゴメグサ キクモ ミヤマシオガマ イワブクロ ゴマノハグサ ヒメクワガタ リンネソウ エゾヒヨウタンボク ヤマウグイスカグラ ウコンウツギ カノコソウ イワギキョウ エゾノコギリソウ サマニヨモギ オオガンクビソウ ハリオニアザミ チョウカイアザミ ガンジュアザミ ウゴシオギク ムカシヨモギ ミヤマアズマギク ミヤマイワニガナ カワラニガナ	コオニタビラコ ミヤマウスユキソウ マルバダケブキ オタカラコウ オヤリハグマ エゾオグルマ スブタ トチカガミ オオシバナ ホソバノシバナ リュウノヒゲモ ホッスモ イトリゲモ イバラモ トリゲモ イトイバラモ ソクシンラン ミヤマラッキョウ アマナ マルバサンキライ コジマエンレイソウ ミクリゼキショウ ヤマズメノヒエ オカスズメノヒエ ヤブミョウガ カニツリノガリヤス ヒナガリヤス ミヤマノガリヤス ツクシガヤ ミノボロ キダチノネズミガヤ オガイチゴツナギ アオイチゴツナギ チシマカニツリ マイヅルテンナンショウ ヒメカイウ ヤマトミクリ アワボスゲ ヒメカワズスゲ クリイロスゲ ヤラメスゲ ヤガミスゲ オタルスゲ ウスイロスゲ
絶滅危惧種 I A類 (CR)	ミズスギ ヤシャゼンマイ キジノオシダ ホソバコケシノブ フモトシダ ハコネシダ イノモトソウ ヒメイワトラノオ イチョウシダ イヌチャセンシダ イワヘゴ サイゴクベニシダ カラフトメンマ イノデモドキ オクヤマワラビ ムクゲシケシダ ミドリワラビ キタノミヤマシダ エゾデンダ オオクボシダ ユビソヤナギ ホザキヤドリギ		

ダケスゲ	ヒメノキシノブ	ウラジロナナカマド	イヌニガクサ
キンスゲ	ネズ	モメンヅル	マルバノサワトウガラシ
イワスゲ	ネコシデ	レンリソウ	ホソバコゴメグサ
カンエンガヤツリ	ヤマミズ	ハマフウロ (オガフウロを含む)	ママコナ
ナツエビネ	イブキトラノオ	シナノタイゲキ	トモエシオガマ
ユウシュンラン	サデクサ	アカメガシワ	ミチノククワガタ
チヨウセンキバナノアツモリソウ	オヤマソバ	シラキ	シラガミクワガタ
ハマカキラン	オンタデ	クロビイタヤ	イワタバコ
ベニシュスラン	ツルナ	エゾイタヤメイゲツ	ハマウツボ (オカウツボを含む)
フジチドリ	アオモリマンテマ	クロカンバ	キヨスミウツボ
サギソウ	カワラアカザ	エゾアオイスミレ	ムシトリスミレ
ヤチラン	チヨウセンゴミシ	ツルタチツボスミレ	フサタヌキモ
ホザキイチヨウラン	アズマレイジンソウ	サクラスミレ	ヒメタヌキモ
タカネサギソウ	スハマソウ	コスミレ	ハクサンオオバコ
絶滅危惧種 I B類 (EN)			
スギラン	ハクサンイチゲ	アケボノスミレ	クロミノウグイスカグラ (マルバヨノミを含む)
コスギラン	サンリンソウ	セナミスミレ	レンプクソウ
コケスギラン	リュウキンカ	ミズキカシグサ	キキョウ
ヒメミズニラ	オオバショウマ	ミズマツバ	シロヨメナ
オオハナワラビ	ミヤマハンショウヅル (コミヤ マハンショウヅルを含む)	ホソバアカバナ	エゾノキツネアザミ
ハマハナヤスリ	オキナグサ	ホザキノフサモ	モリアザミ
アオホラゴケ	チトセバイカモ	スギナモ	タカサゴソウ
コバノイシカグマ	ナンブソウ	オオカサモチ	ノニガナ
オオバノイノモトソウ	メギ	オヤブジラミ	イワテヒゴタイ
オオバノハチジョウシダ	トガクシショウマ	ヒメイワカガミ	ミヤマキタアザミ
イワトラノオ	コシノカンアオイ	ジンヨウイチヤクソウ	ヒメヒゴタイ
ナンゴクナライシダ	ヒサカキ	ヒメシャクナゲ	オクキタアザミ
ハカタシダ	エゾオトギリ	イワヒゲ	ヤハズトウヒレン
オニカナワラビ	オサバグサ	ツガザクラ (ナガバツ ガザクラを含む)	ハチジョウナ
キヨスミヒメワラビ	エゾハタザオ	ユキグニミツバツツジ	ウスギタンボ ^ボ ボ
ヤブソテツ	オクヤマガラシ	バイカツツジ	エゾヤナギモ
オクヤマシダ	イヌナズナ	オオコメツツジ	アマモ
オオベニシダ	ミギワガラシ	エゾツツジ	オオトリゲモ
オオイタチシダ	アオノイワレンゲ	イワツツジ	シロウマアサツキ
ツヤナシイノデ	チダケサシ	マルバウスゴ	ヤマラッキョウ
サイゴクイノデ	オオシラヒゲソウ	ウミミドリ	ニラ
ゲジゲジシダ	タコノアシ	ヒメナエ	クロヒメシライトイソウ
ヒメワラビ	シコタンソウ	リンドウ	スズラン
ミドリヒメワラビ	クサボケ	ホソバツルリンドウ	ホソバノアマナ
ウスヒメワラビ	エゾノコリンゴ	イヌセンブリ	キヌガサソウ
コウライイヌワラビ	カワラサイコ	オオキヌタソウ	チシマゼキショウ
セイタカシケシダ	オオタカネイバラ	アカネムグラ	ヒメイワショウブ
イワヤシダ	クサイチゴ	トウバナ	オオバナノエンレイソウ
ヌリワラビ	コガネイチゴ	ヤマジソ	ミズアオイ
	ミヤマウラジロイチゴ	ミヤマタムラソウ	ヒオウギアヤメ

ホソコウガイゼキショウ	ヒメスマハリイ (クロハリイを含む)	ニッコウシダ	ヒロハクサフジ
タカネスズメノヒエ	マルホハリイ	ヒロハイヌワラビ	ナンテンハギ
ミヤマヒナホシクサ	テンツキ	ハコネシケチシダ	ハクサンタイゲキ
タカネコウボウ	クロテンツキ	フモトシケシダ	ヤマアイ
ミノゴメ	アオテンツキ	ウサギシダ	カラコギカエデ
チシマガリヤス	タカネクロスゲ	ヒメサジラン	マルバグミ
ヒナザサ	マツカサススキ	イワオモダカ	キバナノコマノツメ
ヒロハノコメススキ	ツルアブラガヤ	サンショウモ	ウスバスミレ
ハマムギ	コシンジュガヤ	ミヤマビャクシン	ヒゴスミレ
オオトボシガラ	キンセイラン	ミズメ	ヒメビシ
アオウシノケグサ	サルメンエビネ	ナラガシワ	ケゴンアカバナ
ウキガヤ	キンラン	オニヤブマオ	ヤナギラン
アイアシ	アオチドリ	クサコアカソ	ミヤマアカバナ
タマミゾイチゴツナギ	トケンラン	ヤナギヌカボ	ハマゼリ
イトイチゴツナギ	コアツモリソウ	ポンクトクタデ	カラフトニンジン
イブキソモソモ	クマガイソウ	ヌカボタデ	ムカゴニンジン
イチゴツナギ	ツチアケビ	オオバナノミミナグサ	イワウメ
ヒエガエリ	サワラン	オオミミナグサ	ベニバナイチヤクソウ
イヌアワ	セイタカスズムシソウ	タカネナデシコ	イソツツジ
ヒゲシバ	ヒロハツリシュスラン	ハマハコベ	ミネズオウ
ヒロハノハネガヤ	ミズトンボ	ウゼントリカブト	ツルコケモモ
メガルガヤ	ギボウシラン	フクジュソウ	ユキワリコザクラ
セキショウ	フガクスズムシソウ	ミツバノバイカオウレン	ミヤマリンドウ
オオマムシグサ	ジガバチソウ	ミヤマキンポウゲ	タテヤマリンドウ
エゾミクリ	スズムシソウ	ケキツネノボタン	アザザ
タテヤマスゲ	フタバラン	タガラシ	チョウジソウ
ヒラギシスゲ	ヒメフタバラン	イワカラマツ	ハシカグサ
ニッコウハリスゲ	ミヤマフタバラン	ハンゲショウ	ハマベンケイソウ
コハリスゲ	ヒナチドリ	タコアシオトギリ	コシジタビラコ
ヤマアゼスゲ	オノエラン	ハタザオ	サンインヒキオコシ
テキリスゲ	ウチョウラン	ミヤマハタザオ	メハジキ
ヒエスゲ	タカネトンボ	エゾワサビ	イブキジャコウソウ
キンチャクスゲ	ミズチドリ	オオユリワサビ	ミヤマママコナ
ヒカゲハリスゲ	ツレサギソウ	ツガルミセバヤ	ヨツバシオガマ
エゾツリスゲ	ハクウンラン	コモチレンゲ	エチゴトラノオ
ツルスゲ	絶滅危惧種Ⅱ類 (VU)		
クサスゲ	スギカズラ	ホソバライバベンケイ	エゾヒナノウスツボ
オオイトスゲ	ヒメスギラン	ミヤマダイコンソウ	ヒヨクソウ
シオクグ	タカネヒカゲノカズラ	ミヤマキンバイ	ホザキノミミカキグサ
オオタヌキラン	イワヒバ	ヒロハノカワラサイコ	エゾオオバコ
ヤワラスゲ	シノブ	クロバナロウゲ	トウオオバコ
アゼガヤツリ	リシリシノブ	サナギイチゴ	キバナウツギ
イガガヤツリ	ミサキカグマ	コゴメウツギ	ホタルブクロ
セイタカハリイ	カラクサイノデ	カワラケツメイ	ウサギギク
スジヌマハリイ		イワオウギ	ヒメヨモギ
		エゾノレンリソウ	ヒメシオン

サワシロギク	コアニチドリ	イワキンバイ	オオヒナノウツボ
オケラ	イチヨウラン	ミヤマザクラ	オオナンバンギセル
カニコウモリ	ハシナガヤマサギソウ(ヤマ サギソウを含む)	ヒメゴヨウイチゴ	イヌタヌキモ
ミミコウモリ		エゾノシロバナシモツケ	ミミカキグサ
ニッコウアザミ	トキソウ	フジカンゾウ	タヌキモ
タカサブロウ	ヤマトキソウ	イヌハギ	ムラサキミミカキグサ
ミヤマコウゾリナ		センダイハギ	ソクズ
サワギク	準絶滅危惧種 (NT)	ノハラクサフジ	ツルカノコソウ
オナモミ	ヤチスギラン	ミツバフウロ	チョウジギク
マルバオモダカ	エゾノヒメクラマゴケ	ハクサンフウロ	ヤマノコギリソウ
ヤナギスプタ	ヒモカズラ	イワウメヅル	シロヨモギ
ホロムイソウ	ミズニラ	オオツリバナ	エゾノタウコギ
エゾノヒルムシロ	クモノスシダ	イイギリ	コヤブタバコ
センニンモ	ミヤマシシガシラ	アリアケスミレ	ウゴアザミ
ヒロハノエビモ	オオクジャクシダ	ヒナスミレ	アズマギク
イトモ	トウゴクシダ	ミズユキノシタ	ミズギク
ギョウジャニンニク	イノデ	タチモ	クモマニガナ
キジカクシ	メニッコウシダ	フサモ	ウスユキソウ
エゾホソイ	ホソバイヌラビ	ハクサンサイコ	メタカラコウ
ドロイ	ミヤマシダ	ハマボウフウ	クルマバハグマ
タチコウガイゼキショウ	フクロシダ	シャクジョウソウ	サジオモダカ
タカユイヌノヒゲ	ミツデウラボシ	アキノギンリョウソウ	アギナシ
ミヤマヌカボ	コメツガ	コメバツガザクラ	クロモ
コミヤマヌカボ	ビロードシダ	サラサドウダン	ミズオオバコ
アズマガヤ	ミヤマネズ	シラタマノキ	セキショウモ
カラフトドジョウツナギ	ハイネズ	アオノツガザクラ	エビモ
ハイドジョウツナギ	キヌヤナギ	オオバツツジ	キバナノアマナ
タマミクリ	サクラタデ	コメツツジ	ノカンゾウ
ホソバタマミクリ	センジュガンビ	ヒメウスノキ	スカシユリ
ハタガヤ	ハマツメクサ	ヒナザクラ	ヤマスカシユリ
ヤマタヌキラン	ハマアカザ	ハイハマボッス	クルマバツクバネソウ
マツバスゲ	オカヒジキ	キクムグラ	ツルボ
ジョウロウスゲ	フサザクラ	フタバムグラ	チャボゼキショウ
ハクサンスゲ	バイカモ	スナビキソウ	バイケイソウ
マスクサ	シラネアオイ	ミズハコベ	ヒメシャガ
イトキンスゲ	ウマノスズクサ	タテヤマウツボグサ	カキツバタ
ムジナスゲ	ミチノクサイシン	デワノタツナミソウ	ミヤマホソウガイゼキショウ
ホロムイスゲ(タシロダケス ゲを含む)	ヤマシャクヤク	ハシリドコロ	ミヤマヌカボシソウ
シロガヤツリ	ヤマハタザオ	オオマルバノホロシ	イワノガリヤス
コアゼテンツキ	ミツバベンケイソウ	サワトウガラシ	ヒゲノガリヤス(オオヒ ゲガリヤスを含む)
コイヌノハナヒゲ	コモチマンネングサ	イワテシオガマ	タカネノガリヤス
ミネハリイ	メノマンネングサ	オニシオガマ	コメスキ
エゾウキヤガラ	ミヤママンネングサ	シオガマギク	ミヤマドジョウツナギ
クロアブラガヤ	コマガタケスグリ	エゾルリトラノオ(ヤマルリ トラノオを含む)	ヒロハノドジョウツナギ
	チングルマ		

カモノハシ	ナツカラマツ	アイズスゲ	シバコブシ
ハマエノコロ	モッコク	ヌマスゲ	ムラサキボタンヅル
ミクリ	オクヤマオトギリ	クモイジガバチ	ツルワサビ
ナガエミクリ	イワテハタザオ	分布上希少な雑種 (RH)	チダケトリアシ
ヒメミクリ	ミチバタガラシ	オクタマゼンマイ	カスミオクチョウジザクラ
ヤチスゲ	タイトゴメ	ヤマドリトラノオ	オオミネザクラ
ホソバカンスゲ	トベラ	タカヤマナライシダ	コハマナス
ナガエスゲ	ヤマザクラ	ミヤマオシダ	アイノコキイチゴ
シラコスゲ	スズメノエンドウ	フジクマワラビ	アイノコフユイチゴ
サギスゲ	カスマグサ	ハコネオオクジャク	オオツルツゲ
イトイヌノハナヒゲ	ヤブツルアズキ	タニヘゴモドキ	ノジリボダイジュ
コホタルイ	ヒヨウノセンカタバミ	アイノコクマワラビ	スワキクバスミレ
ヒメホタルイ	ユズリハ	アイツヤナシイノデ	イワフネタチツボスミレ
エビネ	ミヤマシキミ	ドウリョウイノデ	オオタニタデ
ギンラン	モクゲンジ	ハコネイノデ	ミズタキソウ
コイチヨウラン	イヌツゲ	フナコシイノデ	マルヤマタニタデ
エゾスズラン	クロツバラ	オクキヌイノデ	ウラジロコヨウラク
カキラン	ヒメスミレ	チチブイノデ	イヌヌマトラノオ
オニノヤガラ	アオキ	ハリマイノデ	ナガバシラヤマギク
アケボノシュスラン	カクレミノ	ゴテンバイノデ	アイノコイトモ
ノビネチドリ	チドメグサ	ニセコシノサトメシダ	ヒメオヒルムシロ
アオフタバラン	クリンソウ	ヤマカライスワラビ	ヒダカエンレイソウ
アリドオシラン	ネズミモチ	ヘビヤマイヌワラビ	オオエノコロ
ハクサンチドリ	オクノハマイボタ	オゼオオサトメシダ	スナシバ
コケイラン	マメダオシ	ヤマホソバイスワラビ	カツノスゲ
ジンバイソウ	アワゴケ	ヤマヒロハイヌワラビ	アニアイスゲ
オオキソチドリ	ヤマホタルブクロ	コセイタカシケシダ	タヌキナルコ
ホソバノキソチドリ	ミヤマヨメナ	オオホソバシケシダ	モリヨシスゲ
コバノトンボソウ	ミネアザミ	ホソバフモトシケシダ	サドスゲモドキ
ヒツボクロ	アキノハハコグサ	セイタカフモトシケシダ	スミカワスゲ
イイヌマムカゴ	ハイニガナ	タマシケシダ	ミカツキグサモドキ
ショウキラン	コシカギク	ムサシシケシダ	アイノコカンガレイ
情報不足種 (DD)	ハマギク	ミヤマキヨタキシダ	留意種 (N)
アカハナワラビ	ヤプラン	ハッコウダゴヨウ	ノダイオウ
ハイホラゴケ	エゾタケシマラン	イケノヤナギ	ナガミノツルキケマン
ウスゲミヤマシケシダ	ヒロハノコウガイゼキショウ	トヨハラヤナギ	ヤシャビシヤク
イワウサギシダ	ヒメイヌノヒゲ	コイエヤナギ	ノウルシ
イチイ	ミカワイヌノヒゲ	センダイヤナギ	スズサイコ
オオタチヤナギ	ハライヌノヒゲ	ヒロハハンノキ	ティネニガクサ
ハシバミ	コケヌマイヌノヒゲ	ミズコナラ	オオニガナ
ヒメサクラタデ	ガリメギイヌノヒゲ	ホソバガシワ	
ハマナデシコ	オオクマザサ	コガシワ	
シロダモ	スズダケ	トガマダイオウ	

6. 解説項目

(1) 和名

和名を掲載した。

(2) 科名

科名を掲載した。

(3) 学名等

学名と命名者を記載した。

(4) 秋田県版ランク

秋田県版レッドデータブックでのランクを記載した。

(5) 環境省ランク

環境省（旧環境庁）レッドデータブックでのランクを掲載した。

(6) 国内外の分布

国内外の分布を記載した。

(7) 県内の分布

県内の分布記録の位置を国土地理院の2万5千分の1地形図の地図名で示した。本項目の記載内容には既に絶滅している分布も含まれている。

また、選定理由が高採集圧である種、生存に対する脅威が園芸採取、薬用採取である種、ラン科植物については、保護上の理由により本項目は記載していない。

		温川		陆奥焼山			
大間越	二ツ森	冷水岳	尾太岳	由代岳	阿蘭羅山	碇ヶ関	十和田湖 西部
岩館	中浜	羽後焼山	真名子	越山	白沢	陸中瀬川	小坂駒山 中滝
		羽後水沢	根城岱	藤琴	早口	大館	小坂
		能代	二ツ井	廣葉東部	廣葉東部	扇田	十二所
		森岳	下岩川	米内沢	桂瀬	明利又	大葛
						湯瀬	田山
		大洞	鹿渡	小又口	沖田面	阿仁前田	大平沢
						サンケ森	熊沢
戸賀	北浦	寒風山	五城目	湯ノ又	八木沢	阿仁合	森吉山
						玉川温泉	八幡平
船川	船越	大久保	蓬内台	天上倉山	比立内	戸鳥内	羽後玉川
						曲崎山	松川温泉
						土崎	松原
						太平山	番鳥森
						上桧木内	田沢
							秋田駒ヶ岳
						秋田東部	岩見三内
						羽後庄内	下桧木内
						田沢湖	国見温泉
						羽川	羽後和田
						羽後境	稻沢
						角館	危返り渓谷
							羽後朝日岳
						内道川	新波
						刈和野	刈和野東部
						羽後長野	大神成
							北川舟
						岩谷	新沢
						悪戸野	大曲
						六郷	真星岳
						本荘	岩野目沢
						八沢木	角間川
						金沢本町	左草
							平沢
						前郷	大琴
						老方	浅間
						横手	横手
						羽後黒沢	陸中川尻
							象潟
						川辺	矢島
						羽後田代	西馬音内
						十文字	田子内
							三界山
						小砂川	鳥海山
						中直根	上笛子
						湯沢	稻庭
						椿台	焼石岳
						湯ノ台	丁岳
						松ノ木峰	横堤
						菅生	小安温泉
							真湯温泉
							羽後川井
							秋ノ宮
							桂沢
							栗駒山
							神室山
							鬼首峰
							草沢

- (8) 生育環境
生育環境を記載した。
- (9) 選定理由
掲載種に選定した理由を記載した。
- (10) 生存に対する脅威
減少・絶滅の要因として推定されるものを記載した。
- (11) 特記事項
その他特記すべき事項を記載した。
- (12) 現在講じられている保護対策
天然記念物の指定、国立・国定公園および県立自然公園の指定植物、その他の保護対策を記載した。

維管束植物 概説

秋田県には海岸植生から、常緑広葉樹林のタブノキ林、山地帯のブナ林、亜高山帯のオオシラビソ林、高山帯のハイマツ群落まで、日本の植生の縮図ともいえる植生帶が分布しており、全国的にみれば良好な自然が多く残されている。海岸には砂丘、塩沼地、岩礁など、内陸には森林に囲まれたかたちで湖沼、渓谷、岩壁、草原、湿原など多様な自然景観がみられる。植物はそれぞれの地域の気候や地史、地形、地質、土壤などの自然環境を反映した、動的ではあるが全体としてはバランスのとれたまとまり一植物群落として存在している。

秋田県の植物相は、日本海要素とよばれる独特の植物群によって特徴づけられている。日本海要素は世界的な多雪地帯である本州日本海側に分布するものとして、東アジア地域においても特筆されている。

秋田県には、野生の状態で生育する植物として、約2,600種類が記録されている。この中には、亜種・変種・品種が約350種類、自然雑種が約100種類、帰化植物と逸出植物が約350種類含まれており、帰化植物・植栽植物を除く約1,900種、約350亜・変・品種の計約2,250種類が自生植物である。本県は近隣の県に比べ、植物の種とその分布状態の解明が進んでいると思われるが、まだまだ十分ではなく、個々の種の遺伝子レベルにおける解析、種生態の解明、さらに群落の動態など多くの関連分野を含めて、さらに調査や研究を進める必要がある。

一般には、「美しい」、「珍しい」などの特定の植物だけが重要な植物と考えられがちである。しかし、形や数は自然における環境への適応、他種との共進化と種間・種内競争の結果の反映である。自然界には未解明の部分が多く、自然と人間の永続的な共生を考えれば、種の保護に対しては、主観的な要素はできるだけ控え、自然のままに保存しておくことが望まれる。

緑色植物は生態系における生産者として、人間を含めたすべての生物の生命を支えている。また、種ごとにかけがえのない固有の性質をもち、生態系の中で固有の位置を占めており、自然の中で自生する植物は本来全種が等しく重要である。

秋田県ではこのような基本理念のもとに、絶滅が危ぶまれ、特に保護を要する植物としてレッドデータブック掲載種を選定した。866種類の掲載種は、現時点で把握されている分布の拡がりをベースにして、個体数や絶滅の危険性の現状などを考慮して選定された植物である。本書はもとより完全なものではない。とくに絶滅の判定には確証がなく、どこかで生育している期待が持たれている。また、今後の新しい情報により追加される種やカテゴリーの変更などが予想されており、一定期間後には改訂が必要になろう。

先に発行された環境省（現環境省）編レッドデータブックは全国を対象としている。全国と各都道府県では、種の分布の状態が大きく異なり、そのためレッドデータブック掲載種や絶滅の危険度が整合しないことがある。各都道府県はその不備を補うため、より詳細な独自のレッドデータブックを作成または策定中である。この考え方は、秋田県内においても、地域によって種の分布の状態が異なり、市町村などの地域レベルにおけるレッドデータブック作成への取り組みの必要があることを示している。

一般に植物の分布の拡がりと個体数は、それぞれ生育立地の地理的位置と面積に対応している。したがって、レッドデータブックには海岸、河原、湖沼、湿原、草原、岩場、高山帯など、いわゆる特殊な環境に生育し、もともと稀な植物が掲載対象になる場合が多い。しかし、本書に掲載された種は、このような場所だけではなく、たとえば、県内に広く見られる自然林をはじめ、二次林としてのコナラ林、植林としてのスギ林、アカマツ林、クロマツ林など、水田付近の側溝、ため池などにも生育している。それゆえ、野外のあらゆる場所において種の絶滅の危険が想定されていると考えて差し支えない。

絶滅種と判断された植物あるいは著しい減少が選定理由とされた植物は、かつては水田をはじめ

身近な低地の水辺や湿地あるいは草原に生育していたもの、園芸目的で採取されたものが少くない。低地の水辺や湿地の植物は、埋め立てなど様々な開発行為を主な原因として生育環境そのものが失われつつある。里山の草原は草刈り場として管理・維持されてきた。人間の生活様式の転換を原因として、草刈り場の放置による森林への遷移進行あるいは植林によって、草原植物も生育の場が急速に減少している。この場合、自然の遷移にまかせ、もとの安定した森林への回復を促すか、または人為的に伐採や草刈り、火入れ等を定期的に行い遷移の進行を抑えて、草原を維持し草原植物の減少を抑えるか、十分な検討を要するところである。

種を危機的な状況に追い込んでいる脅威として、様々な開発とそれにともなう改修・改変のほか、森林伐採、農薬汚染、草原や湿原への植林や踏み付け、園芸目的の採取などがあげられており、これらの行為には特に留意する必要がある。

環境アセスメントでは、個々の絶滅危惧種が評価の対象のひとつとされているが、生態系の保全のためには、自生している全種が重要であること、すべての植物は地域固有の群落として、立地とともに維持されていることなどを十分に認識する必要がある。アセスメントにおいては、きめの細かい長期間の調査にもとづいた正当な評価と開発に対する慎重な対応が求められる。

本書を利用するにあたり、最も大切なことは、野外での植物の識別と標本による種の同定である。

生物と環境に関わるすべての調査や研究において、種の同定が基本とされているが、植物の種の正確な同定は容易なものではない。植物形態学、植物分類学、植物地理学などの広い学識のほかに、その地域の植物相に精通することなど、豊富な経験に基づいて初めて正しい同定ができるようになる。また、同定した標本は証拠として、研究用として、つねに利用可能な状態に整理し、保管しておく必要がある。

種の正確な同定は、学術研究やアセスメントのための調査に限られるものではない。種に対する正しい知識は、学校や社会における環境教育・環境学習、県民参加による種保護へ向けての情報提供など、幅広い分野で活用される。さらには、地球的、国家的に進められている生物多様性保全の意識を涵養するものである。

しかし、維管束植物全般を対象とした、この分野の研究機関や研究者は全国でも極端に少なく、将来的には一層の人材不足が予想されている。自生する植物すべての種の同定を学ぶ場としてのハーバリウム（植物標本館）の設立や充実、そして人材の育成が何よりも緊急の課題である。

（藤原陸夫）

トクサ科

絶滅種

環境省：該当なし

イヌドクサ

Equisetum ramosissimum Desf.
var. *japonicum* Milde

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；熱帯を除く旧世界北半球に広く分布

◆県内の分布 羽後水沢

◆生育環境 河口部の砂地

◆選定理由 分布地の消滅：峰浜村水沢川に群生することが知られていた。この産地は日本海中部地震の津波で壊滅的な被害を受け、その後築堤工事で生育地そのものが消滅した。その後の再発見はない。

◆特記事項 標本は秋田県立博物館に収納されている。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

デンジソウ科

絶滅種

デンジソウ

Marsilea quadrifolia L.

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、奄美大島；ヨーロッパ、インド北部～東アジア

◆県内の分布 鷹巣東部、花輪、船越

◆生育環境 低地の池沼、水田

◆選定理由 長期間生育が確認されていない：1963年の標本がある。記録としては1988年まである。絶滅の理由のひとつは土地造成。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

アカウキクサ科

絶滅種

オオアカウキクサ

Azolla japonica Franch. et Sav.

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

◆国内外の分布 本州、四国、九州

◆県内の分布 浅舞、横手、十文字

◆生育環境 低地の池沼

◆選定理由 長期間生育が確認されていない：1973年の標本がある。記録としては1983年まである。絶滅の理由は不明。

◆特記事項 1982年の標本が国立科学博物館にある。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ナデシコ科

絶滅種

フシグロセンノウ

Lychnis miquelianana Rohrb. ex Franch. et Sav.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、四国、九州

◆県内の分布 毛馬内

◆生育環境 丘陵地の森林や林縁

◆選定理由 長期間生育が確認されていない：1965年の標本がある。絶滅の理由は不明。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

アマ科 絶滅種
マツバニンジン *Linum stelleroides* Planch. 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；東アジア
- ◆県内の分布 秋田東部
- ◆生育環境 日当たりのよい草地
- ◆選定理由 長期間生育が確認されていない：秋田県植物誌（1932、村松七郎）に秋田市の手形山、矢島や大館市鳳凰山の記録があるが、いずれの産地でもその後採集されておらず絶滅したものと考えられる。
- ◆特記事項 秋田市手形山から採集された標本が秋田県立博物館にある。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

アカバナ科 絶滅種
オオアカバナ *Epilobium hirsutum* L. var. *villosum* Hausskn. 環境省：絶滅危惧Ⅱ類

- ◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県、福島県、新潟県、富山県、石川県）；ユーラシア、アフリカ北部の温帯
- ◆県内の分布 陸中濁川
- ◆生育環境 低地の河川敷や湿地
- ◆選定理由 長期間生育が確認されていない：1989年の標本はあるが、以降採集地では生育を確認できない。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

マチン科 絶滅種
アイナエ *Mitrasacme pygmaea* R.Br. 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、マレーシア、ミクロネシア、オーストラリア、インド
- ◆県内の分布 五城目、金沢本町
- ◆生育環境 丘陵地の湿地。
- ◆選定理由 長期間生育が確認されていない：1976年（金沢本町）、1988年（五城目）の標本があるが、以降採集地では生育を確認できない。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ガガイモ科 絶滅種
コバノカモメヅル *Cynanchum sublanceolatum* (Miq.) Matsum. 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州
- ◆県内の分布 船越
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 長期間生育が確認されていない：1963年の標本があるが、以降採集地では生育を確認できない。
- ◆特記事項 日本海側の北限

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ゴマ科

絶滅種

ヒシモドキ *Trapella sinensis* Oliv.

環境省：絶滅危惧 IA類

◆国内外の分布 本州、九州；朝鮮、中国

◆県内の分布 土崎、刈和野東部

◆生育環境 低地の池沼や堰

◆選定理由 環境変化、長期間生育が確認されていない：秋田市金足男潟に生育することは1980年頃までは継続して観察されていた。しかし、その後はたび重なる調査にもかかわらず確認されていない。水生植物は埋土種子による再生があり得るので今後の経過を注視する必要があるが現在では絶滅と判定される。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

マツムシソウ科

絶滅種

マツムシソウ *Scabiosa japonica* Miq.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州

◆県内の分布 秋田東部

◆生育環境 丘陵地の草地

◆選定理由 長期間生育が確認されていない：1955年の標本はあるが、以降採集地では生育が確認できない。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キキヨウ科

絶滅種

シデシャジン *Asyneuma japonicum* (Miq.) Briq.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、九州；朝鮮、中国（東北）、アムール、ウスリー

◆県内の分布 毛馬内

◆生育環境 山地の林縁

◆選定理由 長期間生育が確認されていない：1953年の標本はあるが、以降採集地では生育が確認できない。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キク科

絶滅種

アサギリソウ *Artemisia schmidtiana* Maxim.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（東北、北陸）；樺太

◆県内の分布 毛馬内

◆生育環境 高山や北地の岩場

◆選定理由 長期間生育が確認されていない：くわしい産地は不明のままであるが、隣県に分布することと、公的機関に標本が残されていることから、かつて本県に分布していてその後絶滅したものと判断される。

◆特記事項 鹿角市先人顕彰館に標本「立山廉吉 1919. 9. 26 毛馬内」がある。村松七郎（1932）秋田県植物誌のアサギリソウの記録は誤認と考えられるが、方言として付記された「ぎんごよみ（毛馬内）」の記事は注目される。

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ヒルムシロ科 絶滅種
ツツイトモ *Potamogeton panormitanus* Biv. 環境省：絶滅危惧 I A類

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；世界に広く分布
- ◆県内の分布 五城目
- ◆生育環境 汽水
- ◆選定理由 環境変化、長期間生育が確認されていない：干拓直前に八郎潟で採集されているが、その後の調査では確認されていない。
- ◆特記事項 標本2点が秋田県立博物館に収納されている。八郎潟残存湖は環境の変化が著しく、本種は淡水化によって絶滅したものと考えられる。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ヒルムシロ科 絶滅種
イトクズモ *Zannichellia palustris* L. 環境省：絶滅危惧 II類

- ◆国内外の分布 日本全土；朝鮮
- ◆県内の分布 五城目
- ◆生育環境 低地の小河川や池沼
- ◆選定理由 近年、生育が確認されていない：大潟村南東部の用水路中で発見された。しかし、その後の農地転用などにより用水路が使用されなくなり、水が干上がり消滅した。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

イグサ科 絶滅種
ヒメコウガイゼキショウ *Juncus bufonius* L. 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；千島、樺太、朝鮮、中国ほかほぼ全世界
- ◆県内の分布 大潟
- ◆生育環境 低地の水辺
- ◆選定理由 長期間生育が確認されていない：1969年の標本がある。絶滅の理由は不明。
- ◆特記事項 基本的な形質から本種と同定されたが、国外の標本を含めて再検討を要する。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ホシクサ科 絶滅種
ホシクサ *Eriocaulon cinereum* R.Br. 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（本土、台湾）、フィリピン、インドシナ、インド、アフリカ、オーストラリア
- ◆県内の分布 鷹巣東部、米内沢、桂瀬
- ◆生育環境 水田
- ◆選定理由 分布の定着性が不安定である、長期間生育が確認されていない：本県では鷹巣町周辺で集中的に採集されたが、その後長期にわたって再確認されず絶滅したものと判断される。
- ◆特記事項 史前帰化植物で稻作とともに北上したものと言われている。水田に生ずるが農薬に対する抵抗性が低いためか全国的に衰退が著しい。文献：畠山益穂（1988）鷹巣地方植物誌。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ラン科

絶滅種

アツモリソウ

Cypripedium macranthum Sw.

環境省：絶滅危惧 I B 類

◆国内外の分布 北海道、南千島、本州中部以北；アジア北東部～ヨーロッパ東部

◆県内の分布 十二所

◆生育環境 山地の草原あるいは疎林内

◆選定理由 長期間生育が確認されていない：大正時代の標本が残されているが、その後発見されていない。

◆特記事項 文献：鹿角市教育委員会（1991）泉沢恒蔵・立山廉吉植物標本目録

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅種

ムカゴソウ

Herminium angustifolium (Lindl.) Benth. et Hook.f.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州、四国、九州、琉球；中国（台湾、東北）、朝鮮

◆県内の分布 秋田東部

◆生育環境 やや湿った草地

◆選定理由 長期間生育が確認されていない。

◆現在講じられている保護対策 粟駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ヒカゲノカズラ科

絶滅危惧種 I A 類

ミズスギ

Lycopodium cernuum L.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；世界の熱帯・亜熱帯

◆県内の分布 桂沢

◆生育環境 温泉の噴気孔周辺

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 土地造成

◆現在講じられている保護対策 粟駒国定公園指定植物

EX

EW

CR

EN

(藤原陸夫)

ゼンマイ科

絶滅危惧種 I A 類

ヤシヤゼンマイ

Osmunda lancea Thunb. ex Murray

環境省：該当なし

VU

NT

◆国内外の分布 北海道（南部）、本州、四国、九州（東部）

DD

◆県内の分布 角館、抱返り渓谷

LP

◆生育環境 河川や渓側の岩場

RH

◆選定理由 分布局限、個体数極少

N

◆生存に対する脅威 河川開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

キジノオシダ科
キジノオシダ *Plagiogyria japonica* Nakai
絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州（奄美まで）；朝鮮（濟州島）、中国（本土、台湾）
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

コケシノブ科
ホソバコケシノブ *Mecodium polyanthos* (Sw.) Sw.
絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州、琉球；熱帯を中心に世界各地
- ◆県内の分布 番鳥森
- ◆生育環境 山地のやや日陰の岩場
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆特記事項 北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

コバノイシカグマ科
フモトシダ *Microlepia marginata* (Panz.) C.Chr.
絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（本土、台湾）、ヒマラヤ～東南アジア
- ◆県内の分布 象潟
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ミズフラビ科
ハコネシダ *Adiantum monochlamys* D.C.Eaton
絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮南部、中国（本土、台湾）
- ◆生育環境 山地の岩場
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

イノモトソウ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
イノモトソウ <i>Pteris multifida</i> Poir.	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（本土、台湾）、インドシナ
- ◆生育環境 低地の石垣
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 土地造成、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

チャセンシダ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
ヒメイワトラノオ <i>Asplenium capillipes</i> Makino	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州
- ◆県内の分布 抱返り渓谷
- ◆生育環境 山地の岩場
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

チャセンシダ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
イチョウシダ <i>Asplenium ruta-muraria</i> L.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；北半球の温帯に広く分布
- ◆県内の分布 椿台
- ◆生育環境 山地の岩場
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

チャセンシダ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
イヌチャセンシダ <i>Asplenium tripteropus</i> Nakai	

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、神奈川県西部以西）、四国、九州；朝鮮、中国（揚子江以南、台湾）
- ◆県内の分布 岩野目沢
- ◆生育環境 山地の岩場
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

オシダ科	絶滅危惧種 I A類
イ フ ヘ ゴ <i>Dryopteris atrata</i> (Wall. ex Kuntze) Ching	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮（濟州島）、インド、スリランカ～ヒマラヤ、中国（本土、台湾）
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科	絶滅危惧種 I A類
サイゴクベニシダ <i>Dryopteris championi</i> (Benth.) C.Chr. ex Ching	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科	絶滅危惧種 I A類
カラフトメンマ <i>Dryopteris coreano-montana</i> Nakai	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（秋田県、山形県、福島県、中部地方）；朝鮮、ロシア東部
- ◆県内の分布 阿仁前田
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採

(松田義徳)

オシダ科	絶滅危惧種 I A類
イノデモドキ <i>Polystichum tagawanum</i> Sa.Kurata	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・福島県以西）、四国、九州
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

イワデンダ科

絶滅危惧種 IA類

オクヤマワラビ

Athyrium distentifolium Tausch ex Opiz

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の温帯に広く分布

◆県内の分布 鳥海山

◆生育環境 亜高山帯の草原

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 踏みつけ、自然遷移

◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イワデンダ科

絶滅危惧種 IA類

ムクゲシケシダ

Deparia kiusiana (Koidz.) M.Kato

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県、山形県、関東以西）、四国、九州

◆県内の分布 惠戸野

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

(藤原陸夫)

イワデンダ科

絶滅危惧種 IA類

ミドリワラビ

Deparia viridifrons (Makino) M.Kato

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（主に太平洋側）、四国、九州；朝鮮南部、中国中部

◆県内の分布 鷹巣西部

◆生育環境 低地の森林内

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イワデンダ科

絶滅危惧種 IA類

キタノミヤマシダ

Diplazium sibiricum (Turcz. ex Kunze) Sa.Kurata

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（岩手県、秋田県、福島県、長野県）；中国北部、ソビエト、ヨーロッパ北部

◆県内の分布 白沢

◆生育環境 秋田県では山地の風穴の周辺

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 自然遷移

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ウラボシ科

エゾデンダ

Polyodium virginianum L.

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；アジア北東部～北アメリカの温帯

◆県内の分布 北浦、岩野目沢

◆生育環境 山地の岩場

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 自然遷移

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヒメウラボシ科

オオクボシダ

Xiphopteris okuboi (Yatabe) Copel.

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県、福島県以南の太平洋側）、四国、九州；中国（台湾、海南島）

◆県内の分布 松原

◆生育環境 樹幹に着生

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヤナギ科

ユビソヤナギ

Salix hukaoana Kimura

絶滅危惧種 I A類

環境省：絶滅危惧 I B類

◆国内外の分布 本州（秋田県、宮城県、群馬県）

◆県内の分布 羽後朝日岳

◆生育環境 川原

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 河川開発・改修

(藤原陸夫)

ヤドリギ科

ホザキヤドリギ

Hyphear tanakae (Franch. et Sav.) Hosok.

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（東北、中部中北部）；朝鮮、中国北部

◆県内の分布 熊沢、田沢湖、稻庭

◆生育環境 山地の樹上に着生

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ツチトリモチ科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：絶滅危惧 II 類

ミヤマツチトリモチ

Balanophora nipponica Makino

◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州

◆県内の分布 田代岳、抱返り渓谷、小安温泉

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

タデ科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：該当なし

ムカゴトラノオ

Bistorta vivipara (L.) Gray

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球に広く分布

◆県内の分布 北川舟

◆生育環境 高山帯の草原

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

タデ科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：該当なし

ナガバノウナギツカミ

Persicaria hastatosagittata (Makino) Nakai

◆国内外の分布 本州、四国、九州；中国（南部、台湾）

◆県内の分布 刈和野東部

◆生育環境 池沼や溜池の周辺

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 池沼開発・改修

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

タデ科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：該当なし

ネバリタデ

Persicaria viscosa (Makino) H.Gross

◆国内外の分布 北海道～九州；朝鮮

◆県内の分布 六郷

◆生育環境 丘陵地の林縁、路傍

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 土地造成

(藤原陸夫)

ナデシコ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：絶滅危惧 II類
チョウカイフスマ <i>Arenaria merckiioides</i> Maxim. var. <i>chokaiensis</i> (Yatabe) Okuyama	

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、山形県）
- ◆生育環境 高山帯の草地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ナデシコ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
シラオイハコベ <i>Stellaria fenzlii</i> Regel	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ウスリー、アムール、千島、樺太、オホーツク、カムチャツカ
- ◆県内の分布 犬吠森、秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 山地帯上部の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ナデシコ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
エゾオオヤマハコベ <i>Stellaria radians</i> L.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（青森県[現状不明]、秋田県、長野県）；アジア北東部
- ◆県内の分布 浅舞
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布局限、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成

(松田義徳)

アカザ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
ミドリアカザ <i>Chenopodium bryoniifolium</i> Bunge	

- ◆国内外の分布 北海道～九州；シベリア東部、アムール、ウスリー、朝鮮、中国
- ◆県内の分布 花輪
- ◆生育環境 丘陵地の斜面崩壊地
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 土地造成

(菊地卓弥)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

カツラ科 絶滅危惧種 I A類
ヒロハカツラ 環境省：該当なし
Cercidiphyllum magnificum (Nakai) Nakai

- ◆国内外の分布 本州（中部以北の主に亜高山帯）
- ◆県内の分布 尾太岳
- ◆生育環境 秋田県では山地の風穴周辺
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採

(菊地卓弥)

キンポウゲ科 絶滅危惧種 I A類
ミヤマオダマキ 環境省：該当なし
Aquilegia flabellata Siebold et Zucc.
var. *pumila* (Huth) Kudo

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（中部以北）；樺太、朝鮮北部
- ◆生育環境 高山の岩場
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少、高採取集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科 絶滅危惧種 I A類
ヒメキンポウゲ 環境省：絶滅危惧 II類
Halerpestes kawakamii (Makino) Tamura

- ◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県、岩手県、宮城県、千葉県）[絶滅]
- ◆県内の分布 羽後水沢、平沢、象潟
- ◆生育環境 塩性湿地
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科 絶滅危惧種 I A類
ハイキンポウゲ 環境省：該当なし
Ranunculus repens L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（東北、関東）；北半球の亜寒帯～温帯
- ◆県内の分布 碇ヶ関、十和田湖西部、中滝
- ◆生育環境 山地の林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I A類

シナノキンバイ

Trollius riederianus Fisch. et C.A.Mey.
var. *japonicus* (Miq.) Ohwi

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮北部

◆生育環境 高山の草原

◆選定理由 分布局限、個体数希少、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スイレン科

絶滅危惧種 I A類

ネムロコウホネ

Nuphar pumilum (Timm) DC.

環境省：絶滅危惧 II類

◆国内外の分布 北海道（東部）、本州（東北）；千島、樺太、カムチャツカ、シベリア～ヨーロッパ

◆生育環境 亜高山帯の池沼

◆選定理由 分布局限、個体数希少

◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スイレン科

絶滅危惧種 I A類

オゼコウホネ

Nuphar pumilum (Timm) DC.
var. *ozeense* (Miki) H.Hara

環境省：絶滅危惧 II類

◆国内外の分布 北海道、本州（秋田県、山形県、福島県、群馬県）

◆生育環境 山地の池沼

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ケシ科

絶滅危惧種 I A類

ヤマエンゴサク

Corydalis lineariloba Siebold et Zucc.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北）

◆県内の分布 象潟

◆生育環境 丘陵地の森林内や林縁

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 土地造成、踏みつけ

(松田義徳)

ケシ科
コマクサ *Dicentra peregrina* (Rudolphi) Makino

絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、カムチャツカ、樺太、シベリア東部
- ◆生育環境 高山の砂礫地
- ◆選定理由 分布局限、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、観光客の写真撮影などによる踏みつけ、自然遷移
- ◆特記事項 以前に比べ個体数が減少しつつあったが、登山者の立ち入り制限などの措置によりやや回復している。
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

アブラナ科
ハクセンナズナ *Macropodium pterospermum* F.Schmidt

絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ロシア極東地方、中国（東北）
- ◆県内の分布 犬吠森、太平山
- ◆生育環境 山地の林内あるいは林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

アブラナ科
キバナハタザオ *Sisymbrium luteum* (Maxim.) O.E.Schulz

絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、九州；朝鮮、中国、ウスリー
- ◆県内の分布 大間越、岩館
- ◆生育環境 海岸付近の林縁
- ◆選定理由 分布局限、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 道路の拡張工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ベンケイソウ科
イワベンケイ *Rhodiola rosea* L.

絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ユーラシアと北アメリカ東部の温帯高山～亜高山帶
- ◆生育環境 高山の岩場
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ユキノシタ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
アラシグサ <i>Boykinia lycocitonifolia</i> (Maxim.) Engl.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆生育環境 高山の湿性草原
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ユキノシタ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
アカヒダボタン <i>Chrysosplenium nagasei</i> Wakab. et H.Ohba var. <i>porphyranthes</i> Wakab. et H.Ohba	

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、岐阜県、滋賀県、三重県）
- ◆県内の分布 大神成
- ◆生育環境 山地の沢沿い
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 河川開発・改修、沢の改修

(沖田貞敏)

ユキノシタ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
エゾノチャルメルソウ <i>Mitella integrifolia</i> H.Boissieu	

- EX
- ◆国内外の分布 北海道、本州（北部）
 - ◆県内の分布 小坂鉱山、太平湖、森吉山、小安温泉
 - ◆生育環境 山地の渓側
 - ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
 - ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
 - ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ユキノシタ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
ヒメウメバチソウ <i>Parnassia alpicola</i> Makino	

- EW
- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
 - ◆県内の分布 鳥海山
 - ◆生育環境 高山の雪田
 - ◆選定理由 分布局限
 - ◆生存に対する脅威 踏みつけ
 - ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ユキノシタ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

バイカウツギ

Philadelphus satsumi Siebold ex Lindl. et Paxton

◆国内外の分布 本州、四国、九州

◆県内の分布 湯瀬

◆生育環境 丘陵地の林縁

◆選定理由 分布局限、個体数希少、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 道路工事

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ユキノシタ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

ザリコミ

Ribes maximowiczianum Kom.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北）

◆県内の分布 船川、小安温泉、真湯温泉

◆生育環境 山地の森林内や岩礫地

◆選定理由 分布局限、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採、堰堤工事

(菊地卓弥)

バラ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

カラフトダイコンソウ

Geum macrophyllum Willd.
var. *sachalinense* (Koidz.) H.Hara

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島

◆県内の分布 田沢

◆生育環境 山地の林内

◆選定理由 分布局限、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

バラ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

オオウラジロノキ

Malus tschonoskii (Maxim.) C.K.Schneid.

◆国内外の分布 本州、四国、九州

◆県内の分布 サンケ森、抱返り渓谷

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 森林伐採

(菊地卓弥)

バラ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
エゾツルキンバイ	<i>Potentilla egedei</i> Wormsk. var. <i>grandis</i> (Torr. et Gray) H.Hara

- ◆国内外の分布 北海道、本州（北部）；朝鮮、ウスリー、樺太、千島、カムチャツカ、北アメリカ
- ◆県内の分布 戸賀
- ◆生育環境 海岸の草地
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
キンロバイ	<i>Potentilla fruticosa</i> L. var. <i>rigida</i> (Wall. ex Lehm.) Th.Wolf

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島、朝鮮北部、中国、ヒマラヤ
- ◆生育環境 山地の岩角地
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
マルバシヤリンバイ	<i>Raphiolepis indica</i> (L.) Lindl. ex Ker var. <i>intergerrima</i> (Hook. et Arn.) Kitam.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮（南部）
- ◆生育環境 海岸の岩場
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発、園芸採取

(高田 順)

バラ科	絶滅危惧種 I A類 環境省：該当なし
タカネイバラ	<i>Rosa nipponensis</i> Crép.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県～中部）、四国
- ◆生育環境 山地帯上部の明るい林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX
EW
CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

バラ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

タカネナナカマド

Sorbus sambucifolia (Cham. et Schltdl.) Roemer

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、樺太、カムチャツカ、朝鮮、沿海州
- ◆生育環境 亜高山帯の林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

マメ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ケ ハ ギ

Lespedeza thunbergii (DC.) Nakai
form. *macrathia* (Honda) Murata

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆県内の分布 太平山
- ◆生育環境 山地の岩場
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 斜面崩壊
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

アフブキ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ミヤマハハソ

Meliosma tenuis Maxim.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；中国
- ◆県内の分布 田子内
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ニシキギ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ムラサキマユミ

Euonymus lanceolatus Yatabe

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、新潟県・長野県以西）、四国
- ◆県内の分布 矢島、羽後田代
- ◆生育環境 山地の林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆特記事項 北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ニシキギ科		絶滅危惧種 I A類
クロツリバナ	<i>Euonymus tricarpus</i> Koidz.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太
- ◆県内の分布 田代岳
- ◆生育環境 山地の林縁、林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科		絶滅危惧種 I A類
エゾノタチツボスミレ	<i>Viola acuminata</i> Ledeb.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、樺太、シベリア東部、中国、朝鮮
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移、管理放棄、園芸採取

(菊地卓弥)

スミレ科		絶滅危惧種 I A類
タカネスミレ	<i>Viola crassa</i> Makino	環境省：準絶滅危惧

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島、カムチャツカ、朝鮮、チベット
- ◆県内の分布 秋田駒ヶ岳、国見温泉
- ◆生育環境 高山帯～亜高山帯の砂礫地
- ◆選定理由 分布局限、個体数減少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、火山噴火
- ◆特記事項 登山者の踏みつけにより以前より減少したが、ロープ等で立ち入りを制限した結果、個体数は安定してきている。
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科		絶滅危惧種 I A類
ゲンジスミレ	<i>Viola variegata</i> Fisch. ex Ging. var. <i>nipponica</i> Makino	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（中部以北、岡山県）、四国（愛媛県）
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数激減
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

スミレ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

シハイスマリ

Viola violacea Makino

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮南部

◆生育環境 やや暗く湿った落葉樹林下

◆選定理由 分布限局、個体数希少

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

アカバナ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ヒメアカバナ

Epilobium fauriei H.Lév.

◆国内外の分布 北海道、本州（鳥取県以東）；千島

◆県内の分布 船川

◆生育環境 山地の草地

◆選定理由 分布限局、個体数極少

◆生存に対する脅威 踏みつけ、自然遷移

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヤマトグサ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ヤマトグサ

Theligonum japonicum Okubo et Makino

◆国内外の分布 本州（秋田県・関東以西）、四国、九州

◆県内の分布 矢島、中直根

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布限局

◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事

◆特記事項 北限

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

セリ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ヤマゼリ

Ostericum sieboldii (Miq.) Nakai

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北の南部）

◆県内の分布 湯瀬

◆生育環境 山地の林縁

◆選定理由 分布限局、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事

(松田義徳)

イチヤクソウ科
コバノイチヤクソウ *Pyrola alpina* Andres
 絶滅危惧種 I A類
 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆生育環境 亜高山帯の林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 分布局限、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
 (松田義徳)

ツツジ科
ヤチツツジ *Chamaedaphne calyculata* (L.) Moench
 絶滅危惧種 I A類
 環境省：絶滅危惧 I B類

- ◆国内外の分布 北海道、本州（秋田県）；樺太、朝鮮北部、北半球の寒帯に広く分布
- ◆県内の分布 栗駒山
- ◆生育環境 県内では高山の湿原
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆特記事項 本県の生育地は国内南限で本州における唯一の生育地。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
 (松田義徳)

ツツジ科
ウラジロハナヒリノキ *Leucothoe grayana* Maxim.
 var. *hypoleuca* Nakai
 絶滅危惧種 I A類
 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県～鳥取県）
- ◆県内の分布 神室山
- ◆生育環境 亜高山帯の岩石地や風衝地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、登山道の整備
 (松田義徳)

ツツジ科
ヒメクロマメノキ *Vaccinium uliginosum* L. var. *alpinum* Bigelow
 絶滅危惧種 I A類
 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮北部、樺太、千島、北アメリカ、グリーンランド
- ◆県内の分布 羽後朝日岳
- ◆生育環境 亜高山帯の岩石地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
 (松田義徳)

サクラソウ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ミヤマタゴボウ

Lysimachia acroadenia Maxim.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮（濟州島）

◆県内の分布 船川

◆生育環境 丘陵地の森林内および林縁

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

サクラソウ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：絶滅危惧 II類

ミチノクコザクラ

Primula cuneifolia Ledeb.
var. *heterodonta* (Franch.) Makino

◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県）

◆生育環境 亜高山帯の湿った草地

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ

(藤原陸夫)

サクラソウ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

オオサクラソウ

Primula jesoana Miq.

◆国内外の分布 北海道（南西部）、本州（中部以北）

◆生育環境 山地帯の林縁や森林内

◆選定理由 分布限定、個体数激減、高採集圧

◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 男鹿国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

リンドウ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ハナイカリ

Halenia corniculata (L.) Cornaz

◆国内外の分布 北海道、本州、四国；朝鮮、中国（東北）、千島、樺太、シベリア、カムチャツカ、ヨーロッパ東部

◆生育環境 山地帯および高山の草地

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

リンドウ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
ミヤマアケボノソウ <i>Swertia perennis</i> L. subsp. <i>cuspidata</i> (Maxim.) H.Hara	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆県内の分布 松川温泉
- ◆生育環境 高山の湿性の岩礫地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

リンドウ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
タカネセンブリ <i>Swertia tetrapetala</i> Pall. subsp. <i>micrantha</i> (Takeda) Kitam.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆県内の分布 羽後朝日岳、大神成、北川舟
- ◆生育環境 高山の草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キヨウチクトウ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
ティカカズラ <i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zucc.) Nakai	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内および林縁
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ガガイモ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
フナバラソウ <i>Cynanchum atratum</i> Bunge	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 白沢、湯瀬、松原
- ◆生育環境 山地の草地
- ◆選定理由 個体数極少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ムラサキ科

絶滅危惧種 I A 類

エゾルリムラサキ

Eritrichium nipponicum Makino
var. *albiflorum* Koidz.

環境省：絶滅危惧 I A 類

◆国内外の分布 北海道、本州（秋田県）；樺太

◆生育環境 山地の岩壁

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆特記事項 南限、本州唯一の産地。従来、ミヤマムラサキとされていた標本を再検討した結果、変種のエゾルリムラサキと同定された。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物（母種のミヤマムラサキとして指定）

(松田義徳)

ムラサキ科

絶滅危惧種 I A 類

ムラサキ

Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zucc.

環境省：絶滅危惧 I B 類

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国、アムール

◆生育環境 山地の草地

◆選定理由 個体数極少、個体数激減、高採集圧

◆生存に対する脅威 草地開発、自然遷移、染料採取

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

クマツヅラ科

絶滅危惧 I A 類

カリガネソウ

Caryopteris divaricata (Siebold et Zucc.) Maxim.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国

◆県内の分布 花輪、土崎

◆生育環境 小河川の川辺

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 河川改修、洪水

◆特記事項 1926年毛馬内、1949年花輪の標本が公的機関に保存されている。最近50年ぶりに発見されたが、ここも存続が危ぶまれる要素が多い。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

シソ科

絶滅危惧種 I A 類

ムシャリンドウ

Dracocephalum argunense Fisch. ex Link

環境省：絶滅危惧 I B 類

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮、中国北部、シベリア東部

◆生育環境 丘陵地および山地の岩礫の多い森林内や草地

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 草地開発、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 烏海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

シソ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：絶滅危惧 II類
キセワタ <i>Leonurus macranthus</i> Maxim.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；中国
- ◆生育環境 丘陵地や山地の草地や林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 草地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

シソ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
ミソガワソウ <i>Nepeta subsessilis</i> Maxim.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国
- ◆県内の分布 鳥海山
- ◆生育環境 亜高山帯の草地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

シソ科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
ヤマジノタツナミソウ <i>Scutellaria amabilis</i> H.Hara	

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、中部、近畿）
- ◆生育環境 山地の湿った森林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆特記事項 北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ナス科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
ハダカホオズキ <i>Tubocapsicum anomalum</i> (Franch. et Sav.) Makino	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球、小笠原；東南アジアの熱帯～亜熱帯
- ◆県内の分布 象潟
- ◆生育環境 低地の林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆特記事項 北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

アブノメ

Dopatrium junceum (Roxb.) Buch.-Ham.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州、琉球；朝鮮南部、中国、東南アジア、インド
- ◆県内の分布 羽後水沢、鷹巣東部、扇田
- ◆生育環境 丘陵地の水田や湿地
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、農薬汚染
- ◆特記事項 日本の北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

ミチノクコゴメグサ

Euphrasia maximowiczii Wetst.
var. *arcuata* F.Mak. ex T.Yamaz.

- ◆国内外の分布 本州（東北）
- ◆生育環境 山地の岩礫の多い草地
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

キクモ

Limnophila sessiliflora Blume

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（本土・東北）、東南アジア、オーストラリア、インド
- ◆県内の分布 秋田東部、刈和野東部、象潟、西馬音内
- ◆生育環境 放棄水田や浅い沼
- ◆選定理由 分布激減、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、農薬汚染
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

ミヤマシオガマ

Pedicularis apodochila Maxim.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

- ◆生育環境 高山の風衝草地

- ◆選定理由 分布限定、個体数希少

- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取

- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科		絶滅危惧種 IA類
イ ワ ブ ク □	<i>Penstemon frutescens</i> Lamb.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（北部）；樺太、シベリア北部
- ◆生育環境 高山の砂礫地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
(松田義徳)

ゴマノハグサ科		絶滅危惧種 IA類
ゴマノハグサ	<i>Scrophularia buergeriana</i> Miq.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮、中国（北部、東北）
- ◆県内の分布 川辺
- ◆生育環境 丘陵地の草地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 草地開発
- ◆特記事項 日本の北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
(松田義徳)

ゴマノハグサ科		絶滅危惧種 IA類
ヒメクワガタ	<i>Veronica nipponica</i> Makino ex Matsum.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（東北の高山、中部の日本海側）
- ◆生育環境 高山の草地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆特記事項 北限
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
(松田義徳)

スイカズラ科		絶滅危惧種 IA類
リンネソウ	<i>Linnaea borealis</i> L.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（長野県以北の高山）；北半球の亜寒帯
- ◆生育環境 高山帯のハイマツ林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
(藤原陸夫)

スイカズラ科

絶滅危惧種 I A類

エゾヒヨウタンボク

Lonicera alpigena L.
subsp. *glehnii* (F.Schmidt) H.Hara

環境省：絶滅危惧 I B類

- ◆国内外の分布 北海道、南千島、本州（北部、新潟県、福井県、山梨県）；樺太
- ◆県内の分布 北浦
- ◆生育環境 山地の岩石地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

スイカズラ科

絶滅危惧種 I A類

ヤマウグイスカグラ

Lonicera gracilipes Miq.

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆県内の分布 本荘
- ◆生育環境 丘陵地の林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事
- ◆特記事項 石川県以北の日本海側唯一の産地。

(松田義徳)

スイカズラ科

絶滅危惧種 I A類

ウコンウツギ

Weigela middendorffiana (Carrière) K.Koch

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（東北）；千島、樺太、オホーツク、アムール
- ◆県内の分布 八幡平
- ◆生育環境 亜高山帯の林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オミナエシ科

絶滅危惧種 I A類

カノコソウ

Valeriana fauriei Briq.

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国、樺太
- ◆生育環境 山地の草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キキョウ科	絶滅危惧種 I A類
イフギキヨウ <i>Campanula lasiocarpa</i> Cham.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、樺太、アリューシャン、カムチャツカ、アラスカ
- ◆生育環境 高山の砂礫地や岩上
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
(松田義徳)

キク科	絶滅危惧種 I A類
エゾノコギリソウ <i>Achillea ptarmica</i> L. var. <i>macrocephala</i> (Rupr.) Heimerl	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、樺太、カムチャツカ、シベリア東部
- ◆生育環境 海岸の草地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
(藤原陸夫)

キク科	絶滅危惧種 I A類
サマニヨモギ <i>Artemisia arctica</i> Less. subsp. <i>sachalinensis</i> Hultén	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（秋田県、岩手県）；千島、樺太、カムチャツカ
- ◆県内の分布 八幡平
- ◆生育環境 高山の岩場
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 生育地の岩壁が崩壊しやすく不安定、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
(高田順)

キク科	絶滅危惧種 I A類
オオガンクビソウ <i>Carpesium macrocephalum</i> Franch. et Sav.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮、中国（東北）
- ◆県内の分布 田山、稻庭
- ◆生育環境 山地の林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
(高田順)

キク科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
ハリオニアザミ <i>Cirsium borealinippponense</i> Kitam. var. <i>spinulosum</i> Kitam.	

- ◆国内外の分布 本州（秋田県）、秋田駒ヶ岳特産
- ◆県内の分布 秋田駒ヶ岳、国見温泉
- ◆生育環境 亜高山帯の砂礫地
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 道路脇での踏みつけ、刈り払い
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科	絶滅危惧種 IA類 環境省：絶滅危惧 II類
チョウカイアザミ <i>Cirsium chokaiense</i> Kitam.	

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、山形県）、鳥海山特産
- ◆県内の分布 鳥海山
- ◆生育環境 亜高山帯の岩礫地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、道路工事、火山噴火
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科	絶滅危惧種 IA類 環境省：絶滅危惧 II類
ガンジュアザミ <i>Cirsium ganjuense</i> Kitam.	

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、岩手県）
- ◆県内の分布 八幡平
- ◆生育環境 亜高山帯の草地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 登山道確保のための刈り払い、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キク科	絶滅危惧種 IA類 環境省：該当なし
ウゴシオギク <i>Dendranthema shiwogiku</i> (Kitam.) Kitam. var. <i>ugoense</i> (H.Hara et K.Mori) Kitam.	

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、山形県）
- ◆生育環境 海岸の崖地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発、園芸採取、生育地は小面積でありゴミ投棄の影響を受けている。
- ◆現在講じられている保護対策 象潟町指定文化財、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

ムカシヨモギ

Erigeron acris L.var. *kamtschaticus* (DC.) Herder

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（秋田県、岩手県、中部）；樺太、朝鮮、千島、カムチャツカ、アラスカ

◆県内の分布 抱返り渓谷

◆生育環境 山地の岩場

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 自然遷移

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キク科

ミヤマアズマギク

Erigeron thunbergii A.Grayvar. *glabratus* A.Gray

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（中部以北）；朝鮮北部、中国（東北）、シベリア、カムチャツカ

◆生育環境 山地の岩礫地

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 生育立地の崩壊が激しい、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

ミヤマイワニガナ

Ixeris stolonifera A.Grayvar. *capillaris* (Nakai) T.Shimizu

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国

◆県内の分布 秋田駒ヶ岳

◆生育環境 亜高山帯の砂礫地

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 自然遷移、踏みつけ

(高田 順)

キク科

カワラニガナ

Ixeris tamagawaensis (Makino) Kitam.

絶滅危惧種 I A類

環境省：絶滅危惧 II類

◆国内外の分布 本州（中部以北）

◆県内の分布 刈和野東部、大曲

◆生育環境 中流域の川原

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 自然遷移、河川改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

コオニタビラコ

Lapsana apogonoides Maxim.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮（済州島）、中国

◆県内の分布 象潟

◆生育環境 水田やその周辺

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 人為による環境改変の激しい場所に生育するため分布の消長が著しい。最初の発見地では近年確認されていない。

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

ミヤマウスユキソウ

Leontopodium fauriei (Beauverd) Hand.-Mazz.

◆国内外の分布 本州（秋田県、山形県、福島県、新潟県）

◆生育環境 高山の草地

◆選定理由 分布局限、個体数減少、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取、一般に良く知られた高山植物であるため、保護地域に生育するにもかかわらず園芸目的の採集圧が高い。

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

マルバダケブキ

Ligularia dentata (A.Gray) H.Hara

◆国内外の分布 本州、四国；中国

◆生育環境 亜高山帯～山地帯の草地や林縁

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

オタカラコウ

Ligularia fischerii (Ledeb.) Turcz.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；シベリア東部、樺太、中国、ヒマラヤ

◆県内の分布 鬼首峠

◆生育環境 山地帯の溪側など

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 森林伐採、林道造成

◆特記事項 北限に近い自生地と考えられる。

◆現在講じられている保護対策 栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

キク科

オヤリハグマ

Pertya triloba (Makino) Makino

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（青森県を除く東北～関東北部）

◆県内の分布 上笠子

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆特記事項 北限

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キク科

エゾオグルマ

Senecio pseudo-arnica Less.

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（青森県、秋田県）；中国（東北）、朝鮮、ウスリー、カムチャツカ、北アメリカ東部

◆生育環境 海岸の草地

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、園芸採取

◆特記事項 国内南限

(松田義徳)

トチカガミ科

スブタ

タ

Blyxa echinosperma (C.B.Clarke) Hook.f.

絶滅危惧種 I A類

環境省：絶滅危惧 II類

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；東アジア、東南アジア、オーストラリア

◆県内の分布 船越、大久保

◆生育環境 低地のため池

◆選定理由 分布局限、個体数希少

◆生存に対する脅威 池沼改修、水質汚濁、農薬汚染、道路工事

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

トチカガミ科

トチカガミ

Hydrocharis dubia (Blume) Backer

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；中東を除くアジア、オーストラリア

◆県内の分布 大潟、刈和野東部、大曲

◆生育環境 低地の池沼

◆選定理由 分布局限、分布激減、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 池沼開発、水質汚濁、農薬汚染、逸出した温帯性スイレンとの競合

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ホムイソウ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：絶滅危惧 II類

オオシバナ

Triglochin maritimum L.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；北半球の温帯に広く分布

◆県内の分布 岩館、戸賀

◆生育環境 塩性湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 海岸改修、土地造成、道路工事、他にゴミ公害が生育に大きなマイナス要因となっている。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ホムイソウ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：絶滅危惧 II類

ホソバノシバナ

Triglochin palustre L.

◆国内外の分布 北海道、本州（東北、中部）；北半球の温帯～亜寒帯に広く分布

◆県内の分布 鳥海山、栗駒山

◆生育環境 湿原や池沼の縁

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 湿地開発、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ヒルムシロ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：絶滅危惧 II類

リュウノヒゲモ

Potamogeton pectinatus L.

◆国内外の分布 日本全土；世界の温帯～熱帯に広く分布

◆県内の分布 大潟

◆生育環境 汽水やその周辺の水路

◆選定理由 分布激減

◆生存に対する脅威 生育条件悪化

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イバラモ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

ホツヌモ

Najas graminea Delile

◆国内外の分布 日本全土；世界の温帯～熱帯に広く分布

◆県内の分布 鷹巣東部、大久保、刈和野、羽後田代

◆生育環境 ため池や水田

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 池沼改修、水質汚濁

◆特記事項 過去に2、3ヶ所で絶滅が確認されている。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

イバラモ科	絶滅危惧種 I A類
イトトリゲモ <i>Najas japonica</i> Nakai	環境省：絶滅危惧 I B類

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；東アジア

◆県内の分布 阿仁前田、五城目

◆生育環境 低地の池沼

◆選定理由 分布局限、個体数希少

◆生存に対する脅威 池沼改修、土地造成、農薬汚染

(高田 順)

イバラモ科	絶滅危惧種 I A類
イバラモ <i>Najas marina</i> L.	環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、奄美；世界の温帯～熱帯に広く分布

◆県内の分布 森岳、土崎

◆生育環境 低地の池沼

◆選定理由 分布激減、近年生育が確認されていない

◆生存に対する脅威 水質汚濁、フサジュンサイとの競合

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

イバラモ科	絶滅危惧種 I A類
トリゲモ <i>Najas minor</i> All.	環境省：絶滅危惧 I B類

◆国内外の分布 本州、四国、九州；世界の温帯～熱帯

◆県内の分布 五城目

◆生育環境 低地の池沼

◆選定理由 分布局限、個体数極少、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 池沼改修、土地造成、水質変化

(高田 順)

イバラモ科	絶滅危惧種 I A類
イトイバラモ <i>Najas yezoensis</i> Miyabe	環境省：絶滅危惧 I A類

◆国内外の分布 北海道、本州（青森県、秋田県）

◆県内の分布 大久保、金沢本町

◆生育環境 低地の池沼

◆選定理由 分布局限、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 池沼改修、水質汚濁、自然遷移

(高田 順)

ユリ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ソクシンラン

Aletris spicata (Thunb. ex Murray)
Bureau et Franch.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、関東以西）、四国、九州、琉球；朝鮮南部、中国（南部、台湾）
- ◆県内の分布 毛馬内
- ◆生育環境 シバ草地や林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数激減、近年生育が確認されていない
- ◆生存に対する脅威 草地開発（公園化）、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ユリ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ミヤマラッキヨウ

Allium splendens Willd. ex Schult.f

- ◆国内外の分布 北海道、本州（東北、中部）；千島、樺太、朝鮮、中国（東北）、シベリア東部、カムチャツカ
- ◆県内の分布 船川
- ◆生育環境 山地の草原
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ユリ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

アマナ

Amanoa edulis (Miq.) Honda

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州、奄美大島；朝鮮、中国（東北）
- ◆生育環境 丘陵地の林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 土地造成、園芸採取
- ◆特記事項 国内北限

(松田義徳)

ユリ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

マルバサンキライ

Smilax vaginata Decne.
var. *stans* (Maxim.) T.Koyama

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆県内の分布 湯瀬
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ユリ科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：絶滅危惧 II 類

コジマエンレイソウ

Trillium amabile Miyabe et Tatew.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（青森県、秋田県、山形県）；樺太南部
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取

(松田義徳)

イグサ科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：該当なし

ミクリゼキショウ

Juncus ensifolius Wikstr.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、北アメリカ
- ◆県内の分布 鳥海山、中直根
- ◆生育環境 山地の水辺
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、河川改修。生育地の近くに発電・水道用の施設があり、気付かずに全体が開発される恐れがある。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

イグサ科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：該当なし

ヤマズズメノヒエ

Luzula multiflora Lej.

- EX
- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；樺太、千島、中国から北半球温帯一帯、オーストラリア
 - ◆県内の分布 刈和野東部
 - ◆生育環境 丘陵地の草地
 - ◆選定理由 分布局限、個体数極少
 - ◆生存に対する脅威 踏みつけ、自然遷移
 - ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イグサ科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：該当なし

オカスズメノヒエ

Luzula pallescens (Wahlenb.) Besser

- VU
- NT
- DD
- LP
- RH
- N
- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国、千島、樺太、カムチャツカ、シベリア、北ヨーロッパ
 - ◆県内の分布 羽後玉川
 - ◆生育環境 山地の草地
 - ◆選定理由 分布局限、個体数極少
 - ◆生存に対する脅威 踏みつけ、自然遷移
 - ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ツユクサ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ヤブミヨウガ

Pollia japonica Thunb.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；中国（台湾、本土）
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 低地の林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 国内北限

(松田義徳)

イネ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

カニツリノガリヤス

Calamagrostis fauriei Hack.

- ◆国内外の分布 本州（中部以北の日本海側）
- ◆県内の分布 八幡平
- ◆生育環境 高山の草地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ヒナガリヤス

Calamagrostis nana Takeda

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆県内の分布 羽後朝日岳
- ◆生育環境 高山の乾いた草原や岩場
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イネ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ミヤマノガリヤス

Calamagrostis sesquiflora (Trin.) Tzvelev

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；中国北部、カムチャツカ、サハリン、千島、アリューシャン列島
- ◆県内の分布 秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 高山帯の荒原
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 IA類
ツクシガヤ <i>Chikusichloa aquatica</i> Koidz.	環境省：絶滅危惧 II類

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、山形県、奈良県）、九州；中国
- ◆県内の分布 刈和野
- ◆生育環境 低地の河畔
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 河川開発・改修、踏みつけ
- ◆特記事項 北限

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 IA類
ミノボ  <i>Koeleria macrantha</i> (Ledeb.) Schult.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；ヨーロッパ、アジア、北米、アフリカの温帯
- ◆県内の分布 大神成、真昼岳
- ◆生育環境 山地帯・亜高山帯の岩場
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 草地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 IA類
キダチノネズミガヤ <i>Muhlenbergia ramosa</i> (Hack.) Makino	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）
- ◆県内の分布 平沢、象潟
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 IA類
オガイチゴツナギ <i>Poa ogamontana</i> Mochizuki	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県、山形県）
- ◆県内の分布 冷水岳、船川
- ◆生育環境 山地帯の岩場
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

イネ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

アオイチゴツナギ

Poa skvortzovii Probat.

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（近畿以東）；朝鮮、中国東北、サハリン
- ◆県内の分布 湯瀬
- ◆生育環境 山地の草原、風穴地帯
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 スギ植林等による環境の変化
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

チシマカニツリ

Trisetum sibiricum Rupr.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国；東ヨーロッパ、ロシア、中国、朝鮮、カムチャツカ、サハリン、アラスカなど北半球周極地帯
- ◆県内の分布 羽後朝日岳、大神成
- ◆生育環境 亜高山帯から高山帯の草地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

サトイモ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：絶滅危惧 II類

マイヅルテンナンショウ

Arisaema heterophyllum Blume

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮南部、中国（本土、台湾）
- ◆県内の分布 早口、鷹巣東部
- ◆生育環境 低地の河畔
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 土地造成、河川開発・改修
- ◆特記事項 県立鷹巣農林高校の校庭内に移植された個体群があり町の文化財となっている。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

サトイモ科

絶滅危惧種 IA類

環境省：該当なし

ヒメカイウ

Calla palustris L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の冷温帯に広く分布
- ◆生育環境 深山の水湿地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、湿地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ミクリ科
ヤマトミクリ *Sparganium fallax* Graebn.
絶滅危惧種 I A類
環境省：絶滅危惧 II類

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；ビルマ、インド
- ◆県内の分布 角館、羽後長野
- ◆生育環境 池沼、湧水地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、河川開発・改修

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科
アワボスゲ *Carex brownii* Tuck.
絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；東アジア～オーストラリア
- ◆県内の分布 戸賀、川辺
- ◆生育環境 山地の草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 草地開発、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科
ヒメカワズスゲ *Carex brunnescens* (Pers.) Poir.
絶滅危惧種 I A類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；東アジア北部、シベリア、北アメリカ、ヨーロッパ
- ◆県内の分布 川辺
- ◆生育環境 山地帯の湿地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、草地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科
クリイロスゲ *Carex diandra* Schrank
絶滅危惧種 I A類
環境省：絶滅危惧 I A類

- ◆国内外の分布 北海道、本州（日本海側）；北半球の温帯に広く分布
- ◆県内の分布 川辺
- ◆生育環境 山地帯の湿地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 湿地開発

(沖田貞敏)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ヤラメスゲ *Carex lyngbyei* Hornem.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島、シベリア、北アメリカ
- ◆県内の分布 八幡平
- ◆生育環境 山中の湿原
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

ヤガミスゲ *Carex maackii* Maxim.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、九州；朝鮮、中国、アムール、ウスリー
- ◆県内の分布 秋田西部、刈和野、刈和野東部
- ◆生育環境 川辺などの湿った草地、原野
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 河川開発・改修、湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

オタルスゲ *Carex otaruensis* Franch.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州
- ◆県内の分布 田沢湖
- ◆生育環境 山地の渓畔
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I A類

環境省：絶滅危惧 II類

ウスイロスゲ *Carex pallida* C.A.Mey.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（秋田県、岩手県、茨城県）
- ◆県内の分布 大館
- ◆生育環境 山地帯の風穴
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事、踏みつけ

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I A類
ダケスゲ <i>Carex paupercula</i> Michx.	環境省：絶滅危惧 II類

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）；北千島、北半球の北部一般に分布
- ◆県内の分布 曲崎山、松川温泉
- ◆生育環境 高層湿原
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I A類
キンスゲ <i>Carex pyrenaica</i> Wahlenb.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ヨーロッパ、シベリア、北アメリカ
- ◆県内の分布 八幡平
- ◆生育環境 高山帯の草原
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I A類
イフスゲ <i>Carex stenantha</i> Franch. et Sav.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆県内の分布 秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 高山の岩礫のある草地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I A類
カンエンガヤツリ <i>Cyperus exaltatus</i> Retz. var. <i>iwasakii</i> (Makino) T.Koyama	環境省：絶滅危惧 II類

- ◆国内外の分布 本州（関東以北）、朝鮮、中国
- ◆県内の分布 岩谷
- ◆生育環境 低地の川辺り
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 生育地が洪水の影響を受けやすい
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ラン科

ナツエビネ

Calanthe reflexa Maxim.

絶滅危惧種 I A類

環境省：絶滅危惧 II類

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮（濟州島）、中国（南部、台湾）
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

ユウシュンラン

Cephalanthera erecta (Thunb. ex Murray) Blume
var. *subaphylla* (Miyabe et Kudo) Ohwi

絶滅危惧種 I A類

環境省：絶滅危惧 II類

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州
- ◆生育環境 山地の林下
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆特記事項 和名は秋田県出身の植物分類学者である工藤祐舜にちなむものである。
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

チョウセンキバナノアツモリソウ

Cypripedium guttatum Sw.

絶滅危惧種 I A類

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県）；ユーラシア大陸の亜寒帯、樺太、アラスカ
- ◆生育環境 山地の草地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆特記事項 中部地方の亜高山に生えるキバナノアツモリソウが淡黄緑色の花をつけるのに対し、本種は白地に紅紫色の斑があり、最近になって別種と考えられるようになった。

(沖田貞敏)

ラン科

ハマカキラン

Epipactis papillosa Franch. et Sav.
var. *sayekiana* (Makino) T.Koyama et Asai

絶滅危惧種 I A類

環境省：絶滅危惧 II類

- ◆国内外の分布 本州（青森県～三重県の太平洋岸）
- ◆生育環境 海岸のクロマツ林
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ラン科	絶滅危惧種 I A 類
ベニシユスラン	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科	絶滅危惧種 I A 類
フジチドリ	環境省：絶滅危惧 I B 類

- ◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県、神奈川県、静岡県）
- ◆生育環境 ブナの樹幹に着生
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科	絶滅危惧種 I A 類
サギソウ	環境省：絶滅危惧 II 類

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国（台湾）
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布局限、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、園芸採取
- ◆特記事項 北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科	絶滅危惧種 I A 類
ヤチラン	環境省：絶滅危惧 I B 類

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（中部以北）；樺太、シベリア、ヨーロッパ、北アメリカ
- ◆生育環境 高層湿原
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ラン科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：該当なし

ホザキイチヨウラン

Malaxis monophyllos (L.) Sw.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（近畿以東）、四国；朝鮮、樺太、シベリア、中国（本土、台湾）、ヒマラヤ、ヨーロッパ、北アメリカ
- ◆生育環境 ブナ帯上部から亜高山帯の林床
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 I A 類

環境省：該当なし

タカネサギソウ

Platanthera mandarinorum Rchb.f.
var. *maximowicziana* (Schltr.) Ohwi

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（中部以北）
- ◆生育環境 高山帯の湿原
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ヒカゲノカズラ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 I B 類

スギラン

Lycopodium cryptomerinum Maxim.

- ◆国内外の分布 北海道（東部）、本州、四国、九州、屋久島
- ◆生育環境 山地の樹上に着生
- ◆選定理由 分布限定、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ヒカゲノカズラ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

コスギラン

Lycopodium selago L.
var. *appressum* Desv.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（静岡県・岐阜県以北）、屋久島；北半球の温帯からマレーシアの高山
- ◆県内の分布 秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、北川舟
- ◆生育環境 高山帯・亜高山帯の草原
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イフヒバ科
コケスギラン *Selaginella selaginoides* (L.) Link
絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ヨーロッパ北部、ロシア、北アメリカ
- ◆県内の分布 松川温泉、秋田駒ヶ岳、鳥海山
- ◆生育環境 高山帯・亜高山帯の草原
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ミズニラ科
ヒメミズニラ *Isoetes asiatica* (Makino) Makino
絶滅危惧種 I B 類
環境省：絶滅危惧 II 類

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、樺太、カムチャツカ
- ◆県内の分布 八幡平、秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 亜高山帯の池沼
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 水質汚濁
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ハナヤスリ科
オオハナワラビ *Botrychium japonicum* (Prantl) Underw.
絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ハナヤスリ科
ハマハナヤスリ *Ophioglossum thermale* Kom.
絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；シベリア、中国（本土、台湾）、ミクロネシア
- ◆県内の分布 羽後水沢、扇田、船越
- ◆生育環境 海岸近くの砂質湿地、内陸部の湿地
- ◆選定理由 分布局限、個体数激減、近年確認されず
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

コケシノブ科

アオホラゴケ

Crepidomanes latealatum (Bosch) Copel.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球、小笠原；インドからポリネシアにかけての旧世界の亜熱帯から熱帯
- ◆県内の分布 松原、岩野目沢、小砂川
- ◆生育環境 山地の岩場
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

コバノイシカグマ科

コバノイシカグマ

Dennstaedtia scabra (Wall. ex Hook.) Moore

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮、中国（中南部、台湾）、南アジア、インドシナ半島、マレーシア西部
- ◆県内の分布 蓬内台、抱返り渓谷、象潟、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イノモトソウ科

オオバノイノモトソウ

Pteris cretica L.

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；世界中の熱帯、亜熱帯
- ◆県内の分布 象潟、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イノモトソウ科

オオバノハチジョウシダ

Pteris excelsa Gaudich.

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・福島県以南）、四国、九州；朝鮮から中国中南部以南の東アジア、南アジアからオセアニア
- ◆県内の分布 象潟、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

チャセンシダ科

イワトランノオ

Asplenium tenuicaule Hayata

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；台湾、中国、ヒマラヤ

◆県内の分布 田沢湖、国見温泉、抱返り渓谷、八沢木

◆生育環境 山地の岩場

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科

ナンゴクナライシダ

Arachniodes miquelianana (Maxim. ex Franch. et Sav.) Ohwi

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州

◆県内の分布 象潟、小砂川

◆生育環境 丘陵地の森林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科

ハカタシダ

Arachniodes simplicior (Makino) Ohwi

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；中国

◆県内の分布 象潟、小砂川

◆生育環境 丘陵地の森林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科

オニカナワラビ

Arachniodes simplicior (Makino) Ohwi
var. *major* (Tagawa) Ohwi

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州

◆県内の分布 象潟、小砂川

◆生育環境 丘陵地の森林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

キヨスミヒメワラビ

Ctenitis maximowicziana (Miq.) Ching

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；中国、台湾
- ◆県内の分布 羽川、象潟、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヤブソテツ

Cyrtomium fortunei J.Sm.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮南部、中国、インドシナ、タイ
- ◆県内の分布 象潟、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オクヤマシダ

Dryopteris amurensis (Milde) Christ

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮、中国北部、ロシア東部
- ◆県内の分布 湯瀬、森吉山、戸鳥内、曲崎山
- ◆生育環境 山地帯、亜高山帯の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

オシダ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オオベニシダ

Dryopteris hondoensis Koidz.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 羽後和田、象潟、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科	絶滅危惧種 I B 類
オオイタチシダ <i>Dryopteris pacifica</i> (Nakai) Tagawa	環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮、中国

◆県内の分布 内道川、本荘、象潟、小砂川

◆生育環境 丘陵地の森林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科	絶滅危惧種 I B 類
ツヤナシイノデ <i>Polystichum ovatopaleaceum</i> (Kodama) Sa.Kurata	環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮

◆県内の分布 象潟、小砂川

◆生育環境 丘陵地の森林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

オシダ科	絶滅危惧種 I B 類
サイゴクイノデ <i>Polystichum pseudomakinoi</i> Tagawa	環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（日本海側および関東以西）、四国、九州；中国

◆県内の分布 大久保、小砂川

◆生育環境 丘陵地の森林内

◆選定理由 分布限定、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヒメシダ科	絶滅危惧種 I B 類
ゲジゲジシダ <i>Thelypteris decursive-pinnata</i> (H.C.Hall) Ching	環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；朝鮮南部、中国（本土、台湾）、インドシナ、インド

◆県内の分布 田沢湖、象潟、小砂川

◆生育環境 丘陵地、山地の森林内あるいは林縁

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採、草地開発

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヒメシダ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヒメフラビ

Thelypteris torresiana (Gaudin) Alston
var. *calvata* (Baker) K.Iwats.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；東南アジアからオーストラリア。北アメリカに帰化
- ◆県内の分布 五城目、湯ノ又、新波、象潟
- ◆生育環境 丘陵地の林縁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヒメシダ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ミドリヒメフラビ

Thelypteris viridifrons Tagawa

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州；朝鮮南部、中国南部
- ◆県内の分布 松原、本荘、象潟、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イワデンダ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ウスヒメフラビ

Acystopteris japonica (Luerss.) Nakai

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・福島県以南、岩手県は現状不明）、四国、九州、屋久島；台湾から中国南西部
- ◆県内の分布 松原、象潟、丁岳
- ◆生育環境 丘陵地、山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

イワデンダ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 I B 類

コウライイヌフラビ

Deparia coreana (Christ) M.Kato

- ◆国内外の分布 本州、九州；朝鮮、中国（東北）
- ◆県内の分布 船川、象潟、小砂川
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

VU

NT

DD

LP

RH

N

イワデンダ科	絶滅危惧種 I B 類
セイタカシケシダ <i>Deparia dimorphophylla</i> (Koidz.) M.Kato	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮、中国、インド
- ◆県内の分布 象潟、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イワデンダ科	絶滅危惧種 I B 類
イワヤシダ <i>Diplazium cavalerianum</i> (H.Christ) M.Kato	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；中国
- ◆県内の分布 鷹巣西部、鷹巣東部、桂瀬、小又口、八木沢、蓬内台、松原、田沢湖、岩野目沢、稻庭、横堀
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イワデンダ科	絶滅危惧種 I B 類
ヌリワラビ <i>Diplazium mesosorum</i> (Makino) Koidz.	環境省：該当なし

- EX ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮
 EW ◆県内の分布 湯沢、稻庭
 CR ◆生育環境 山地の森林内
 EN ◆選定理由 分布限定、個体数極少
 ◆生存に対する脅威 森林伐採
 ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ウラボシ科	絶滅危惧種 I B 類
ヒメノキシノブ <i>Lepisorus onoei</i> (Franch. et Sav.) Ching	環境省：該当なし

- VU DD ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮
 NT LP ◆県内の分布 船川、象潟
 CR RH ◆生育環境 丘陵地、山地の岩場
 ◆選定理由 分布限定、個体数極少
 ◆生存に対する脅威 土地造成
 ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヒノキ科

ネ

ズ

Juniperus rigida Siebold et Zucc.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 湯瀬、湯ノ又、船川
- ◆生育環境 丘陵地、山地の森林
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

カバノキ科

ネコシテ

Betula corylifolia Regel et Maxim.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（近畿以東）
- ◆県内の分布 太平山、羽後朝日岳、真湯温泉
- ◆生育環境 山地帯上部の森林
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採

(藤原陸夫)

イラクサ科

ヤマミズ

Pilea japonica (Maxim.) Hand.-Mazz.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州
- ◆県内の分布 阿仁前田、下桧木内、抱返り渓谷
- ◆生育環境 山地の森林内および林縁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

タデ科

イブキトラノオ

Bistorta major Gray
var. *japonica* H.Hara

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；旧世界の北部および高山
- ◆県内の分布 太平山、大神成
- ◆生育環境 山地帯、亜高山帯の草原
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

タデ科	絶滅危惧種 I B 類
サ デ ク サ <i>Persicaria maackiana</i> (Regel) Nakai	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国、ウスリー
- ◆県内の分布 寒風山、松原、刈和野東部、大曲
- ◆生育環境 低地の池沼周辺
- ◆選定理由 分布限定、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

タデ科	絶滅危惧種 I B 類
オ ヤ マ ソ バ <i>Pleuropteropyrum nakaii</i> H.Hara	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆県内の分布 秋田駒ヶ岳、国見温泉、大神成
- ◆生育環境 亜高山帯、高山帯の砂礫地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

タデ科	絶滅危惧種 I B 類
オ ン タ デ <i>Pleuropteropyrum weyrichii</i> (F.Schmidt) H.Gross var. <i>alpinum</i> (Maxim.) H.Gross	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆県内の分布 鳥海山、鬼首峰
- ◆生育環境 亜高山帯、高山帯の草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ハマミズナ科	絶滅危惧種 I B 類
ツ ル ナ <i>Tetragonia tetragonoides</i> (Pall.) Kuntze	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；中国、南アジア、南米、オーストラリア
- ◆県内の分布 船川、秋田西部、小砂川
- ◆生育環境 海岸の砂礫地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ナデシコ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 II 類

アオモリマンテマ

Silene aomorensis M.Mizush.

◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県）

◆生育環境 山地の岩場

◆選定理由 分布限定、個体数極少、個体数激減

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

アカザ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

カワラアカザ

Chenopodium virgatum Thunb.

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；ウスリー、中国、朝鮮

◆県内の分布 大久保、岩谷、本荘

◆生育環境 砂浜や砂礫地

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 海岸開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

マツブサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

チョウセンゴミシ

Schisandra chinensis (Turcz.) Baill.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；アムール、朝鮮、中国、樺太

◆県内の分布 陸中濁川、湯瀬、大神成

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

アズマレイジンソウ

Aconitum pterocaule Koidz.

◆国内外の分布 本州（中部以北）

◆県内の分布 大曲、稻庭

◆生育環境 林縁の草地

◆選定理由 分布局限、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採、草地開発、土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I B 類

スハマソウ

Hepatica nobilis Schreb.var. *japonica* Nakai form. *variegata* (Makino) Kitam.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、四国

◆生育環境 落葉樹林下

◆選定理由 分布限定、個体数激減、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I B 類

ハクサンイチゲ

Anemone narcissiflora L.var. *nipponica* Tamura

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県～中部）

◆生育環境 高山の湿性草原

◆選定理由 分布限定、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I B 類

サンリソウ

Anemone stolonifera Maxim.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮、中国（東北）、台湾

◆県内の分布 ニツ森、冷水岳、羽後焼山、真名子、玉川温泉、三界山

◆生育環境 山地の森林内や溪流沿い

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採、ダム建設

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I B 類

リュウキンカ

Caltha palustris L.var. *nipponica* H.Hara

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、九州；朝鮮

◆生育環境 丘陵地の湿地や溪流沿い

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 園芸採取、湿地開発

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オオバショウマ

Cimicifuga acerina (Siebold et Zucc.) C.Tanaka

◆国内外の分布 本州、四国、九州

◆県内の分布 毛馬内、犬吠森、湯瀬、田山

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ミヤマハンショウヅル (コミヤマハンショウヅルを含む)

Clematis alpina (L.) Millersubsp. *ochotensis* (Pall.) Kuntze var. *fusijamana* Kuntze

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、樺太、カムチャツカ、シベリア東部

◆生育環境 高山帯～亜高山帯の林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 II 類

オキナグサ

Pulsatilla cernua (Thunb. ex Murray) C.K.Spreng.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国の暖帯～温帯

◆生育環境 丘陵地の草地

◆選定理由 分布限定、分布激減、個体数激減、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取、草地開発、土地造成

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 I B 類

チトセバイカモ

Ranunculus yezoensis Nakai

◆国内外の分布 北海道、本州（青森県、秋田県）

◆県内の分布 白沢、大館、鷹巣西部

◆生育環境 低地の河川や水路の流水中

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 水質汚濁、河川開発・改修、農薬汚染

◆特記事項 清流で砂礫底が必要なことと水路に生育しているために管理の状況により生育や分布の消長が激しい。

(菊地卓弥)

メギ科	絶滅危惧種 I B 類
ナンブソウ	環境省：該当なし

Achlys japonica Maxim.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（北部）
- ◆生育環境 山地の主として風穴地帯
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 自然遷移、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

メギ科	絶滅危惧種 I B 類
ギ	環境省：該当なし

Berberis thunbergii DC.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆県内の分布 白沢、横手
- ◆生育環境 山地の森林内や林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事

(菊地卓弥)

メギ科	絶滅危惧種 I B 類
トガクシショウマ	環境省：絶滅危惧 II 類

Ranzania japonica (T.Ito) T.Ito

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆生育環境 ブナ林の急傾斜の沢沿い
- ◆選定理由 分布限定、個体数減少
- ◆生存に対する脅威 林道開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ウマノスズクサ科	絶滅危惧種 I B 類
コシノカンアオイ	環境省：準絶滅危惧

Asarum megacalyx F.Mak.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県～福井県の日本海側）
- ◆生育環境 丘陵地の林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、草地開発、土地造成
- ◆特記事項 最近の道路工事で最大の分布地が消滅した。
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ツバキ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヒサカキ *Eurya japonica* Thunb.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州、琉球、小笠原；朝鮮南部
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 低地の森林内
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

オトギリソウ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 II 類

エゾオトギリ *Hypericum yezoense* Maxim.

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（北部）；樺太
- ◆県内の分布 田代岳、戸賀、八木沢、船川
- ◆生育環境 海岸・山地の岩上
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 道路工事、森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿・栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ケシ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オサバグサ *Pteridophyllum racemosum* Siebold et Zucc.

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 道路工事、森林伐採、園芸採取
- ◆特記事項 真尾山地では一部が林道開発で減少している。
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

アブラナ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

エゾハタザオ *Arabis pendula* L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮、中国、モンゴル、ロシア極東地方、シベリア、ヨーロッパ
- ◆県内の分布 湯瀬、田山
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

アブラナ科

絶滅危惧種 I B類

環境省：該当なし

オクヤマガラシ

Cardamine torrentis Nakai

◆国内外の分布 本州

◆県内の分布 八幡平、秋田駒ヶ岳、国見温泉

◆生育環境 山地の水辺

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 道路工事、森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

アブラナ科

絶滅危惧種 I B類

環境省：該当なし

イヌナズナ

Draba nemorosa L.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；北半球に広く分布する

◆県内の分布 毛馬内、能代、花輪

◆生育環境 低地の畠地

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 土地造成

◆特記事項 生育地の消長が激しい。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物。

(菊地卓弥)

アブラナ科

絶滅危惧種 I B類

環境省：絶滅危惧 II類

ミギワガラシ

Rorippa nikkoensis H.Hara

◆国内外の分布 本州

◆県内の分布 五城目、戸鳥内、椿台、菅生

◆生育環境 山地の湿地

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 湿地開発

◆現在講じられている保護対策 栗駒国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ベンケイソウ科

絶滅危惧種 I B類

環境省：該当なし

アオノイワレンゲ

Orostachys malacophyllus (Pall.) Fisch.

◆国内外の分布 北海道、本州（北部）、九州（北部）；朝鮮、中国（東北）、ウスリー、樺太

◆生育環境 内陸部の山地の岩場

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 男鹿国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ユキノシタ科

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なしチダケサシ *Astilbe microphylla* Knoll

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆県内の分布 毛馬内、湯瀬、熊沢、田沢湖
- ◆生育環境 丘陵地の山麓の明るい湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ユキノシタ科

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なしオオシラヒゲソウ *Parnassia foliosa* Hook.f. et Thoms.
var. *japonica* (Nakai) Ohwi

- ◆国内外の分布 本州（秋田県～兵庫県の日本海側）
- ◆生育環境 低地の沢沿いの林内
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ユキノシタ科

絶滅危惧種 I B 類
環境省：絶滅危惧 II 類タコノアシ *Penthorum chinense* Pursh

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、奄美大島；東アジアに広く分布する
- ◆県内の分布 秋田西部、羽後和田、刈和野、本荘
- ◆生育環境 河川の水際で常に冠水するような不安定な立地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 河川開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ユキノシタ科

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なしシコタンソウ *Saxifraga cherleroides* D.Don
var. *rebunshirensis* (Engl. et Irmsch.) H.Hara

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島
- ◆生育環境 山地の急傾斜の岩場
- ◆選定理由 分布限定、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科

絶滅危惧種 I B 類

クサボケ

環境省：該当なし

Chaenomeles japonica (Thunb. ex Murray) Lindl. ex Spach.

- ◆国内外の分布 本州、九州
- ◆県内の分布 羽川、角館
- ◆生育環境 低地の林縁や草地
- ◆選定理由 分布局限、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 土地造成、自然遷移、草地開発
- ◆特記事項 自生状態だがいずれも集落の近くということで暖地からもたらされたものという疑いもある。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科

絶滅危惧種 I B 類

エゾノコリンゴ

環境省：該当なし

Malus baccata (L.) Borth.
var. *mandshurica* (Maxim.) C.K.Schneid.

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（中部以北）；朝鮮、中国（東北、北部）、ウスリー、樺太
- ◆県内の分布 鷹巣東部、五城目、田沢湖
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成

(菊地卓弥)

バラ科

絶滅危惧種 I B 類

カワラサイコ

環境省：該当なし

Potentilla chinensis Ser.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国、モンゴル、アムール、ウスリー
- ◆県内の分布 森岳、湯瀬、大潟、土崎
- ◆生育環境 川原や草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、河川改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

バラ科

絶滅危惧種 I B 類

オオタカネイバラ

環境省：該当なし

Rosa suavis Willd.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、朝鮮、中国（東北）、シベリア、カムチャツカ
- ◆県内の分布 白沢、大館、鷹巣東部
- ◆生育環境 山地や丘陵地の風穴地帯
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

バラ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

クサイチゴ *Rubus hirsutus* Thunb.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 岩谷、象潟、湯沢
- ◆生育環境 低地や丘陵地の林縁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事

(菊地卓弥)

バラ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

コガネイチゴ *Rubus pedatus* Smith

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、シベリア
- ◆生育環境 亜高山帯の針葉樹林下
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ミヤマウラジロイチゴ *Rubus yabei* H.Lév. et Vaniot

- ◆国内外の分布 本州（中北部）
- ◆県内の分布 十和田湖西部、阿仁合、八幡平、小砂川
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、林道建設などの道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

バラ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ウラジロナナカマド *Sorbus matsumurana* (Makino) Koehne

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中北部）
- ◆県内の分布 森吉山、八幡平、鳥海山
- ◆生育環境 亜高山帯の森林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

マメ科	モメンヅル <i>Astragalus reflexistipulus</i> Miq.	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
-----	--	-------------------------

- ◆国内外の分布 北海道、本州
- ◆県内の分布 根城岱、鷹巣西部、鷹巣東部、扇田、岩野目沢、左草
- ◆生育環境 低地～丘陵地の林縁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

マメ科	レンリソウ <i>Lathyrus quinquenervius</i> Miq.	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
-----	---	-------------------------

- ◆国内外の分布 本州、九州；朝鮮、中国、シベリ東部、アムール、ウスリー
- ◆県内の分布 鷹巣西部、象潟、湯沢
- ◆生育環境 低地の草地
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 河川開発・改修、草地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

フウロソウ科	ハマフウロ(オガフウロを含む)	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
--------	-----------------	-------------------------

- ◆国内外の分布 北海道、本州（青森県、秋田県）
- ◆県内の分布 岩館、戸賀、船川
- ◆生育環境 海岸の草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数減少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

トウダイグサ科	シナノタイゲキ <i>Euphorbia sinanensis</i> (Hurus.) T.Kuros. et H.Ohashi	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
---------	---	-------------------------

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、山梨県、長野県）
- ◆県内の分布 大館、毛馬内
- ◆生育環境 丘陵地の林縁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

トウダイグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

アカメガシワ

Mallotus japonicus (Thunb.) Müll.Arg.

◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（本土、台湾）

◆県内の分布 岩谷、小砂川

◆生育環境 丘陵地の森林内や林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事

(菊地卓弥)

トウダイグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

シラキ

Sapium japonicum (Siebold et Zucc.) Pax et K.Hoffm.

◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（大陸中部）

◆県内の分布 岩谷、新沢、平沢、象潟

◆生育環境 丘陵地の森林内

◆選定理由 分布限定、個体数減少

◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事

◆特記事項 最大とされていた林分が最近伐採され集団としての存続が危ぶまれている

(菊地卓弥)

カエデ科

絶滅危惧種 I B

環境省：絶滅危惧 I B 類

クロビイタヤ

Acer miyabei Maxim.

◆国内外の分布 北海道（南部）、本州（秋田県、岩手県、福島県、長野県）

◆県内の分布 鷹巣西部、鷹巣東部、扇田

◆生育環境 丘陵地の森林内

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

カエデ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

エゾイタヤメイゲツ

Acer sieboldianum Miq.
var. *yezoense* Miyabe et Tatew.

◆国内外の分布 北海道、本州（秋田県）

◆県内の分布 角館、刈和野、中直根

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆特記事項 本州唯一の産地。オオモミジとハウチワカエデの雑種説もある。

(松田義徳)

クロウメモドキ科	絶滅危惧種 I B 類
クロカンバ <i>Rhamnus costata</i> Maxim.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆県内の分布 中滝、田沢、抱返り渓谷、小安温泉
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科	絶滅危惧種 I B 類
エゾアオイスミレ <i>Viola collina</i> Bess.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（中部以北）；樺太、朝鮮、中国（東北）、シベリア、ヨーロッパ～ロシア、カフカズ
- ◆県内の分布 大館、鷹巣東部、白沢、扇田、大葛、川辺、羽後田代
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科	絶滅危惧種 I B 類	環境省：該当なし
ツルタチツボスミレ <i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>rhizomata</i> (Nakai) Ohwi		環境省：準絶滅危惧

- ◆国内外の分布 本州（東北～中国西部の日本海側）
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科	絶滅危惧種 I B 類
サクラスミレ <i>Viola hirtipes</i> S.Moore	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北）、ウスリー
- ◆生育環境 丘陵地の林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

スミレ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

コスミレ

Viola japonica Langsd. ex Ging.

- ◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州、四国、九州；朝鮮南部
- ◆県内の分布 角館、大琴
- ◆生育環境 丘陵地の林縁
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

アケボノスミレ

Viola rossii Hemsl.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国北部
- ◆生育環境 丘陵地の林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

セナミスミレ

Viola senamiensis Nakai

- ◆国内外の分布 北海道（南西部）、本州（北部～鳥取県の日本海側）
- ◆県内の分布 羽後水沢、能代、船越、土崎、秋田西部、本荘、小砂川
- ◆生育環境 海岸の砂丘
- ◆選定理由 分布限定、個体数激減、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ミソハギ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 I B 類

ミズキカシグサ

Rotala littorea (Miq.) Nakai

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮
- ◆県内の分布 鷹巣東部、桂瀬、六郷
- ◆生育環境 低地の水田や湿地
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成、農薬汚染
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ミソハギ科

ミズマツバ

Rotala pusilla Tul.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 II 類

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、フィリピン、インド、カフカズ、中央アジア、アフリカなど
- ◆県内の分布 鷹巣西部、鷹巣東部、扇田、米内沢、桂瀬、横堀
- ◆生育環境 低地の水田・放棄水田や灌漑用の堤などの湿地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 農薬汚染、湿地開発、管理放棄
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

アカバナ科

ホソバアカバナ

Epilobium palustre L.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ユーラシア・北アメリカの温帯
- ◆県内の分布 田代岳、桂瀬、八幡平、天上倉山、比立内
- ◆生育環境 山地から亜高山の湿原
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

アリントウグサ科

ホザキノフサモ

Myriophyllum spicatum L.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；北半球の温帯～亜熱帯
- ◆県内の分布 能代、森岳、大潟、船越、刈和野
- ◆生育環境 池や沼
- ◆選定理由 分布激減、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

スギナモ科

スギナモ

Hippuris vulgaris L.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、グリーンランド、オーストラリアなど
- ◆県内の分布 角館、刈和野、羽後長野、大曲、六郷
- ◆生育環境 湧水が流入する池や沼
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、水質汚濁
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

セリ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オオカサモチ *Pleurospermum camtschaticum* Hoffm.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；アジア北東部

◆県内の分布 国見温泉、大神成、北川舟

◆生育環境 山地帯上部の草原

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

セリ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オヤブジラミ *Torilis scabra* (Thunb. ex Murray) DC.

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（本土、台湾）

◆県内の分布 戸賀、船川、大神成

◆生育環境 低地の路傍や林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 草地開発、土地造成

(松田義徳)

イワウメ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヒメイワカガミ *Schizocodon ilicifolius* Maxim.

◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県～紀伊半島の主に太平洋側）

◆生育環境 山地帯上部や亜高山帯の岩上

◆選定理由 分布限定、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イチヤクソウ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ジンヨウイチヤクソウ *Pyrola renifolia* Maxim.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、朝鮮、中国（東北）、アムール

◆生育環境 丘陵地や低地の森林内

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ツツジ科	絶滅危惧種 I B 類
ヒメシャクナゲ <i>Andromeda polifolia</i> L.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の寒冷地
 - ◆生育環境 高山の湿原
 - ◆選定理由 分布限定、高採集圧
 - ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
 - ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
- (松田義徳)

ツツジ科	絶滅危惧種 I B 類
イ フ ヒ ゲ <i>Cassiope lycopodioides</i> (Pall.) D.Don	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、カムチャツカ、アラスカ
 - ◆生育環境 高山の岩隙
 - ◆選定理由 分布限定
 - ◆生存に対する脅威 園芸採取
 - ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
- (松田義徳)

ツツジ科	絶滅危惧種 I B 類
ツガザクラ(ナガバツガザクラを含む) <i>Phyllodoce nipponica</i> Makino	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県～鳥取県）、四国
 - ◆生育環境 高山の岩隙
 - ◆選定理由 分布局限
 - ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
 - ◆特記事項 北限
 - ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
- (松田義徳)

ツツジ科	絶滅危惧種 I B 類
ユキグニミツバツツジ <i>Rhododendron lagopus</i> Nakai var. <i>niphophilum</i> (T.Yamaz.) T.Yamaz.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国（秋田県南部～鳥取県東部の日本海側、瀬戸内海周辺）
 - ◆生育環境 山地の森林内
 - ◆選定理由 分布限定
 - ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
 - ◆特記事項 北限
 - ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
- (松田義徳)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ツツジ科 絶滅危惧種 I B 類
バイカツツジ 環境省：該当なし

バイカツツジ *Rhododendron semibarbatum* Maxim.

- ◆国内外の分布 北海道（南部）、本州、四国、九州
- ◆県内の分布 藤琴、鷹巣西部、羽後庄内、羽後境
- ◆生育環境 山地の森林内や林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ツツジ科 絶滅危惧種 I B 類
オオコメツツジ 環境省：該当なし

オオコメツツジ *Rhododendron trinerve* Franch. ex H.Boissieu

- ◆国内外の分布 本州（秋田県～近畿の日本海側）
- ◆生育環境 山地の林縁や湿原の周辺
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 土地造成、園芸採取
- ◆特記事項 北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ツツジ科 絶滅危惧種 I B 類
エゾツツジ *Therorhodion camtschaticum* (Pall.) Small 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（東北北部）；千島、カムチャツカ、アラスカ、シベリア
- ◆生育環境 高山の岩場や岩礫地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆特記事項 南限
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ツツジ科 絶滅危惧種 I B 類
イワツツジ *Vaccinium praestans* Lamb. 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、カムチャツカ、樺太、ウスリー
- ◆生育環境 亜高山帯の林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ツツジ科	絶滅危惧種 I B 類
マルバウスゴ <i>Vaccinium shikokianum</i> Nakai	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆県内の分布 鳥海山、桂沢、栗駒山
- ◆生育環境 高山の湿原の周辺
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆特記事項 鳥海山が北限
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

サクラソウ科	絶滅危惧種 I B 類
ウミミドリ <i>Glaux maritima</i> L. var. <i>obtusifolia</i> Fern.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（北部）；アジア・北アメリカの北部
- ◆県内の分布 大間越、岩館、戸賀、船川、象潟
- ◆生育環境 塩性湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

マチン科	絶滅危惧種 I B 類
ヒメナエ工 <i>Mitrasacme indica</i> Wight	環境省：絶滅危惧 I B 類

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国、インド、マレーシア、オーストラリア
- ◆県内の分布 船越、大久保、土崎、松原
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

リンドウ科	絶滅危惧種 I B 類
リンドウ <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. ex Franch. et Sav.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、奄美
- ◆生育環境 山地の草地や林縁
- ◆選定理由 分布限定、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 草地開発、土地造成、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

リンドウ科 絶滅危惧種 I B 類
ホソバツルリンドウ *Pterygocalyx volubilis* Maxim. 環境省：絶滅危惧 I B 類

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国；朝鮮、中国（東北）、ウスリー
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 土地造成、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

リンドウ科 絶滅危惧種 I B 類
イヌセンブリ *Swertia tosaensis* Makino 環境省：絶滅危惧 II 類

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

アカネ科 絶滅危惧種 I B 類
オオキヌタソウ *Rubia chinensis* Regel et Maack 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北）
- ◆県内の分布 鷹巣東部、桂瀬、小又口、秋田駒ヶ岳、田沢湖、国見温泉
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX
EW
CR
EN

アカネ科 絶滅危惧種 I B 類
アカネムグラ *Rubia jesoensis* (Miq.) Miyabe et Miyake 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（東北、北陸）；千島、樺太、ウスリー
- ◆県内の分布 岩館、戸賀
- ◆生育環境 海岸の草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

VU
NT
DD
LP
RH
N

シソ科	トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i> (Benth.) Kuntze	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
-----	------	--	-------------------------

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 秋田東部、羽後和田、抱返り渓谷、平沢
- ◆生育環境 低地の人家や耕作地の周辺
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 土地造成

(松田義徳)

シソ科	ヤマジソ	<i>Mosla japonica</i> (Benth. ex Oliv.) Maxim.	絶滅危惧種 I B 類 環境省：絶滅危惧 II 類
-----	------	--	------------------------------

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮南部
- ◆県内の分布 大館、鷹巣東部、扇田、北浦、寒風山
- ◆生育環境 丘陵地、山地の草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

シソ科	ミヤマタムラソウ	<i>Salvia lutescens</i> Koidz. var. <i>crenata</i> (Makino) Murata	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
-----	----------	---	-------------------------

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県～中部）
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆特記事項 北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

シソ科	イヌニガクサ	<i>Teucrium veronicoides</i> Maxim. var. <i>brachytrichum</i> Ohwi	絶滅危惧種 I B 類 環境省：絶滅危惧 I A 類
-----	--------	---	-------------------------------

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、岩手県、山形県）
- ◆県内の分布 松原、川辺、小砂川
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種 I B 類

マルバノサフトウガラシ

Deinostema adenocaulum (Maxim.)
T.Yamaz.

環境省：絶滅危惧 I B 類

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮南部

◆県内の分布 藤琴、鷹巣東部、米内沢、桂瀬、阿仁前田、船越、土崎、秋田東部、田沢湖、象潟

◆生育環境 低地の水田や湿地

◆選定理由 分布減少、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 湿地開発、農薬汚染

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種 I B 類

ホソバコゴメグサ

Euphrasia japonica Wetst.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県～中部）

◆生育環境 高山の草地

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取

◆特記事項 北限

◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種 I B 類

ママコナ

Melampyrum roseum Maxim.
var. *japonicum* Franch. et Sav.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州、四国、九州；朝鮮南部

◆県内の分布 横手、十文字、稻庭

◆生育環境 山地の林縁

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種 I B 類

トモエシオガマ

Pedicularis resupinata L.
var. *caespitosa* Koidz.

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（中北部）

◆生育環境 高山の草地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ゴマノハグサ科	絶滅危惧種 I B 類
ミチノククワガタ	環境省：該当なし <i>Pseudolysimachion schmidtianum</i> (Regel) T.Yamaz. subsp. <i>senanense</i> (Maxim.) T.Yamaz. form. <i>tomentosum</i> T.Yamaz.

- ◆国内外の分布 本州。
- ◆生育環境 山地帯の岩礫地。
- ◆選定理由 分布限定。
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物。

(松田義徳)

ゴマノハグサ科	絶滅危惧種 I B 類
シラガミクワガタ	環境省：該当なし <i>Pseudolysimachion schmidtianum</i> (Regel) T.Yamaz. subsp. <i>senanense</i> (Maxim.) T.Yamaz. var. <i>shiragamiense</i> T.Yamaz.

- ◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県）
- ◆生育環境 山地帯の岩礫地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物、白神山地自然環境保全地域指定植物

(松田義徳)

イワタバコ科	絶滅危惧種 I B 類
イワタバコ	環境省：該当なし <i>Conandron ramondioides</i> Siebold et Zucc.

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州
- ◆生育環境 山地の日陰の湿った岩壁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ハマウツボ科	絶滅危惧種 I B 類
ハマウツボ（オカウツボを含む）	環境省：該当なし <i>Orobanche coerulescens</i> Stephan

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；中国、朝鮮、シベリア、ヨーロッパ東部
- ◆県内の分布 桂瀬、大潟、船越、羽後田代
- ◆生育環境 海岸、丘陵地のヨモギ属に寄生
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ハマウツボ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

キヨスミウツボ

Phacellanthus tubiflorus Siebold et Zucc.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、ウスリー、樺太、中国（中北部、東北）
- ◆県内の分布 桂瀬、小又口、サンケ森、阿仁合、国見温泉、抱返り渓谷、岩野目沢、鳥海山、小安温泉、神室山
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

タヌキモ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ムシトリスミレ

Pinguicula vulgaris L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）、四国
- ◆生育環境 山地または高山の湿った岩上
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、岩壁崩落
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

タヌキモ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 I A 類

フサタヌキモ

Utricularia dimorphantha Makino

- ◆国内外の分布 本州（東北～近畿）
- ◆県内の分布 惠戸野、大曲、横手
- ◆生育環境 丘陵地の沼や池
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、水質汚濁

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

タヌキモ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 II 類

ヒメタヌキモ

Utricularia multifida (Miki) Miki

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；北半球の温帯～亜寒帯域
- ◆県内の分布 羽後水沢、大館、鷹巣東部、桂瀬、大久保、羽後和田
- ◆生育環境 低地の浅い沼
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、水質汚濁
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

VU

NT

DD

LP

RH

N

オオバコ科

ハクサンオオバコ

Plantago hakusanensis Koidz.

絶滅危惧種 I B類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（中部以北の日本海側）

◆県内の分布 森吉山、八幡平、松川温泉、鳥海山

◆生育環境 高山の湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

スイカズラ科

クロミノウグイスカグラ（マルバヨノミを含む）

Lonicera caerulea L.subsp. *edulis* (Turcz.) Hultén var. *emphyllocalyx* (Maxim.) Nakai

絶滅危惧種 I B類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮

◆県内の分布 森吉山、八幡平、上桧木内、国見温泉、羽後朝日岳、鳥海山、神室山

◆生育環境 高山の風衝地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

レンブクソウ科

レンブクソウ

Adoxa moschatellina L.

絶滅危惧種 I B類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、九州；北半球の温帯

◆県内の分布 鷹巣西部、扇田、大葛、沖田面、阿仁前田、戸鳥内

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採、河川開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キキョウ科

キキヨウ

Platycodon grandiflorum (Jacq.) A.DC.

絶滅危惧種 I B類

環境省：絶滅危惧 II類

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、奄美；朝鮮、中国、ウスリー

◆生育環境 丘陵地や山地の草地

◆選定理由 分布減少、個体数激減

◆生存に対する脅威 土地造成、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 男鹿・栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キク科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

シロヨメナ

Aster ageratoides Turcz.
subsp. *leiophyllus* (Franch. et Sav.) Kitam.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；台湾
- ◆県内の分布 横堀、鬼首峠
- ◆生育環境 山地の森林内や林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事

(松田義徳)

キク科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

エゾノキツネアザミ

Breea setosa (M.Bieb.) Kitam.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（東北）；朝鮮、中国、シベリア、カフカズ、ヨーロッパロシア（中南部）
- ◆県内の分布 米内沢、船川、秋田西部
- ◆生育環境 低地の荒地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

モリアザミ

Cirsium dipsacolepis (Maxim.) Matsum.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆県内の分布 毛馬内、鷹巣東部、扇田
- ◆生育環境 内陸の低地の河川敷周辺
- ◆選定理由 分布限定、個体数減少、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 河川開発・改修、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キク科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 II 類

タカサゴソウ

Ixeris chinensis (Thunb. ex Murray) Nakai
subsp. *strigosa* (H.Lév. et Vaniot) Kitam.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮
- ◆県内の分布 毛馬内、鷹巣東部、扇田、湯瀬
- ◆生育環境 シバ草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数激減
- ◆生存に対する脅威 草地開発、管理放棄、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科	絶滅危惧種 I B 類
ノニガナ <i>Ixeris polycephala</i> Cass.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、インド、カフカス
- ◆県内の分布 大葛、刈和野、岩谷、浅舞、稻庭
- ◆生育環境 水田の畦畔や周辺草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、踏みつけ、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科	絶滅危惧種 I B 類
イワテヒゴタイ <i>Saussurea brachycephala</i> Franch.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（東北）
- ◆生育環境 亜高山帯の崖地や礫地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科	絶滅危惧種 I B 類
ミヤマキタアザミ <i>Saussurea franchetii</i> Koidz.	環境省：絶滅危惧 II 類

- EX
- ◆国内外の分布 本州（秋田県、岩手県、山形県、宮城県、新潟県）
 - ◆県内の分布 秋田駒ヶ岳、国見温泉、羽後朝日岳、大神成
 - ◆生育環境 高山の草原
 - ◆選定理由 分布限定、個体数希少
 - ◆生存に対する脅威 踏みつけ
 - ◆現在講じられている保護対策 栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キク科	絶滅危惧種 I B 類
ヒメヒゴタイ <i>Saussurea pulchella</i> (Fisch.) Fisch.	環境省：絶滅危惧 II 類

- VU
- EW
- CR
- EN
- DD
- LP
- RH
- N
- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北）、樺太、シベリア東部
 - ◆県内の分布 鷹巣東部、下岩川、桂瀬、湯瀬、寒風山、阿仁合、松原、国見温泉、本荘、川辺、矢島
 - ◆生育環境 低地の草原
 - ◆選定理由 個体数激減、近年生育確認が少ない
 - ◆生存に対する脅威 草地開発、土地造成、自然遷移
 - ◆現在講じられている保護対策 男鹿国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オクキタアザミ

Saussurea riederi Herdervar. *yedoensis* Maxim. form. *japonica* (Koidz.) Ohwi

◆国内外の分布 本州（秋田県、山形県、岩手県）

◆県内の分布 羽後朝日岳、大神成、鳥海山

◆生育環境 高山の草原

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キク科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヤハズトウヒレン

Saussurea sagitta Franch.

◆国内外の分布 本州（中部以北）

◆生育環境 高山の草地や岩場

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ、自然遷移

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ハチジヨウナ

Sonchus brachyotus DC.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；千島、樺太、ダフリア、アルタイ、朝鮮、中国

◆県内の分布 岩館、鷹巣東部、戸賀、北浦、本荘

◆生育環境 海岸のやや湿った草地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 海岸開発、土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

EX

EW

CR

EN

キク科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ウスギタンポポ

Taraxacum shinanense H.Koidz.

◆国内外の分布 本州（中部以北）

◆生育環境 住宅地の路傍

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 園芸採取、道路工事、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

DD

LP

RH

N

ヒルムシロ科 絶滅危惧種 I B 類
エゾヤナギモ *Potamogeton compressus* L. 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ユーラシア大陸の温帯域
- ◆県内の分布 森岳、大久保、平沢
- ◆生育環境 低地の池沼
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 水質汚濁、池沼開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

アマモ科 絶滅危惧種 I B 類
アマモ *Zostera marina* L. 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；北半球の寒帯～温帯
- ◆県内の分布 戸賀、北浦
- ◆生育環境 浅い海底の砂泥地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

イバラモ科 絶滅危惧種 I B 類
オオトリゲモ *Najas oguraensis* Miki 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球
- ◆生育環境 沖積平野の浅い池沼
- ◆選定理由 分布限定、個体数減少
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、水質汚濁、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ユリ科 絶滅危惧種 I B 類
シロウマアサツキ *Allium schoenoprasum* L. var. *orientale* Regel 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、朝鮮、シベリア東部
- ◆生育環境 内陸部の岩壁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、岩壁崩壊
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX
EW
CR
EN

VU
NT

DD
LP
RH
N

ユリ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし	
ヤマラッキヨウ <i>Allium thunbergii</i> G.Don		
◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州、琉球；朝鮮南部、中国（本土、台湾）		
◆生育環境 林縁の湿地		
◆選定理由 分布限定		
◆生存に対する脅威 湿地開発、草地開発、園芸採取、自然遷移		
◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物		(高田 順)
ユリ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし	
ニラ <i>Allium tuberosum</i> Rottl. ex Spreng.		
◆国内外の分布 本州、四国、九州；パキスタン、インド、中国		
◆生育環境 山地の岩壁		
◆選定理由 分布局限、個体数極少		
◆生存に対する脅威 道路工事、園芸採取		
◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物		(高田 順)
ユリ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：絶滅危惧 II 類	
クロヒメシライトソウ <i>Chionographis japonica</i> Maxim. var. <i>kurohimensis</i> Ajima et Satomi		
◆国内外の分布 本州（秋田県、山形県、新潟県）		EX
◆生育環境 山地林内		EW
◆選定理由 分布限定、個体数希少、個体数減少		CR
◆生存に対する脅威 園芸採取、森林伐採		EN
◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物		(高田 順)
ユリ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし	
スズラン <i>Convallaria majalis</i> L.		
◆国内外の分布 北海道、本州、九州；朝鮮、中国、シベリア東部		VU
◆生育環境 向陽草地		NT
◆選定理由 分布局限、個体数激減		DD
◆生存に対する脅威 園芸採取、草地開発、自然遷移		LP
◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物		RH
		(高田 順)

ユリ科	絶滅危惧種 I B 類
ホソバノアマナ	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国、千島、樺太、カムチャツカ、シベリア、北アメリカ
- ◆県内の分布 船川、大琴
- ◆生育環境 草地や林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、道路工事、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ユリ科	絶滅危惧種 I B 類
キヌガサソウ	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆生育環境 亜高山帯の半陰地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ。生育地は何らかの規制地域であるが目に付きやすい植物なので採集圧が高い。
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ユリ科	絶滅危惧種 I B 類
チシマゼキショウ	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国；千島、樺太、朝鮮北部、中国（北部）、アリューシャン、カムチャツカ、シベリア、アラスカ、カナダ
- ◆生育環境 亜高山帯の草地または岩上
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ、立地崩落
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ユリ科	絶滅危惧種 I B 類
ヒメイワシヨウブ	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（中部以北）
- ◆県内の分布 八幡平、曲崎山、秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 高山のやや湿った草地
- ◆選定理由 分布局限、個体数減少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ユリ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オオバナノエンレイソウ

Trillium kamtschaticum Pall.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（青森県、秋田県、岩手県）；千島、樺太、朝鮮、中国（東北）、ウスリー、カムチャツカ、シベリア東部
- ◆生育環境 山地～低地の湿地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少、分布減少
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ミズアオイ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 II 類

ミズアオイ

Monochoria korsakowii Regel et Maack

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国、ウスリー
- ◆県内の分布 能代、森岳、船越、大久保、秋田東部、羽後和田、本荘、角間川
- ◆生育環境 低地の池沼や水田
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少、個体数激減
- ◆生存に対する脅威 農薬汚染、池沼開発・改修、湿地開発、水質汚濁
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

アヤメ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヒオウギアヤメ

Iris setosa Pall. ex Link

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；アジア東北部、アリューシャン、アラスカ
- ◆生育環境 山地の湿原
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ホソコウガイゼキショウ

Juncus fauriensis Buchenau

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、樺太、カムチャツカ
- ◆県内の分布 八幡平、秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 山地帯～亜高山帯の湿原
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

イグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

タカネスズメノヒエ

Luzula oligantha Sam.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）、四国；朝鮮、中国、千島、カムチャツカ

◆県内の分布 羽後朝日岳、大神成、鳥海山

◆生育環境 亜高山帯の岩角地

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 踏みつけ、自然遷移

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ホシクサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ミヤマヒナホシクサ

Eriocaulon nanellum Ohwi

◆国内外の分布 本州（東北）

◆県内の分布 八幡平、曲崎山、秋田駒ヶ岳

◆生育環境 亜高山帯の湿原

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 湿地開発、踏みつけ、自然遷移

◆特記事項 淡色花の変種シロバナミヤマヒナホシクサは乳頭山が基準産地である。

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

イネ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

タカネコウボウ

Anthoxanthum japonicum (Maxim.) Hack. ex Matsum.

◆国内外の分布 本州（中部以北、奈良県）

◆県内の分布 大神成、北川舟、神室山

◆生育環境 山地帯・亜高山帯の草原

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ミノゴメ

Beckmannia syzigachne (Steud.) Fern.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；シベリア東部、樺太、朝鮮、北アメリカ

◆県内の分布 大潟、湯ノ又、船川、内道川

◆生育環境 湿地、水田跡地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 土地改良等に伴う水田の乾燥、水路のコンクリート化

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
チシマガリヤス	<i>Calamagrostis stricta</i> (Timm) Koeler var. <i>aculeolata</i> Hack.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島、朝鮮
- ◆県内の分布 八幡平、小砂川、鳥海山
- ◆生育環境 高層湿原
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
ヒナザサ	<i>Coelachne japonica</i> Hack.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆県内の分布 土崎、秋田東部、西馬音内
- ◆生育環境 湿地や溜池の水辺
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
ヒロハノコメスキ	<i>Deschampsia caespitosa</i> (L.) P.Beauv. var. <i>festucifolia</i> Honda

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）、四国、九州；南北両半球の寒帯、高山帯
- ◆県内の分布 八幡平、鳥海山
- ◆生育環境 高山の草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

イネ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
ハマムギ	<i>Elymus dahuricus</i> Turcz. ex Griseb.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、九州；朝鮮、中国北部、シベリア東部、モンゴル
- ◆県内の分布 大間越、岩館、戸賀、北浦、船川
- ◆生育環境 海岸
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

VU

NT

DD

LP

RH

N

イネ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
オオトボシガラ <i>Festuca extremiorientalis</i> Ohwi	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮北部、中国北部、シベリア東部
- ◆県内の分布 毛馬内、湯瀬
- ◆生育環境 山地の林内、林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
アオウシノケグサ <i>Festuca ovina</i> L. var. <i>coreana</i> (St.Yves) St.Yves	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 船川、丁岳
- ◆生育環境 山地の岩場
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、踏みつけ

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
ウキガヤ <i>Glyceria depauperata</i> Ohwi var. <i>infirma</i> (Ohwi) Ohwi	

- ◆国内外の分布 本州
- ◆県内の分布 碇ヶ関、陸中濁川、船越、土崎、大曲
- ◆生育環境 水湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 土地改良等に伴う水田の乾燥化、水路のコンクリート化

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
アイアシ <i>Phacelurus latifolius</i> (Steud.) Ohwi	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮（中・南部）、中国北部、アムール地方
- ◆県内の分布 岩館、戸賀、平沢
- ◆生育環境 海辺の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

タマミゾイチゴツナギ *Poa acroleuca* Steud. var. *submoniliformis* Makino

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮南部
- ◆県内の分布 戸賀、北浦、五城目、船川、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

イトイチゴツナギ *Poa matsumurae* Hack.

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）；朝鮮
- ◆県内の分布 湯瀬、船川
- ◆生育環境 山地の林内、林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 スギ植林による環境変化
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

イブキソモソモ *Poa radula* Franch. et Sav.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（近畿以東）；千島、サハリン、カムチャツカ、ウスリー
- ◆県内の分布 戸賀、船川、岩見三内
- ◆生育環境 山地の林内、林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イネ科

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

イチゴツナギ *Poa ochotensis* Trin.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国、シベリア東部
- ◆県内の分布 花輪、湯瀬、船川、小砂川
- ◆生育環境 低地の林縁、路傍
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 草地開発、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科		絶滅危惧種 I B 類
ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i> Nees ex Steud.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、台湾、中国大陸、沿海州、シベリア、インド、ネパール、アフリカ
- ◆県内の分布 大間越、岩館、船川
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科		絶滅危惧種 I B 類
イヌアワ	<i>Setaria chondrachne</i> (Steud.) Honda	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・福島県以南）、四国、九州；朝鮮（済州島）、中国南部
- ◆県内の分布 刈和野東部、横堀
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科		絶滅危惧種 I B 類
ヒゲシバ	<i>Sporobolus japonicus</i> (Steud.) Maxim. ex Rendle	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 鷹巣東部、扇田、北浦、寒風山
- ◆生育環境 山地の湿性の砂礫地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 濕地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科		絶滅危惧種 I B 類
ヒロハノハネガヤ	<i>Stipa coreana</i> Honda var. <i>kengii</i> Ohwi	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州
- ◆県内の分布 平沢、象潟、小砂川
- ◆生育環境 丘陵地の林内、林縁
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、草地開発、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

イネ科

メガルガヤ *Themeda triandra* Forsk. var. *japonica* (Willd.) Makino

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 北浦、寒風山、大久保、土崎
- ◆生育環境 丘陵地の草地
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、自然遷移、草地の森林化
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

サトイモ科

セキショウ *Acorus gramineus* Sol.

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮（済州島）、中国、インド、ベトナム
- ◆県内の分布 中浜、桂瀬、阿仁前田、寒風山、松原、田沢湖、老方、象潟、小砂川
- ◆生育環境 平地～山地の溪側
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 小川の改修、水路のコンクリート化
- ◆特記事項 分布の一部は逸出起源と推定される。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

サトイモ科

オオマムシグサ *Arisaema takedae* Makino

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（近畿以東）
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ミクリ科

エゾミクリ *Sparganium emersum* S.E.A.Rehm.

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；周北極地域
- ◆県内の分布 刈和野、角間川、西馬音内、湯沢
- ◆生育環境 湖沼、河川、水路など
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、河川開発・改修、水路のコンクリート化
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I B 類
タテヤマスゲ <i>Carex aphylopus</i> Kük.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆県内の分布 羽後朝日岳、鳥海山
- ◆生育環境 高山の草原
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I B 類
ヒラギシスゲ <i>Carex austroinowiczkii</i> Meinsh.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；東アジア北部
- ◆県内の分布 松川温泉、秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 深山の渓側
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I B 類
ニッコウハリスゲ <i>Carex fulta</i> Franch.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（中部以北、岡山県）
- ◆県内の分布 羽後玉川、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、栗駒山、鬼首峠
- ◆生育環境 山中の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I B 類
コハリスゲ <i>Carex hakonensis</i> Franch. et Sav.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州
- ◆県内の分布 八幡平、秋田駒ヶ岳、抱返り渓谷、大神成、鳥海山
- ◆生育環境 山地帯上部の水湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヤマアゼスゲ *Carex heterolepis* Bunge

◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州、九州；朝鮮、中国

◆県内の分布 秋田駒ヶ岳、羽後長野、焼石岳、小安温泉

◆生育環境 山地の渓側

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 河川開発・改修、湿地開発

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

テキリスゲ *Carex kiotensis* Franch. et Sav.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州

◆県内の分布 田沢湖、鳥海山

◆生育環境 山地の川岸

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 河川開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヒエスゲ *Carex longerostrata* C.A.Mey.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島、朝鮮～シベリア東部

◆県内の分布 湯瀬、阿仁前田、船川

◆生育環境 山地の草原や林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採、草地開発

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

キンチャクスゲ *Carex mertensii* Presc. ex Bong. var. *urostachys* (Franch.) Kük.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島

◆県内の分布 八幡平、羽後朝日岳、鳥海山

◆生育環境 高山の草原

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I B 類
ヒカゲハリスゲ <i>Carex onoei</i> Franch. et Sav.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州；朝鮮、中国（東北）、ウスリー
- ◆県内の分布 玉川温泉、八幡平、羽後朝日岳、桂沢
- ◆生育環境 山地の湿地
- ◆選定理由 分布限定。
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I B 類
エゾツリスゲ <i>Carex papulosa</i> Boott	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）、九州；朝鮮、ウスリー
- ◆県内の分布 鷹巣東部、北浦、大曲、川辺
- ◆生育環境 山地帯の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I B 類
ツルスゲ <i>Carex pseudocuraica</i> F.Schmidt	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮～シベリア東部
- ◆県内の分布 羽後水沢、土崎、大曲
- ◆生育環境 水辺の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科	絶滅危惧種 I B 類
クサスゲ <i>Carex rugata</i> Ohwi	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州
- ◆県内の分布 森岳、大久保、刈和野東部
- ◆生育環境 丘陵地の林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オオイトスゲ

Carex sachalinensis F.Schmidt
var. *alterniflora* (Franch.) Ohwi

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；台湾

◆県内の分布 羽後水沢

◆生育環境 山地の森林内や林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採

(松田義徳)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

シオクグ

Carex scabrifolia Steud.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国

◆県内の分布 大潟、北浦、寒風山、船越、平沢、象潟

◆生育環境 塩性湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、湿地開発

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

オオタヌキラン

Carex scitaeformis Kük.

◆国内外の分布 本州（中部以北）

◆県内の分布 湯瀬、湯沢、稻庭、菅生

◆生育環境 山地の林縁、草地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヤワラスゲ

Carex transversa Boott

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国

◆県内の分布 鷹巣東部、米内沢、船川

◆生育環境 平地または丘陵地の林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

アゼガヤツリ

Cyperus globosus All.

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、インドネシア、インド、アフリカ
- ◆県内の分布 越山、船川、田沢湖、田子内
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 水田の土地改良による乾燥化、湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

イガガヤツリ

Cyperus polystachyos Rottb.

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、インド、インドネシア、オーストラリア、アフリカ
- ◆県内の分布 大潟、船越、象潟
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

セイタカハリイ

Eleocharis attenuata (Franch. et Sav.) Palla

絶滅危惧種 I B 類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、ニューギニア
- ◆県内の分布 能代、船越、秋田東部、羽後和田、金沢本町
- ◆生育環境 丘陵地の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

スジヌマハリイ

Eleocharis equisetiformis (Meinsh.) B.Fedtsch.

絶滅危惧種 I B 類
環境省：絶滅危惧 II 類

- ◆国内外の分布 本州、九州；朝鮮、中国～中央アジア
- ◆県内の分布 能代、寒風山、船越
- ◆生育環境 丘陵地の砂湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヒメヌマハリイ(クロハリイを含む)

Eleocharis kamtschatica (C.A.Mey.) Kom.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、ウスリー、樺太、千島、カムチャツカ、北アメリカ北部

◆県内の分布 能代、大潟、船越、秋田西部

◆生育環境 近海地の湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、湿地開発

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

マルホハリイ

Eleocharis ovata (Roth) Roem. et Schult.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ヨーロッパ、シベリア、中国（東北）、インド

◆県内の分布 大久保、六郷、川辺、小安温泉

◆生育環境 山地の湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 池沼開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

テンツキ

Fimbristylis dichotoma (L.) Vahl

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、インド、インドネシア、オーストラリア、アフリカ

◆県内の分布 船越、刈和野、刈和野東部、大曲、浅舞

◆生育環境 低地の湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 河川開発・改修、湿地開発

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

クロテンツキ

Fimbristylis diphyloides Makino

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国

◆県内の分布 能代、船越、土崎、羽後和田、本荘

◆生育環境 低地の湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 湿地開発

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B類

アオテンツキ

Fimbristylis dipsacea C.B.Clarke

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮、アムール、中国、インド、インドネシア、熱帯アフリカ
- ◆県内の分布 能代、羽川、金沢本町
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B類

タカネクロスゲ

Scirpus maximowiczii C.B.Clarke

環境省：絶滅危惧 II類

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島、朝鮮、ウスリー
- ◆県内の分布 八幡平、松川温泉、秋田駒ヶ岳、国見温泉
- ◆生育環境 高山の湿地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B類

マツカサススキ

Scirpus mitsukurianus Makino

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆県内の分布 秋田西部、秋田東部
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B類

ツルアブラガヤ

Scirpus radicans Schkuhr

環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（北部）；朝鮮、樺太、シベリア、ヨーロッパ
- ◆県内の分布 ニツ井、刈和野、刈和野東部
- ◆生育環境 低地の川辺、池畔
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 河川開発・改修、湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

コシンジュガヤ

Scleria parvula Steud.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国、インドネシア、インド、アフリカ

◆県内の分布 能代、鷹巣西部、鷹巣東部、寒風山、大曲

◆生育環境 原野の湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 湿地開発、自然遷移

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 I B 類

キンセイラン

Calanthe nipponica Makino

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州

◆生育環境 深山の林内

◆選定理由 個体数希少、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 I B 類

サルメンエビネ

Calanthe tricarinata Lindl.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；台湾、ヒマラヤ

◆生育環境 山地帯の林内

◆選定理由 個体数希少、分布減少、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 II 類

キンラン

Cephalanthera falcata (Thunb.) Blume

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国

◆生育環境 山地や丘陵地の林下

◆選定理由 個体数極少、高採集圧

◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 男鹿・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

VU

NT

DD

LP

RH

N

ラン科		絶滅危惧種 I B 類
アオチドリ	<i>Coeloglossum viride</i> (L.) Hartm. var. <i>bracteatum</i> (Willd.) Richt.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）、四国；千島、アラスカ、樺太、朝鮮、中国（東北）、シベリア東部
- ◆生育環境 山地帯の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科		絶滅危惧種 I B 類
トケンラン	<i>Cremastra unguiculata</i> (Finet) Finet	環境省：絶滅危惧 I B 類

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国；朝鮮（済州島）
- ◆生育環境 低地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科		絶滅危惧種 I B 類
コアツモリソウ	<i>Cypripedium debile</i> Rchb.f.	環境省：絶滅危惧 II 類

- EX
EW
CR
EN
- ◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州（中部以北）、四国、九州
 - ◆生育環境 山地帯の森林内
 - ◆選定理由 分布限定、個体数希少、高採集圧
 - ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
 - ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科		絶滅危惧種 I B 類
クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i> Thunb.	環境省：絶滅危惧 II 類

- VU
NT
DD
LP
RH
N
- ◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州、四国、九州；朝鮮、中国
 - ◆生育環境 丘陵地、山地の樹林内
 - ◆選定理由 分布限定、分布激減、高採集圧
 - ◆生存に対する脅威 園芸採取、自然遷移
 - ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ラン科

ツチアケビ

Cyrtosia septentrionalis (Rchb.f.) Garay

◆国内外の分布 北海道（札幌以南）、本州、四国、九州

◆生育環境 山地の森林またはササの群落内

◆選定理由 個体数希少、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取、薬用採取

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

サワラン

Eleorchis japonica (A.Gray) F.Maek.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（中部以北）

◆生育環境 低地、山地の湿地

◆選定理由 個体数希少、高採集圧

◆生存に対する脅威 湿地開発、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

セイタカスズムシソウ

Liparis japonica (Miq.) Maxim.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北）、アムール

◆生育環境 深山の林内

◆選定理由 個体数希少、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ラン科

ヒロハツリシユスラン

Goodyera pendula Maxim.
var. *brachyphylla* F.Maek.

絶滅危惧種 I B 類

環境省：絶滅危惧 I B 類

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）

◆生育環境 ブナ帯の樹幹に着生

◆選定理由 分布限定、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科
ミズトンボ *Habenaria sagittifera* Rchb.f.
 絶滅危惧種 I B 類
 環境省：絶滅危惧 II 類

- ◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州、四国、九州；中国（中部）
- ◆生育環境 丘陵地の湿地
- ◆選定理由 分布限定、分布減少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿・栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科
ギボウシラン *Liparis auriculata* Blume
 絶滅危惧種 I B 類
 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、屋久島；朝鮮（済州島）
- ◆生育環境 山地の林内や林縁
- ◆選定理由 分布限定、個体数極少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科
フガクスズムシソウ *Liparis fujisanensis* F.Maek.
 絶滅危惧種 I B 類
 環境省：絶滅危惧 I B 類

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆生育環境 山地帯のブナの樹上に着生
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科
ジガバチソウ *Liparis krameri* Franch. et Sav.
 絶滅危惧種 I B 類
 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮
- ◆生育環境 山地帯の樹林下
- ◆選定理由 個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

スズムシソウ

Liparis makinoana Schltr.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮

◆生育環境 山地の樹林下

◆選定理由 個体数希少、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

フタバラン

Listera cordata (L.) R.Br.
var. *japonica* H.Hara

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；千島、樺太

◆生育環境 亜高山帯の針葉樹林下

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ヒメフタバラン

Listera japonica Blume

◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州、琉球

◆生育環境 丘陵地、山地森林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆特記事項 北限

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ミヤマフタバラン

Listera nipponica Makino

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）、四国、九州；千島、ウスリー

◆生育環境 亜高山帯の針葉樹林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：絶滅危惧 II 類
ヒナチドリ <i>Orchis chidori</i> (Makino) Schltr.	

- ◆国内外の分布 本州、四国
- ◆生育環境 山中の樹幹に着生
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：該当なし
オノエラン <i>Chondradenia fauriei</i> (Finet) Sawada ex F.Maek.	

- ◆国内外の分布 本州（中部以北、紀伊半島）
- ◆生育環境 高山帯の岩場、草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：絶滅危惧 II 類
ウチヨウラン <i>Orchis graminifolia</i> (Rchb.f.) T.Tang et F.T.Wang	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮
- ◆生育環境 山中の湿った岩壁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科	絶滅危惧種 I B 類 環境省：絶滅危惧 II 類
タカネトンボ <i>Platanthera chorisia</i> (Cham.) Rchb.f.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、樺太、カムチャツカ、アリューシャン
- ◆生育環境 高山の草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ミズチドリ

Platanthera hologlottis Maxim.

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北）、シベリア
- ◆生育環境 山間の湿地
- ◆選定理由 分布限定、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ツレサギソウ

Platanthera japonica (Thunb.) Lindl.

- ◆国内外の分布 北海道（南西部）、本州、四国、九州、琉球；中国
- ◆生育環境 草原や湿った林下
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 I B 類

環境省：該当なし

ハクウンラン

Vexillarium nakaianum F.Maek.

- ◆国内外の分布 本州、九州；朝鮮
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ヒカゲノカズラ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

スギカズラ

Lycopodium annotinum L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の温帯
- ◆県内の分布 森吉山、八幡平、曲崎山、太平山、秋田駒ヶ岳、秋ノ宮、栗駒山、鬼首峰
- ◆生育環境 亜高山帯、高山帯の林内および林縁
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヒカゲノカズラ科

絶滅危惧種 II 類

ヒメスギラン *Lycopodium chinense* Christ

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国、ロシア東部

◆県内の分布 白沢、戸鳥内、田沢、秋田駒ヶ岳、国見温泉、羽後朝日岳、大神成、栗駒山

◆生育環境 山地、亜高山帯の森林内

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヒカゲノカズラ科

絶滅危惧種 II 類

タカネヒカゲノカズラ *Lycopodium sitchense* Rupr.
var. *nikoense* (Franch. et Sav.) Takeda

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北、屋久島）

◆県内の分布 森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳、北川舟、鳥海山、栗駒山、神室山

◆生育環境 亜高山帯、高山帯の林内および林縁

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イワヒバ科

絶滅危惧種 II 類

イ ワ ヒ バ *Selaginella tamariscina* (Beauverd) Spring

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；東アジア～東南アジアの高山

◆生育環境 山地の岩上

◆選定理由 個体数希少、個体数激減

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

シノブ科

絶滅危惧種 II 類

シ ノ ブ *Davallia mariesii* Moore ex Baker

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；朝鮮南部、中国、台湾

◆生育環境 山地の樹上および岩上に着生

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ミズフラビ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

リシリシノブ

Cryptogramma crispa (L.) R.Br. ex Richardson

- ◆国内外の分布 北海道、本州（東北）；アジアの温帯～ヨーロッパ、北アメリカ
- ◆県内の分布 八幡平、太平山、秋田駒ヶ岳、抱返り渓谷、羽後朝日岳、大神成、鬼首峰
- ◆生育環境 山地の林内あるいは岩上
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
(藤原陸夫)

オシダ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ミサキカグマ

Dryopteris chinensis (Baker) Koidz.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 白沢、大館、鷹巣西部、阿仁合、田沢、田沢湖、真昼岳、小砂川、稻庭
- ◆生育環境 山地の林内および林縁
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 道路工事、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
(藤原陸夫)

オシダ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

カラクサイノデ

Polystichum microchlamys (H.Christ) Matsum.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北、鳥取県）；千島、カムチャツカ。
- ◆県内の分布 八幡平、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、鳥海山、栗駒山。
- ◆生育環境 亜高山帯の林内および草地。
- ◆選定理由 個体数希少。
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物。
(藤原陸夫)

ヒメシダ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ニッコウシダ

Thelypteris nipponica (Franch. et Sav.) Ching

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 冷水岳、大館、サンケ森、森吉山、玉川温泉、八幡平、上桧木内、秋田駒ヶ岳、抱返り渓谷、大神成
- ◆生育環境 山地の湿原
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イワデンダ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ヒロハイヌワラビ

Athyrium wardii (Hook.) Makino

◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮、中国

◆県内の分布 ニツ井、寒風山、秋田東部、羽川、象潟、小砂川

◆生育環境 丘陵地の森林内

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イワデンダ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ハコネシケチシダ

Cornopteris christenseniana (Koidz.) Tagawa

◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮（済州島）

◆県内の分布 沖田面、五城目、蓬内台、太平山、岩見三内、田沢湖、岩野目沢、小砂川

◆生育環境 丘陵地、山地の森林内

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イワデンダ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

フモトシケシダ

Deparia pseudoconiliifera (Seriz.) Seriz.

◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州

◆県内の分布 陸中濁川、大館、松原、秋田駒ヶ岳、抱返り渓谷、本荘、小砂川

◆生育環境 丘陵地、山地の森林内

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イワデンダ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ウサギシダ

Gymnocarpium dryopteris (L.) Newman

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の温帶

◆県内の分布 白沢、桂瀬、北浦、阿仁合、抱返り渓谷、稻庭

◆生育環境 山地の林内、風穴地帯等の岩石地

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ウラボシ科 絶滅危惧種 II 類
ヒメサジラン *Loxogramme grammoides* (Baker) C.Chr.
 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州（北海道、東北ではまれ）；朝鮮、中国（本土、台湾）
- ◆県内の分布 藤琴、桂瀬、明利又、蓬内台、抱返り渓谷、大神成、椿台
- ◆生育環境 山地の森林内に着生
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ウラボシ科 絶滅危惧種 II 類
イワオモダカ *Pyrrhosia hastata* (Thunb. ex Houtt.) Ching
 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮南部
- ◆生育環境 山地の樹幹に着生
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

サンショウモ科 絶滅危惧種 II 類
サンショウモ *Salvinia natans* (L.) All.
 環境省：絶滅危惧 II 類

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；ヨーロッパ、アジア、アフリカ、アメリカ
- ◆県内の分布 米内沢、五城目、大久保、土崎、刈和野、大曲、羽後黒沢
- ◆生育環境 池沼および水田
- ◆選定理由 分布激減、個体数激減
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、水質汚濁、農薬汚染
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ヒノキ科 絶滅危惧種 II 類
ミヤマビヤクシン *Juniperus chinensis* L.
 var. *sargentii* Henry 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州、四国、九州；樺太、朝鮮
- ◆生育環境 山地帯～高山帯の風衝地
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

 EX
 EW
 CR
 EN
 VU
 NT
 DD
 LP
 RH
 N

カバノキ科		絶滅危惧種Ⅱ類
ミズ	メ	Betula grossa Siebold et Zucc.

◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州

◆県内の分布 桂沢、鬼首峰

◆生育環境 山地帯の森林

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

(藤原陸夫)

ブナ科		絶滅危惧種Ⅱ類
ナラガシワ	Quercus aliena Blume	環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州；朝鮮、中国（本土、台湾）、インドシナ～ヒマラヤ

◆県内の分布 秋田西部、秋田東部、羽川、羽後和田、刈和野、羽後長野、大曲、六郷

◆生育環境 丘陵地の森林

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採

(藤原陸夫)

イラクサ科		絶滅危惧種Ⅱ類
オニヤブマオ	Boehmeria holosericea Blume	環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、四国、九州；中国、インドシナ

◆県内の分布 中浜、船川、新波、平沢、象潟

◆生育環境 沿岸部の草地

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 海岸開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イラクサ科		絶滅危惧種Ⅱ類
クサコアカソ	Boehmeria gracilis Wright	環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国

◆県内の分布 明利又、田沢、秋田駒ヶ岳、田沢湖、国見温泉、抱返り渓谷、羽後朝日岳

◆生育環境 山地帯の林縁

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 道路工事

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

タデ科

絶滅危惧種II類

環境省：絶滅危惧II類

ヤナギヌカボ

Persicaria foliosa (H.Lindb.) Kitag.
var. *paludicola* (Makino) H.Hara

◆国内外の分布 北海道、本州、九州

◆県内の分布 能代、鷹巣西部、明利又、船越、悪戸野、金沢本町、川辺、羽後田代、西馬音内

◆生育環境 池沼畔の湿地

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

タデ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ボントクタデ

Persicaria pubescens (Blume) H.Hara

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；中国（本土、台湾）、マレーシア、インド

◆県内の分布 下岩川、小又口、羽川、内道川、新波、大琴

◆生育環境 丘陵地の林縁

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

タデ科

絶滅危惧種II類

環境省：絶滅危惧II類

ヌカボタデ

Persicaria taquetii (H.Lév.) Koidz.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮

◆県内の分布 能代、鷹巣西部、小又口、角館、刈和野東部、大曲、角間川

◆生育環境 丘陵地の林縁

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ナデシコ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

オオバナノミミナグサ

Cerastium fischerianum Seringe

◆国内外の分布 北海道、本州（北部）、九州（北部）；アジア北東部、アラスカ

◆県内の分布 大間越、岩館、羽後水沢、戸賀、大潟、船川、小砂川

◆生育環境 沿岸部の林内および林縁

◆選定理由 個体数希少

◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事

◆現在講じられている保護対策 男鹿・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ナデシコ科	絶滅危惧種 II 類
オオミミナグサ	環境省：該当なし

Cerastium holosteoides Fries

- ◆国内外の分布 北海道、本州（青森県、秋田県、岩手県）；ヨーロッパ、アジア、北アフリカ
- ◆県内の分布 大間越、岩館、中浜、羽後水沢、戸賀、船川、秋田東部
- ◆生育環境 沿岸部の林内および林縁
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ナデシコ科	絶滅危惧種 II 類
タカネナデシコ	環境省：該当なし

Dianthus superbus L.
var. *speciosus* Rchb.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ヨーロッパ、中国（東北）、朝鮮
- ◆生育環境 山地帯、亜高山帯の岩場
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ナデシコ科	絶滅危惧種 II 類
ハマハコベ	環境省：該当なし

Honkenya peploides (L.) Ehrh.
var. *major* Hook.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（主に日本海側）；朝鮮、ロシア極東地方、北アメリカ、南アメリカ（パタゴニア地方）
- ◆県内の分布 大間越、岩館、戸賀、船川、内道川
- ◆生育環境 海岸の礫地
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

キンポウゲ科	絶滅危惧種 II 類
ウゼントリカブト	環境省：該当なし

Aconitum okuyamae Nakai

- ◆国内外の分布 本州（東北、関東北部）
- ◆生育環境 やや湿った林下や林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キンポウゲ科

絶滅危惧種Ⅱ類

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

フクジユソウ

Adonis ramosa Franch.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北）、シベリア東部

◆生育環境 丘陵地～山地の森林内や林縁

◆選定理由 個体数減少、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取、土地造成

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科

絶滅危惧種Ⅱ類

環境省：該当なし

ミツバノバイカオウレン

Coptis trifoliolata (Makino) Makino

◆国内外の分布 本州（東北～中部の日本海側）

◆県内の分布 森吉山、曲崎山、太平山、羽後朝日岳、小砂川、鳥海山、栗駒山、神室山、鬼首峰

◆生育環境 高山帯～亜高山帯の草原

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ、歩道建設

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科

絶滅危惧種Ⅱ類

環境省：該当なし

ミヤマキンポウゲ

Ranunculus acris L.
var. *nipponicus* H.Hara

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）

◆生育環境 高山の草原

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 園芸採取、林道建設

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キンポウゲ科

絶滅危惧種Ⅱ類

環境省：該当なし

ケキツネノボタン

Ranunculus cantoniensis DC.

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮南部、中国（南部、台湾）、インド

◆県内の分布 羽川、大曲、浅舞、象潟

◆生育環境 低地の水田周辺

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 河川開発・改修、土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科	絶滅危惧種 II 類
タガラシ <i>Ranunculus sceleratus</i> L.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；北半球の亜熱帯～温帶
- ◆県内の分布 能代、大潟、船越、土崎
- ◆生育環境 低地の水田近くの水湿地
- ◆選定理由 分布限定、個体数激減、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 土地造成、農薬汚染
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

キンポウゲ科	絶滅危惧種 II 類
イワカラマツ <i>Thalictrum sekimotoanum</i> Honda	環境省：絶滅危惧 I B 類

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）、四国（香川県）
- ◆県内の分布 十和田湖東部、根城岱、湯瀬、阿仁前田、太平湖、サンケ森、阿仁合、戸鳥内、国見温泉、三界山
- ◆生育環境 山地の岩上
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ドクダミ科	絶滅危惧種 II 類
ハンゲショウ <i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Baill.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、フィリピン
- ◆県内の分布 能代、戸賀、船越、大久保、刈和野東部、大曲、前郷
- ◆生育環境 低地の河川沿いや池沼周辺
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 河川開発・改修、湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

オトギリソウ科	絶滅危惧種 II 類
タコアシオトギリ <i>Hypericum penthorodes</i> Koidz.	環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 本州
- ◆県内の分布 船川、秋田駒ヶ岳、下桧木内、抱返り渓谷、左草、川辺
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

アブラナ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

ハタザオ

Arabis glabra (L.) Bernh.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；ユーラシア

◆県内の分布 能代、五城目、船越、大久保、土崎

◆生育環境 沿岸部の砂地

◆選定理由 分布限定、分布減少

◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

アブラナ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

ミヤマハタザオ

Arabis lyrata L.
var. *kamtschatica* Fisch.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国；朝鮮、中国（東北）、アムール、千島、樺太、オホーツク、北アメリカ西北部

◆県内の分布 毛馬内、湯瀬、田山、稻沢、象潟、小安温泉、真湯温泉

◆生育環境 山地の岩場や砂礫地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

アブラナ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

エゾワサビ

Cardamine yezoensis Maxim.

◆国内外の分布 北海道、本州（北部）；樺太、ウスリー

◆県内の分布 ニツ森、尾太岳、岩館、中浜、羽後焼山、真名子、羽後水沢

◆生育環境 山地の溪流沿い

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 森林伐採、ダム建設、道路工事

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

アブラナ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：絶滅

オオユリワサビ

Eutrema okinoshimensis Taken.

◆国内外の分布 本州・九州（岩手県～福岡県の主に日本海側）

◆県内の分布 越山、桂瀬、明利又、湯瀬、羽後玉川、田沢湖、稻沢、抱返り渓谷、湯沢

◆生育環境 山地の溪流沿い

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採、道路建設

◆特記事項 本県のものは従来オクノユリワサビとされていたが、最近、九州で命名されたオオユリワサビと同じものとされた。

(菊地卓弥)

ベンケイソウ科 絶滅危惧種 II 類
ツガルミセバヤ *Sedum tsugaruense* H.Hara 環境省：絶滅危惧 II 類

- ◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県）
- ◆生育環境 山地の岩場
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、林道工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ベンケイソウ科 絶滅危惧種 II 類
コモチレンゲ *Orostachys iwarenge* (Makino) H.Hara 環境省：絶滅危惧 II 類
var. *boehmeri* (Makino) H.Ohba

- ◆国内外の分布 北海道、本州（青森県、秋田県、岩手県）
- ◆県内の分布 大間越、岩館、中浜、真名子、根城岱、戸賀、船川
- ◆生育環境 海岸または山地の岩場
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、ダム建設
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

ベンケイソウ科 絶滅危惧種 II 類
ホソバイワベンケイ *Rhodiola ishidae* (Miyabe et Kudô) H.Hara 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆生育環境 高山帯～亜高山帯の岩場
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科 絶滅危惧種 II 類
ミヤマダイコンソウ *Geum calthifolium* Smith 環境省：該当なし
var. *nipponicum* (F.Bolle) Ohwi

- ◆国内外の分布 北海道、本州（近畿以北）、四国；千島
- ◆生育環境 高山帯の草原
- ◆選定理由 分布限定、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

ミヤマキンバイ

Potentilla matsumurae Th.Wolf

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島、朝鮮（済州島）

◆生育環境 高山帯～亜高山帯の草原や岩礫地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

ヒロハノカワラサイコ

Potentilla nipponica Th.Wolf

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北、島根県）、九州（佐賀県）

◆県内の分布 毛馬内、鷹巣東部、湯瀬、大潟、船川、羽後玉川、平沢

◆生育環境 低地～丘陵地の草地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

クロバナロウゲ

Potentilla palustris (L.) Scop.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の亜寒帯

◆県内の分布 能代、北浦、玉川温泉、八幡平、羽後玉川、横手、川辺

◆生育環境 低地～亜高山帯の水辺

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 湿地開発、自然遷移

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

バラ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

サナギイチゴ

Rubus pungens Cambess.
var. *oldhamii* (Miq.) Maxim.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；ヒマラヤ、中国（西部、北部）

◆県内の分布 扇田、花輪、湯瀬、田山、十文字、菅生

◆生育環境 低地～丘陵地の林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事、森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

バラ科	絶滅危惧種Ⅱ類 環境省：該当なし
コゴメウツギ <i>Stephanandra incisa</i> (Thunb. ex Murray) Zabel	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（本土、台湾）
- ◆県内の分布 花輪、湯瀬、船川、田沢湖、羽川、小砂川
- ◆生育環境 低地の林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

マメ科	絶滅危惧種Ⅱ類 環境省：該当なし
カワラケツメイ <i>Cassia mimosoides</i> L. subsp. <i>nomame</i> (Siebold) H.Ohashi	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国（東部、東北）
- ◆県内の分布 羽後和田、刈和野東部、羽後長野、大曲、金沢本町、浅舞、西馬音内
- ◆生育環境 低地の川原などの荒地
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

マメ科	絶滅危惧種Ⅱ類 環境省：該当なし
イワオウギ <i>Hedysarum vicioides</i> Turcz.	

- EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N
- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮北部、中国（東北）、シベリア東部
 - ◆生育環境 高山の岩場や砂礫地
 - ◆選定理由 分布限定
 - ◆生存に対する脅威 園芸採取、林道工事
 - ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

マメ科	絶滅危惧種Ⅱ類 環境省：該当なし
エゾノレンリソウ <i>Lathyrus palustris</i> L. var. <i>pilosus</i> (Cham.) Ledeb.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、九州（対馬）；北半球に広く分布
- ◆県内の分布 岩館、羽後水沢、能代、戸賀、船越、土崎、内道川、象潟
- ◆生育環境 海岸部の草地
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

マメ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ヒロハクサフジ

Vicia japonica A.Gray

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（近畿以東）；朝鮮、樺太
- ◆県内の分布 岩館、早口、能代、鷹巣西部、森岳、北浦
- ◆生育環境 低地の草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、河川開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

マメ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ナンテンハギ

Vicia unijuga A.Br.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国、樺太、シベリア東部
- ◆県内の分布 岩館、戸賀、船川、松川温泉、大琴
- ◆生育環境 低地や海岸部の草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数減少
- ◆生存に対する脅威 海岸の草地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

トウダイグサ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ハクサンタイゲキ

Euphorbia togakusensis Hayata

- ◆国内外の分布 本州（東北～北陸・長野県北部）
- ◆県内の分布 戸鳥内、稻沢、角館、刈和野、刈和野東部、羽後長野、角間川
- ◆生育環境 低湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

トウダイグサ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ヤマアイ

Mercurialis leiocarpa Siebold et Zucc.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（本土、台湾）、インドシナ
- ◆県内の分布 大間越、岩館、中浜、象潟、小砂川
- ◆生育環境 海岸近くのやや湿った林縁や林内
- ◆選定理由 分布限定、個体数減少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

カエデ科	絶滅危惧種 II 類 環境省：該当なし
カラコギカエデ <i>Acer ginnala</i> Maxim.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；東シベリア、中国（東北）、朝鮮
- ◆県内の分布 羽後和田、羽後境、刈和野、刈和野東部、六郷、本荘、浅舞、稻庭
- ◆生育環境 低地の湿地や水辺
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成

(菊地卓弥)

グミ科	絶滅危惧種 II 類 環境省：該当なし
マルバグミ <i>Elaeagnus macrophylla</i> Thunb.	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮南部
- ◆県内の分布 岩館、羽後水沢、平沢、象潟、小砂川
- ◆生育環境 海岸部の林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科	絶滅危惧種 II 類 環境省：該当なし
キバナノコマノツメ <i>Viola biflora</i> L.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）、四国、九州（屋久島）；北半球の亜寒帯
- ◆生育環境 高山～亜高山の林縁
- ◆選定理由 分布限定、分布減少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科	絶滅危惧種 II 類 環境省：該当なし
ウスバスミレ <i>Viola blandaeformis</i> Nakai	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆生育環境 亜高山帯の林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 林道建設、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科	ヒゴスマリ	<i>Viola chaerophylloides</i> (Regel) W.Becker var. <i>sieboldiana</i> (Maxim.) Makino	絶滅危惧種II類 環境省：該当なし
------	-------	---	----------------------

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州
- ◆生育環境 明るい林縁や草地
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、土地造成、森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ヒシ科	ヒメビシ	<i>Trapa incisa</i> Siebold et Zucc.	絶滅危惧種II類 環境省：絶滅危惧 II 類
-----	------	--------------------------------------	---------------------------

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；ウスリー、中国（東北、台湾）、朝鮮
- ◆県内の分布 船越、大久保、土崎、大曲、平沢、横手、小安温泉
- ◆生育環境 沼やため池
- ◆選定理由 分布減少
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、水質汚濁
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

アカバナ科	ケゴンアカバナ	<i>Epilobium amurense</i> Hausskn.	絶滅危惧種II類 環境省：該当なし
-------	---------	------------------------------------	----------------------

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国；アムール、ウスリー、中国（東北、台湾）、朝鮮北部、樺太、オホーツク、カムチャツカ
- ◆県内の分布 冷水岳、羽後焼山、阿仁前田、サンケ森、田沢、国見温泉、真湯温泉
- ◆生育環境 山地の渓側
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

アカバナ科	ヤナギラン	<i>Epilobium angustifolium</i> L.	絶滅危惧種II類 環境省：該当なし
-------	-------	-----------------------------------	----------------------

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；ヨーロッパ、アジア、アメリカ
- ◆生育環境 山地の草地、県内では風穴地帯に出現することが多い。
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 草地開発、土地造成、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

アカバナ科 絶滅危惧種 II 類
ミヤマアカバナ *Epilobium foucaudianum* H.Lév.
 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太
- ◆県内の分布 冷水岳、羽後焼山、真名子、森吉山、羽後玉川、太平山、抱返り渓谷、大神成、北川舟、鳥海山
- ◆生育環境 山地の渓側
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

セリ科 絶滅危惧種 II 類
ハマゼリ *Cnidium japonicum* Miq.
 環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北の南部）
- ◆県内の分布 岩館、戸賀、大潟、船川、平沢、象潟、小砂川
- ◆生育環境 海岸の砂地
- ◆選定理由 分布限定、分布減少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

セリ科 絶滅危惧種 II 類
カラフトニンジン *Conioselinum kamtschaticum* Rupr.
 環境省：該当なし

- EX
- ◆国内外の分布 北海道、本州（北部）；千島、樺太、カムチャツカ、アリューシャン、アラスカ、北カリフォルニア
 - ◆県内の分布 大間越、岩館、能代、下岩川、戸賀、北浦、寒風山、船川
 - ◆生育環境 沿岸部の草地
 - ◆選定理由 個体数希少
 - ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、土地造成
 - ◆現在講じられている保護対策 男鹿国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

VU

セリ科 絶滅危惧種 II 類
ムカゴニンジン *Sium ninsi* L.
 環境省：該当なし

- NT
- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国
 - ◆県内の分布 能代、鷹巣東部、扇田、下岩川、桂瀬、五城目、田沢湖、角館、羽後長野、矢島
 - ◆生育環境 丘陵地の河岸および湿地
 - ◆選定理由 分布減少、生育条件悪化
 - ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、湿地開発、河川開発・改修
 - ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

DD
LP
RH
N

イワウメ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

イ ワ ウ メ

Diapensia lapponica L.
subsp. *obovata* (F.Schmidt) Hultén

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、カムチャツカ、アラスカ

◆生育環境 高山の岩隙

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

イチヤクソウ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ベニバナイチヤクソウ

Pyrola asarifolia Michx.
subsp. *incarnata* (DC.) Haber et Hideki Takah.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮、中国（東北）、シベリア、カムチャツカ、アラスカ

◆生育環境 山地の森林内や風穴周辺

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ツツジ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

イソツツジ

Ledum palustre L.
subsp. *diversipilosum* (Nakai) H.Hara var. *nipponicum* Nakai

◆国内外の分布 北海道（南部）、本州（東北）

◆生育環境 山地や高山の草地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ、土地造成

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ツツジ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ミネズオウ

Loiseleuria procumbens (L.) Desv.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の寒帯や高山

◆生育環境 高山の岩隙

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ツツジ科	絶滅危惧種Ⅱ類
ツルコケモモ	環境省：該当なし

Vaccinium oxycoccus L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の寒帯
- ◆生育環境 高層湿原
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

サクラソウ科	絶滅危惧種Ⅱ類
ユキフリコザクラ	環境省：該当なし

Primula modesta Bisset et Moore
var. fauriei (Franch.) Takeda

- ◆国内外の分布 北海道、本州（北部）；千島
- ◆生育環境 山地や高山の岩場
- ◆選定理由 分布限定、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

リンドウ科	絶滅危惧種Ⅱ類
ミヤマリンドウ	環境省：該当なし

Gentiana nipponica Maxim.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆生育環境 高山の湿地や草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

リンドウ科	絶滅危惧種Ⅱ類
タテヤマリンドウ	環境省：該当なし

Gentiana thunbergii (G.Don) Griseb.
form. minor (Maxim.) Toyok.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）
- ◆生育環境 高山の湿原
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ミツガシワ科

絶滅危惧種II類

環境省：絶滅危惧II類

ア サ ザ *Nymphoides peltata* (S.G.Gmel.) Kuntze

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；ユーラシア大陸
- ◆県内の分布 能代、森岳、大久保、土崎、羽後和田、刈和野、刈和野東部、大曲
- ◆生育環境 低地の池や沼
- ◆選定理由 分布減少、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、水質汚濁
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キヨウチクトウ科

絶滅危惧種II類

環境省：絶滅危惧II類

チ ョ ウ ジ ソ ウ *Amsonia elliptica* (Thunb. ex Murray) Roem. et Schult.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 個体数減少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 河川開発・改修、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

アカネ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ハ シ カ グ サ *Neanotis hirsuta* (L.f.) W.H.Lewis

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；中国、東南アジア
- ◆県内の分布 鹿渡、五城目、湯ノ又、大久保、蓬内台、前郷、象潟、小砂川
- ◆生育環境 低地の林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ムラサキ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ハマベンケイソウ *Mertensia maritima* (L.) Gray
subsp. *asiatica* Takeda

- ◆国内外の分布 北海道、本州（日本海側、三陸）；樺太、千島、アリューシャン、オホーツク海沿岸、朝鮮
- ◆県内の分布 大間越、岩館、戸賀、船川
- ◆生育環境 海岸の砂礫地
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ムラサキ科	絶滅危惧種Ⅱ類
コシジタビラコ	環境省：該当なし

Trigonotis brevipes (Maxim.) Maxim.
var. *coronata* (Ohwi) Ohwi

- ◆国内外の分布 本州（近畿以東の日本海側）
- ◆県内の分布 大曲、川辺、矢島、鳥海山、上笹子、稻庭
- ◆生育環境 山地の渓側
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

シソ科	絶滅危惧種Ⅱ類
サンインヒキオコシ	環境省：該当なし

Isodon shikokianus (Makino) H.Hara
var. *occidentalis* Murata

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、北陸西部～山陰）、九州（北部）
- ◆県内の分布 鷹巣東部、扇田、桂瀬、明利又、小又口、阿仁前田、太平湖、サンケ森、湯ノ又
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 本来、九州北部、本州の山陰・北陸地方に分布する種であるため、富山県以北では唯一の産地である。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

シソ科	絶滅危惧種Ⅱ類
メハジキ	環境省：該当なし

Leonurus japonicus Houtt.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、東南アジア
- ◆生育環境 丘陵地や山地の林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 道路工事、薬用採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

シソ科	絶滅危惧種Ⅱ類
イブキジヤコウソウ	環境省：該当なし

Thymus quinquecostatus Celak.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、九州；朝鮮、中国、ヒマラヤ
- ◆生育環境 山地から亜高山帯の日当たりのよい岩石地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、道路工事、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種Ⅱ類

環境省：該当なし

ミヤマママコナ*Melampyrum laxum* Miq.
var. *nikkoense* Beauverd

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州

◆県内の分布 尾太岳、大館、鷹巣西部、鷹巣東部、米内沢、桂瀬、太平山、岩見三内

◆生育環境 山地の林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種Ⅱ類

環境省：該当なし

ヨツバシオガマ*Pedicularis chamissonis* Steven
var. *japonica* (Miq.) Maxim.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）

◆生育環境 高山の草地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種Ⅱ類

環境省：該当なし

エチゴトラノオ*Pseudolysimachion kiusiana* (Furumi) T.Yamaz.
var. *maritima* (Nakai) T.Yamaz.

◆国内外の分布 本州（中部以北の日本海側）

◆生育環境 沿岸部の草地や林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 男鹿国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ゴマノハグサ科

絶滅危惧種Ⅱ類

環境省：該当なし

エゾヒナノウツボ*Scrophularia grayana* Maxim. ex Kom.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北の日本海側、岩手県以北の太平洋側）；樺太

◆県内の分布 大間越、岩館、中浜、船川、平沢、象潟、小砂川

◆生育環境 海岸の草地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 海岸開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

ゴマノハグサ科

ヒヨクソウ

Veronica laxa Benth.

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州、四国；中国、ヒマラヤ、小アジア

◆県内の分布 十和田湖西部、中浜、陸中濁川、小坂鉱山、大葛、戸鳥内、岩見三内、田沢湖、大神成、左草、横堀

◆生育環境 丘陵地から山地の河原や草地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

タヌキモ科

ホザキノミミカキグサ

Utricularia racemosa Wall. ex Walpers

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国～インド

◆県内の分布 能代、鷹巣西部、扇田、桂瀬、羽後和田、刈和野東部、新沢、大曲

◆生育環境 低地の湿地

◆選定理由 分布限定、生育条件悪化

◆生存に対する脅威 湿地開発、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

オオバコ科

エゾオオバコ

Plantago camtschatica Cham.

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道・本州・九州の主に日本海側；朝鮮、オホーツク海沿岸、樺太、千島

◆県内の分布 大間越、岩館、戸賀、大潟、船川、小砂川

◆生育環境 海岸の砂地、岩上、草地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 海岸開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

オオバコ科

トウオオバコ

Plantago major L.var. *japonica* (Franch. et Sav.) Miyabe

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州

◆県内の分布 大間越、岩館、戸賀、船川、小砂川

◆生育環境 塩沼地や海岸の砂地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 海岸開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

スイカズラ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

キバナウツギ

Weigela maximowiczii (S.Moore) Rehder

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県～長野県）
- ◆県内の分布 田沢、抱返り渓谷、羽後朝日岳、岩野目沢、大琴
- ◆生育環境 山地の岩礫地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 北限
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キキョウ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ホタルブクロ

Campanula punctata Lam.

- ◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、道路工事
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

キク科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ウサギギク

Arnica unalascensis Less.
var. *tschonoskyi* (Ilijin) Kitam. et H.Hara

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、アリューシャン
- ◆生育環境 亜高山帯の草地や雪田周辺
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ヒメヨモギ

Artemisia feddei H.Lév. et Vaniot

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国
- ◆県内の分布 藤琴、毛馬内、鷹巣西部、鷹巣東部、北浦、寒風山、五城目、八木沢、大久保、羽川、小安温泉
- ◆生育環境 やや乾いた草地
- ◆選定理由 分布限定、分布減少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キク科	ヒメシオノン	Aster fastigiatus Fisch.	絶滅危惧種II類 環境省：該当なし
-----	--------	--------------------------	----------------------

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国、ダフリア
- ◆生育環境 湿原の周辺
- ◆選定理由 分布限定、個体数減少
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、草地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿・栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科	サワシロギク	Aster rugulosus Maxim.	絶滅危惧種II類 環境省：該当なし
-----	--------	------------------------	----------------------

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆生育環境 丘陵地の湿地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科	オケラ	Atractylodes ovata (Thunb.) DC.	絶滅危惧種II類 環境省：該当なし
-----	-----	---------------------------------	----------------------

- EX
- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国（東北）
 - ◆生育環境 やや乾いた林縁
 - ◆選定理由 分布限定、個体数減少
 - ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取、自然遷移
 - ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科	カニコウモリ	Cacalia adenostyloides (Franch. et Sav. ex Maxim.) Matsum.	絶滅危惧種II類 環境省：該当なし
-----	--------	--	----------------------

- VU
- NT
- DD
- LP
- RH
- N
- ◆国内外の分布 本州（近畿以東）、四国
 - ◆県内の分布 三界山、丁岳、羽後川井、秋ノ宮、神室山、鬼首峰
 - ◆生育環境 山地帯の森林内
 - ◆選定理由 分布限定、個体数希少
 - ◆生存に対する脅威 森林伐採、踏みつけ
 - ◆現在講じられている保護対策 栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ミミコウモリ

Cacalia auriculata DC.
var. *kamtschatica* (Maxim.) Matsum.

◆国内外の分布 北海道、本州（東北）；樺太、千島、カムチャツカ、アリューシャン、中国（東北）、シベリア東部

◆県内の分布 田代岳、明利又、湯瀬、サンケ森、森吉山、玉川温泉、羽後玉川、上桧木内

◆生育環境 ブナ林内

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ニッコウアザミ

Cirsium oligophyllum (Franch. et Sav.) Matsum.
subsp. *nikkoense* (Nakai) Kitam.

◆国内外の分布 本州（秋田県、福島県、関東北部、中部）

◆県内の分布 八幡平、曲崎山、秋田駒ヶ岳、国見温泉、桂沢

◆生育環境 ブナ帯から亜高山帯の湿った草地

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 湿地開発、草地開発、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

タカサブロウ

Eclipta thermalis Bunge

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球、小笠原；世界に広く分布

◆県内の分布 大潟、鹿渡、船越、内道川、前郷

◆生育環境 海岸に近い湿地や小河川の河口部

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 河川開発、海岸開発、土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キク科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ミヤマコウゾリナ

Hieracium japonicum Franch. et Sav.

◆国内外の分布 本州（中部以北）、四国（剣山）。

◆県内の分布 八幡平、秋田駒ヶ岳、大神成、鳥海山。

◆生育環境 亜高山帯の草地。

◆選定理由 分布限定。

◆生存に対する脅威 草地開発、道路工事、踏みつけ。

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物。

(高田 順)

キク科

サワギク

Senecio nikoensis Miq.

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州

◆県内の分布 桂瀬、明利又、北浦、船川、太平山、下桧木内、国見温泉

◆生育環境 山地の林内

◆選定理由 分布限定、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採、踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

キク科

オナモミ

Xanthium strumarium L.

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（本土、台湾）、ユーラシア大陸全般

◆県内の分布 大館、能代、森岳、船川、松原、刈和野、大曲、角間川

◆生育環境 低地の荒地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 土地造成、湿地開発

(高田 順)

オモダカ科

マルバオモダカ

Caldesia parnassifolia (Bassi ex L.) Parl.

絶滅危惧種 II 類

環境省：絶滅危惧 II 類

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；中国、インド、オーストラリア、マダガスカル

◆県内の分布 能代、鷹巣西部、鷹巣東部、扇田、森岳、桂瀬、五城目、船越、大久保、土崎、秋田東部、川辺、西馬音内。

◆生育環境 低地の溜池

◆選定理由 分布限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 池沼改修、水質汚濁、農薬汚染

◆現在講じられている保護対策 男鹿国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

トチカガミ科

ヤナギスブタ

Blyxa japonica (Miq.) Maxim. ex Asch. et Gürke

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；アジア東部、インド、ニューギニア

◆県内の分布 羽後水沢、能代、鷹巣東部、羽川、羽後和田、刈和野東部、羽後黒沢、羽後田代

◆生育環境 溜池や水田そばの湿地

◆選定理由 分布局限、個体数希少、分布減少

◆生存に対する脅威 池沼改修、水質汚濁、農薬汚染

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ホコムイソウ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

ホコムイソウ

Scheuchzeria palustris L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（近畿以東）；北半球のミズゴケ湿原に広く分布
- ◆県内の分布 八幡平、曲崎山、松川温泉、新沢、陸中川尻、菅生、小安温泉
- ◆生育環境 高層湿原
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 池沼改修、湿地開発、踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ヒルムシロ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

エゾノヒルムシロ

Potamogeton gramineus L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の寒冷地
- ◆県内の分布 冷水岳、森岳、玉川温泉、羽後和田、羽後田代、鳥海山
- ◆生育環境 低地～山地の池沼
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 池沼改修、湿地開発、水質汚濁
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ヒルムシロ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

センニンモ

Potamogeton maackianus A.W.Benn.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；アジア東部
- ◆県内の分布 森岳、戸賀、大潟、鹿渡、船越、大久保、秋田東部
- ◆生育環境 沿岸部の池沼や流水中
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 池沼改修、水質汚濁、農薬汚染
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ヒルムシロ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

ヒロハノエビモ

Potamogeton perfoliatus L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；南米大陸を除く世界
- ◆県内の分布 鷹巣東部、森岳、下岩川、寒風山、船越、大久保
- ◆生育環境 低地の池沼や流水中
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 池沼開発、水質汚濁、水路改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ヒルムシロ科
イトモ

Potamogeton pusillus L.

絶滅危惧種II類
環境省：絶滅危惧II類

- ◆国内外の分布 本州、本州、四国、九州、琉球；世界に広く分布
- ◆県内の分布 能代、十二所、森岳、阿仁前田、寒風山、土崎、秋田西部、秋田東部、羽川、金沢本町、川辺、西馬音内、小安温泉
- ◆生育環境 低地～山地の池沼
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 池沼改修、水質汚濁、水路改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ユリ科
ギヨウジャニンニク

Allium victorialis L.
subsp. *platyphyllum* Hultén

絶滅危惧種II類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（近畿以東）；千島、樺太、朝鮮、中国、カムチャツカ、アムール、シベリア東部
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布激減
- ◆生存に対する脅威 食用採取
- ◆特記事項 「行者ニンニク」の名前から山菜として春早く掘りとることが急速に一般化し、海岸部の産地は激減している。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ユリ科
キジカクシ

Asparagus schoberioides Kunth

絶滅危惧種II類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国、樺太、ダフリア、ウスリー、シベリア東部
- ◆生育環境 海岸草地や山地の林縁
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

イグサ科
エゾホソイ

Juncus filiformis L.

絶滅危惧種II類
環境省：該当なし

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；千島、樺太、カムチャツカ、北アメリカ、ヨーロッパ
- ◆県内の分布 森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、鳥海山、栗駒山
- ◆生育環境 山地から亜高山帯の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

イグサ科

絶滅危惧種 II 類
環境省：該当なし

ド □ イ *Juncus gracillimus* (Buchenau) V.I.Krecz. et Gontsch.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国、樺太、シベリア東部
- ◆県内の分布 大間越、岩館、戸賀、船川
- ◆生育環境 塩性湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

イグサ科

絶滅危惧種 II 類
環境省：該当なし

タチコウガイゼキショウ *Juncus krameri* Franch. et Sav.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（東北）、千島
- ◆県内の分布 藤琴、能代、大潟、船越、田沢湖、羽後長野
- ◆生育環境 湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発

(高田 順)

ホシクサ科

絶滅危惧種 II 類
環境省：該当なし

タカユイヌノヒゲ *Eriocaulon miquelianum* Koern.
var. *atrosepalum* Satake

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、山形県）
- ◆県内の分布 大久保、羽後和田、新沢、川辺、稻庭、小安温泉
- ◆生育環境 低地から山地の湿原や水辺
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、特に小規模な湿地の破壊が脅威

(高田 順)

イネ科

絶滅危惧種 II 類
環境省：該当なし

ミヤマヌカボ *Agrostis flaccida* Hack.

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州、四国、九州；朝鮮南部
- ◆県内の分布 八幡平、秋田駒ヶ岳、大神成、鳥海山、栗駒山
- ◆生育環境 高山の草地、岩地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イネ科	絶滅危惧種Ⅱ類 環境省：該当なし
コミヤマヌカボ <i>Agrostis mertensii</i> Trin.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の高山と寒帯地方
- ◆県内の分布 上桧木内、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、北川舟、鳥海山
- ◆生育環境 高山草原
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種Ⅱ類 環境省：該当なし
アズマガヤ <i>Hystrix longearistata</i> (Hack.) Honda	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮
- ◆県内の分布 能代、戸賀、寒風山、船川、松原、本荘、平沢、象潟
- ◆生育環境 山地の林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種Ⅱ類 環境省：該当なし
カラフトドジョウツナギ <i>Glyceria lithuanica</i> (Gorski) Gorski	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；東アジア北部～ヨーロッパ東部
- ◆県内の分布 玉川温泉、八幡平、羽後玉川、上桧木内、秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 山地帯、亜高山帯の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

イネ科	絶滅危惧種Ⅱ類 環境省：該当なし
ハイドジョウツナギ <i>Torreyochloa viridis</i> (Honda) Church	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（関東以北）
- ◆県内の分布 二ツ井、花輪、田沢湖、羽後長野、八沢木、浅舞、西馬音内、十文字、湯沢
- ◆生育環境 流水辺
- ◆選定理由 分布限定、生育条件悪化
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ミクリ科

絶滅危惧種II類

環境省：絶滅危惧II類

タマミクリ

Sparganium glomeratum Laest. ex Beurl.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（主に中部以北）；北半球の寒冷地
- ◆県内の分布 大潟、羽後玉川、上桧木内、川辺、松ノ木峠、小安温泉
- ◆生育環境 湖沼、湿原の池塘
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ミクリ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ホソバタマミクリ

Sparganium glomeratum Laest. ex Beurl.
var. *angustifolium* Graebn.

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆県内の分布 田代岳、森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山
- ◆生育環境 高山の池沼
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、自然遷移
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ハタガヤ

Bulbostylis barbata (Rottb.) Kunth

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国（本土、台湾）、インド、インドネシア、オーストラリア
- ◆県内の分布 能代、大久保、土崎、秋田西部
- ◆生育環境 荒地、畑地や砂地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ヤマタヌキラン

Carex angustisquama Franch.

- ◆国内外の分布 本州（東北）
- ◆県内の分布 八幡平、秋田駒ヶ岳、秋ノ宮、栗駒山
- ◆生育環境 硫気荒原
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、火山噴火
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 II 類

マツバスゲ

環境省：該当なし

Carex biwensis Franch.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国、ウスリー

◆県内の分布 ニツ井、北浦、船越、土崎、秋田東部、下桧木内、角館、川辺

◆生育環境 丘陵地の湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 II 類

ジョウロウスゲ

環境省：絶滅危惧 I B 類

Carex capricornis Meinh.

◆国内外の分布 北海道、本州（関東以北）；東アジア

◆県内の分布 森岳、大潟、五城目

◆生育環境 低地の池沼、水湿地

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 池沼開発・改修

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 II 類

ハクサンスゲ

環境省：該当なし

Carex curta Gooden.

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；北半球の北地や高山、南アメリカ、オーストラリア

◆県内の分布 玉川温泉、八幡平、羽後玉川、曲崎山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山

◆生育環境 高山の水湿のある草原

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 II 類

マスクサ

環境省：該当なし

Carex gibba Wahlenb.

◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国

◆県内の分布 戸賀、船川、平沢、象潟、小砂川

◆生育環境 低地の林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 土地造成

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

イトキンスゲ *Carex hakkodensis* Franch.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部北部）；千島
- ◆県内の分布 森吉山、八幡平、松川温泉、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、鳥海山
- ◆生育環境 高山の湿った草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物栗駒・鳥海国定公園指定植物秋田県立自然公園指定植物
(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ムジナスゲ *Carex lasiocarpa* Ehrh. var. *occultans* (Franch.) Kük.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島、朝鮮、シベリア東部
- ◆県内の分布 能代、北浦、大久保、戸鳥内、羽後和田、新沢、大曲、稻庭、菅生、小安温泉
- ◆生育環境 高層湿原や池沼
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

ホロムイスゲ（タシロダケスゲを含む） *Carex middendorffii* F.Schmidt

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；東アジア北部
- ◆県内の分布 尾太岳、田代岳、八幡平、鳥海山、栗駒山
- ◆生育環境 亜高山帯の高層湿原
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物
(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種II類

環境省：該当なし

シロガヤツリ *Cyperus pacificus* Ohwi

- ◆国内外の分布 北海道、本州；朝鮮
- ◆県内の分布 森岳、羽川、羽後和田、六郷、本荘、角間川、金沢本町、大琴
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、河川開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
(沖田貞敏)

カヤツリグサ科 絶滅危惧種Ⅱ類
環境省：該当なし

コアゼテンツキ *Fimbristylis aestivalis* (Retz.) Vahl

- ◆国内外の分布 本州；中国（本土、台湾）、アムール、インド、インドネシア
- ◆県内の分布 湯瀬、阿仁前田、角間川、金沢本町、西馬音内、湯沢
- ◆生育環境 低地の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科 絶滅危惧種Ⅱ類
環境省：該当なし

コイヌノハナヒゲ *Rhynchospora fujianae* Makino

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮
- ◆県内の分布 米内沢、羽後和田、刈和野東部、羽後長野、大曲、西馬音内
- ◆生育環境 低地または丘陵地の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 湿地開発、土地造成
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科 絶滅危惧種Ⅱ類
環境省：該当なし

ミネハリイ *Scirpus caespitosus* L.

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；樺太、千島、北半球の亜寒帯および高山
- ◆県内の分布 森吉山、八幡平、曲崎山、松川温泉、秋田駒ヶ岳、小砂川、鳥海山、栗駒山、鬼首峰
- ◆生育環境 高山帯の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科 絶滅危惧種Ⅱ類
環境省：該当なし

エゾウキヤガラ *Scirpus planiculmis* F.Schmidt

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；朝鮮、中国、樺太
- ◆県内の分布 岩館、大潟、五城目、船越、内道川
- ◆生育環境 海岸付近の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、湿地開発
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

カヤツリグサ科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

クロアブラガヤ *Scirpus sylvaticus* L. var. *maximowiczii* Regel

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北）；朝鮮、樺太、中国（東北、北部）、ウスリー
- ◆県内の分布 早口、能代、鷹巣西部、四角岳、湯瀬、刈和野東部
- ◆生育環境 川岸、池畔の湿地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、河川開発・改修
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 II 類

環境省：絶滅危惧 II 類

コアニチドリ *Amitostigma kinoshitae* (Makino) Schltr.

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州（中部以北）
- ◆生育環境 山地の湿った岩場
- ◆選定理由 高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆特記事項 和名は「小阿仁千鳥」で秋田県小阿仁で採集されたことからついた名称である。
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

イチヨウラン *Dactylostalix ringens* Rchb.f.

- ◆国内外の分布 南千島、北海道、本州、四国、九州
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 個体数希少、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 男鹿・栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ラン科

絶滅危惧種 II 類

環境省：該当なし

ハシガヤマサギソウ (ヤマサギソウを含む) *Platanthera mandarinorum* Rchb.f.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；樺太、朝鮮、中国
- ◆生育環境 草地
- ◆選定理由 個体数希少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科	絶滅危惧種 II 類
トキソウ	Pogonia japonica Rchb.f.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；千島、朝鮮、中国

◆生育環境 山地～亜高山帯の湿地

◆選定理由 分布限定、分布減少

◆生存に対する脅威 湿地開発、園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科	絶滅危惧種 II 類
ヤマトキソウ	Pogonia minor (Makino) Makino

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；朝鮮、中国（台湾）

◆生育環境 丘陵、山地の草地

◆選定理由 分布限定、高採集圧

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、男鹿・栗駒・鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ハナヤスリ科	情報不足種
アカハナワラビ	Botrychium nipponicum Makino

◆国内外の分布 本州（秋田県・宮城県以南）、四国、九州；朝鮮、中国

◆生育環境 山地の林内

◆選定理由 分布局限、個体数極小

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆特記事項 評価するだけの情報が不足している。

(松田義徳)

コケシノブ科	情報不足種
ハイホラゴケ	Crepidomanes birmanicum (Bedd.) K.Iwats.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球、小笠原；東南アジア

◆生育環境 山地の岩上

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 不明

◆特記事項 形態的にヒメハイホラゴケと区別が不明瞭な部分あり。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

メシダ科

ウスゲミヤマシケシダ

Deparia pycnosora (H.Christ) M.Kato
var. *mucilagina* M.Kato

情報不足種

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州

◆県内の分布 角館

◆生育環境 山地の森林内

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆特記事項 評価するだけの情報が不足している。

(松田義徳)

イフデンダ科

イワウサギシダ

Gymnocarpium jessoense (Koidz.) Koidz.

情報不足種

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州（近畿以東）、四国；北半球の温帯

◆県内の分布 不明

◆生育環境 風穴周辺

◆選定理由 産地極限

◆生存に対する脅威 不明

◆特記事項 標本ラベルの採集地には同属のウサギシダが産しているが、イワウサギシダは今まで現地確認されたことがない。標本ラベルの採集地の記載が誤りである可能性が高い。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

イチイ科

イチイ

イ

Taxus cuspidata Siebold et Zucc.

情報不足種

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；千島、樺太、朝鮮、中国（東北）、シベリア東部

◆県内の分布 真湯温泉

◆生育環境 山地帯の森林

◆選定理由 産地極限、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆特記事項 自然植生域内に若木1本が観察されている。

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ヤナギ科

オオタチヤナギ

Salix pierotii Miq.

情報不足種

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道（南西部）、本州（北陸の一部、近畿～中国の一部）、四国、九州

◆県内の分布 平沢、象潟

◆生育環境 低地の水辺

◆選定理由 産地限定、個体数希少

◆生存に対する脅威 河川開発・改修

◆特記事項 数年前に秋田県に産することが知られた種類。きわめて稀で現在数ヶ所の産地が確認されているが、県内全体の分布状態は不明である。

(藤原陸夫)

カバノキ科		情報不足種 環境省：該当なし
ハシバミ	<i>Corylus heterophylla</i> Fisch. ex Besser var. <i>thunbergii</i> Blume	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、九州；朝鮮、中国、ウスリー、アムール
- ◆県内の分布 稲庭
- ◆生育環境 山地の森林
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆特記事項 生育地から植栽起源の可能性あり。

(藤原陸夫)

タデ科		情報不足種 環境省：該当なし
ヒメサクラタデ	<i>Persicaria sterilis</i> (Nakai) Nakai	

- ◆国内外の分布 本州、九州、琉球
- ◆生育環境 低地の水辺
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 池沼開発・改修、湿地開発
- ◆特記事項 サクラタデおよびシロバナサクラタデとの区別が不明瞭。

(藤原陸夫)

ナデシコ科		情報不足種 環境省：該当なし
ハマナデシコ	<i>Dianthus japonicus</i> Thunb. ex Murray	

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州；中国
- ◆県内の分布 戸賀
- ◆生育環境 海岸の岩礁地帯の砂礫地
- ◆選定理由 分布局限、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆特記事項 男鹿半島でごく最近発見され、国内帰化の可能性が高いが検討期間が短いのでランクを保留した。

(菊地卓弥)

クスノキ科		情報不足種 環境省：該当なし
シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮南部
- ◆県内の分布 象潟
- ◆生育環境 低地の森林
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。

(藤原陸夫)

キンポウゲ科

情報不足種
環境省：該当なし

ナツカラマツ

Thalictrum ingratum Honda

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、栃木県、長野県）
- ◆県内の分布 花輪、湯瀬、サンケ森、阿仁合、戸鳥内、真庭岳
- ◆生育環境 山地の岩石地
- ◆選定理由 分布限定、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 土地造成
- ◆特記事項 イワカラマツの一型と判断された。今後の検討を要する。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ツバキ科

情報不足種
環境省：該当なし

モッコク

Ternstroemia gymnanthera (Wright et Arn.) Bedd.

- ◆国内外の分布 本州（関東南部以西の主として太平洋側）、四国、九州、琉球；朝鮮南部、中国、東南アジア
- ◆県内の分布 本荘
- ◆生育環境 沿岸部の林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極小
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。

(松田義徳)

オトギリソウ科

情報不足種
環境省：該当なし

オクヤマオトギリ

Hypericum erectum Thunb. ex Murray
var. *longistylum* Y.Kimura

- ◆国内外の分布 本州（中部以北）
- ◆県内の分布 秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山
- ◆生育環境 亜高山帯の草地
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ
- ◆特記事項 オトギリソウの一型と判断された。今後の検討を要する。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

アブラナ科

情報不足種
環境省：該当なし

イワテハタザオ

Arabis serrata Franch. et Sav.
var. *japonica* (H.Boissieu) Ohwi form. *fauriei* (H.Boissieu) Ohwi

- ◆国内外の分布 本州（秋田県、岩手県）
- ◆県内の分布 秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 高山帯の岩礫地
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 自然遷移
- ◆特記事項 イワハタザオの一型と判断された。今後の検討を要する。
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

アブラナ科	情報不足種 環境省：該当なし
<h1>ミチバタガラシ</h1> <i>Rorippa dubia</i> (Pers.) H.Hara	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；中国（本土、台湾）、インド、マレーシア
- ◆県内の分布 羽川
- ◆生育環境 低地の路傍
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 道路工事、踏みつけ
- ◆特記事項 自生かどうか不明。

(藤原陸夫)

ベンケイソウ科	情報不足種 環境省：該当なし
<h1>タイトゴメ</h1> <i>Sedum oryzifolium</i> Makino	

- ◆国内外の分布 本州（関東以西）、四国、九州、奄美大島；朝鮮
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 海岸の岩上
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 海岸開発・改修
- ◆特記事項 種の扱いに疑問がある。
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

トベラ科	情報不足種 環境省：該当なし
<h1>トベラ</h1> <i>Pittosporum tobira</i> (Thunb. ex Murray) Aiton	

- ◆国内外の分布 本州（太平洋側では岩手県以南、日本海側では新潟以南）、四国、九州、琉球；朝鮮南部、台湾（変種）、中国大陆（変種）
- ◆県内の分布 象潟
- ◆生育環境 沿岸部の林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極小
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。

(松田義徳)

バラ科	情報不足種 環境省：該当なし
<h1>ヤマザクラ</h1> <i>Prunus jamasakura</i> Siebold ex Koidz.	

- ◆国内外の分布 本州（太平洋側では宮城県以南、日本海側では新潟以南）、四国、九州
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 沿岸部の林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極小
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。

(松田義徳)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

マメ科

情報不足種

環境省：該当なし

スズメノエンドウ

Vicia hirsuta (L.) Gray

- ◆国内外の分布 本州（秋田県・岩手県以南）、四国、九州、琉球；ユーラシアとアフリカ北部の暖温帯
- ◆県内の分布 象潟
- ◆生育環境 低地の耕地周辺や路傍
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事
- ◆特記事項 起源がはっきりしない。

(菊地卓弥)

マメ科

情報不足種

環境省：該当なし

カスマグサ

Vicia tetrasperma (L.) Schreb.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；ユーラシアとアフリカ北部の暖温帯
- ◆県内の分布 船川、船越、秋田西部、岩谷、小砂川
- ◆生育環境 低地の耕地周辺や路傍
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 土地造成、道路工事
- ◆特記事項 起源がはっきりしない。

(菊地卓弥)

マメ科

情報不足種

環境省：該当なし

ヤブツルアズキ

Vigna angularis (Willd.) Ohwi et H.Ohashi
var. *nipponensis* (Ohwi) Ohwi et H.Ohashi

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国、ヒマラヤ（ネパール）
- ◆県内の分布 田沢、抱返り渓谷、浅舞、西馬音内、湯沢
- ◆生育環境 低地～丘陵地の路傍や林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 道路工事等
- ◆特記事項 ランクを判定するに足る情報が得られていない。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

カタバミ科

情報不足種

環境省：該当なし

ヒヨウノセンカタバミ

Oxalis acetosella L.
var. *longicapsula* Terao

- ◆国内外の分布 北海道（南西部）、本州（日本海側）
- ◆生育環境 山地の森林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、林道建設
- ◆特記事項 ランクを判定するに足る情報が得られていない。

(菊地卓弥)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ユズリハ科	情報不足種 環境省：該当なし
ユズリハ <i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq.	

- ◆国内外の分布 本州（宮城県以南）、四国、九州、琉球；中国、朝鮮南部
- ◆県内の分布 小砂川
- ◆生育環境 海岸部の森林内
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 自生か植栽かの起源が不明。

(菊地卓弥)

ミカン科	情報不足種 環境省：該当なし
ミヤマシキミ <i>Skimmia japonica</i> Thunb.	

- ◆国内外の分布 本州（岩手県以南の太平洋側および関東以西）、四国、九州；台湾
- ◆県内の分布 羽川
- ◆生育環境 低地の森林内
- ◆選定理由 分布局限、個体数極少
- ◆生存に対する脅威 土地造成
- ◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。

(藤原陸夫)

ムクロジ科	情報不足種 環境省：該当なし
モクゲンジ <i>Koelreuteria paniculata</i> Laxm.	

- EX ◆国内外の分布 本州、九州；朝鮮半島、中国
- EW ◆県内の分布 岩館、能代、森岳
- CR ◆生育環境 海岸部の森林内
- EN ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 伐採等
- ◆特記事項 自生の可能性が高いが、寺社等の社叢林に植栽されることがあり、そこからの二次的な分布拡大の可能性もあるのでランクを保留した。

(菊地卓弥)

モチノキ科	情報不足種 環境省：該当なし
イヌツゲ <i>Ilex crenata</i> Thunb. ex Murray	

- DD ◆国内外の分布 本州（岩手県以南の太平洋側および近畿地方以西）、四国、九州；朝鮮南部
- LP ◆県内の分布 小砂川
- RH ◆生育環境 沿岸部の林内
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。

(松田義徳)

クロウメモドキ科

情報不足種

環境省：該当なし

クロツバラ

Rhamnus davurica Pall.
var. *nipponica* Makino

◆国内外の分布 本州（中部以北）

◆生育環境 丘陵地の林縁

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事

◆特記事項 ランクを判定するに足る情報が得られていない。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(菊地卓弥)

スミレ科

情報不足種

環境省：該当なし

ヒメスミレ

Viola minor (Makino) Makino

◆国内外の分布 本州、四国、九州；中国（台湾）

◆県内の分布 不詳（協和町の林試試験地）

◆生育環境 低地の路傍等

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆特記事項 人為による所産の可能性が高い。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

ミズキ科

情報不足種

環境省：該当なし

アオキ

Aucuba japonica Thunb.

◆国内外の分布 本州（中国を除く）、四国（東部）

◆県内の分布 羽川、本荘、象潟

◆生育環境 沿岸部の林内

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成

◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。日本海側の北限は山形県、太平洋側の北限は岩手県である。

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

ウコギ科

情報不足種

環境省：該当なし

カクレミノ

Dendropanax trifidus (Thunb. ex Murray) Makino

◆国内外の分布 本州（関東南部以南）、四国、九州、琉球（宮城県では自生扱い）；朝鮮南部、台湾

◆県内の分布 本荘

◆生育環境 沿岸部の林内

◆選定理由 分布局限、個体数極小

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。

(松田義徳)

セリ科	情報不足種 環境省：該当なし
チドメグサ <i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Lam.	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球、小笠原；中国（本土、台湾）、朝鮮南部、暖帶～熱帶アジア、オーストラリア、アフリカ
- ◆県内の分布 太平湖、船川
- ◆生育環境 人家の庭
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 土地造成、踏みつけ
- ◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。

(松田義徳)

サクラソウ科	情報不足種 環境省：該当なし
クリンソウ <i>Primula japonica</i> A.Gray	

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国
- ◆生育環境 山地の溪流辺や湿地および湿った林内
- ◆選定理由 分布限定、高採集圧
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

モクセイ科	情報不足種 環境省：該当なし
ネズミモチ <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb.	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；朝鮮、台湾、中国大陸
- ◆県内の分布 本荘
- ◆生育環境 沿岸部の林内
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 森林伐採
- ◆特記事項 自生であるかを判断する情報が不足している。

(松田義徳)

モクセイ科	情報不足種 環境省：該当なし
オクノハマイボタ <i>Ligustrum tschonoskii</i> Decne. var. <i>yuhkianum</i> (Koidz.) Sugim.	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北の日本海側）
- ◆県内の分布 秋田西部、小砂川
- ◆生育環境 海岸部の林内、林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 森林伐採、土地造成
- ◆特記事項 評価するだけの情報が不足している。山形県飛島が基準産地。

(松田義徳)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ヒルガオ科

情報不足種

環境省：該当なし

マメダオシ

Cuscuta australis R.Br.

- ◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、琉球；中国、東南アジア、オーストラリア
- ◆県内の分布 小坂、船川、太平山、羽後長野、羽後田代、横堀
- ◆生育環境 山地の路傍や林縁
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 土地造成
- ◆特記事項 評価するだけの情報が不足している。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(松田義徳)

アフゴケ科

情報不足種

環境省：該当なし

アフゴケ

Callitrichia japonica Engelm.

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球。
- ◆県内の分布 能代、秋田西部、真昼岳、湯沢、稻庭。
- ◆生育環境 人家の庭などのやや湿った日陰。
- ◆選定理由 分布限定。
- ◆生存に対する脅威 踏みつけ、土地造成。
- ◆特記事項 評価するだけの情報が不足している。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物。

(松田義徳)

キキヨウ科

情報不足種

環境省：該当なし

ヤマホタルブクロ

Campanula punctata Lam.
var. *hondoensis* (Kitam.) Ohwi

- ◆国内外の分布 本州（東北南部～近畿東部）
- ◆生育環境 山地の林縁
- ◆選定理由 分布局限、個体数極小
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆特記事項 評価するだけの情報が不足している。
- ◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物

(松田義徳)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

キク科

情報不足種

環境省：該当なし

ミヤマヨメナ

Aster savatieri Makino

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆生育環境 やや暗い林内
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 園芸採取
- ◆特記事項 殆どの生育地が人為の色濃く残る場所で、植栽か自生か判断がつかない。
- ◆現在講じられている保護対策 鳥海国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田順)

キク科	情報不足種 環境省：該当なし
ミネアザミ <i>Cirsium inundatum</i> Makino var. <i>alpicola</i> (Nakai) Ohwi	

- ◆国内外の分布 北海道（西南部）、本州（北部）
- ◆県内の分布 二ツ森、十和田湖東部、森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳
- ◆生育環境 亜高山帯の草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 草地開発、道路工事、踏みつけ
- ◆特記事項 分類群についての研究が不足しているのでランク決定を保留した。
- ◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物。
(高田 順)

キク科	情報不足種 環境省：絶滅危惧 I B 類
アキノハハコグサ <i>Gnaphalium hypoleucum</i> DC.	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州；朝鮮、中国、東南アジア、インド
- ◆生育環境 低地の路傍
- ◆選定理由 分布限定、個体数希少
- ◆生存に対する脅威 草地開発、園芸採取
- ◆特記事項 記録についての不確定性。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
(高田 順)

キク科	情報不足種 環境省：該当なし
ハイニガナ <i>Ixeris dentata</i> (Thunb. ex Murray) Nakai var. <i>stolonifera</i> (Kitam.) Nemoto	

- ◆国内外の分布 本州、四国、九州
- ◆県内の分布 浅舞
- ◆生育環境 低地の田の畔
- ◆選定理由 分布局限
- ◆生存に対する脅威 土地造成、踏みつけ
- ◆特記事項 評価するだけの情報が不足している。
(松田義徳)

キク科	情報不足種 環境省：該当なし
コシカギク <i>Matricaria matricarioides</i> (Less.) Porter	

- ◆国内外の分布 北海道、本州（帰化？）；北半球の寒地
- ◆生育環境 沿岸部の草地
- ◆選定理由 分布限定
- ◆生存に対する脅威 薬用採取、園芸採取
- ◆特記事項 本県でも採集の記録があるが継続的な生育地は確認されていない。偶発的帰化や逸出であるのか自然事象としての分布拡大であるのか現時点では不明なのでランクを保留した。
- ◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物
(高田 順)

キク科

ハマギク

Nipponanthemum nipponicum (Franch.) Kitam.

情報不足種

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県、岩手県、福島県、茨城県）

◆生育環境 海岸の林縁

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 海岸開発・改修、園芸採取

◆特記事項 自生についての情報が不明である。日本海側唯一の生育地。

(松田義徳)

ユリ科

ヤブラン

Liriope platyphylla F.T.Wang et T.Tang

情報不足種

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州、四国、九州、琉球；中国（本土、台湾）、朝鮮南部

◆生育環境 照葉樹林内

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 園芸採取

◆特記事項 産地情報が少ないので自生か逸出かについての判定が不能である。

(高田 順)

ユリ科

エゾタケシマラン

Streptopus streptopoides (Ledeb.) Frye et Rigg

情報不足種

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（青森県、秋田県、岩手県？、山形県）

◆生育環境 山地帯の林内

◆選定理由 個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採

◆特記事項 タケシマラン、ヒメタケシマラン、エゾタケシマランの3分類群については、それぞれ独立した分類群とするかどうかについて学説が分かれている。

(高田 順)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イグサ科

ヒロハノコウガイゼキショウ

Juncus diastrophanthus Buchenau

情報不足種

環境省：該当なし

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州、朝鮮、中国

◆生育環境 低地の湿地

◆選定理由 分布限定

◆生存に対する脅威 湿地開発

◆特記事項 秋田県に古い記録は多いが確かな標本による裏付けをすることができないのでランク決定を保留した。

(高田 順)

ホシクサ科

情報不足種

ヒメイヌノヒゲ

Eriocaulon hondoense Satake
var. *gracile* Satake

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県、岩手県）

◆県内の分布 八幡平、栗駒山

◆生育環境 亜高山帯の水湿地

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 湿地開発

◆特記事項 八幡平で得られた標本に基づいて発表されたニッポンイヌノヒゲの変種で、花床毛、草丈、少数花、雌萼微齒などの特徴が記載されているが、その後の追加的な研究がなく標本も少ないことから今後の分類学的研究を待つこととする。

(高田 順)

ホシクサ科

情報不足種

ミカワイヌノヒゲ

Eriocaulon mikawanum Satake et T.Koyama

環境省：絶滅危惧 IA類

◆国内外の分布 本州（秋田県、愛知県）

◆県内の分布 大久保、新沢

◆生育環境 低地～山地のミズゴケ湿原

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 湿地開発、自然遷移

◆特記事項 本県ではイヌノヒゲは普通に分布し、その一部は子房1室になるのでミカワイヌノヒゲにあてられている。しかし、その形質が不安定で他の形質の変異も激しいので、総括的な研究が行われるまではランクを保留する。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ホシクサ科

情報不足種

ハライヌノヒゲ

Eriocaulon ozense T.Koyama

環境省：絶滅危惧 II類

◆国内外の分布 本州（秋田県、福島県）

◆県内の分布 小安温泉

◆生育環境 ミズゴケ湿原

◆選定理由 地理的孤立

◆生存に対する脅威 ミズゴケの盗掘、自然遷移

◆特記事項 ハライヌノヒゲは尾瀬産の標本に基づいて新種として発表されたもので雌花の萼背面に長毛がある。皆瀬村苔沼のミズゴケ湿原に生育するイヌノヒゲ類も同様な特徴をもつことからハライヌノヒゲとして図鑑に記述されているが、この特徴の評価については異なる考えもあるので今後の研究を待つこととする。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

ホシクサ科

情報不足種

コケヌマイヌノヒゲ

Eriocaulon satakeanum Tatew. et Koji Ito

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（秋田県）

◆県内の分布 小安温泉

◆生育環境 ミズゴケ湿原

◆選定理由 地理的孤立

◆生存に対する脅威 湿地開発、自然遷移

◆特記事項 皆瀬村苔沼の標本に基づき新種として記載発表された。しかし、その後の調査で分類上の疑義が生じているのでランクを保留する。

◆現在講じられている保護対策 栗駒国定公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD
LP
RH
N

ホシクサ科

情報不足種

環境省：該当なし

ガリメギイヌノヒゲ

Eriocaulon tutidae Satake

◆国内外の分布 本州（秋田県）

◆県内の分布 羽後田代

◆生育環境 ミズゴケ湿原

◆選定理由 地理的孤立

◆生存に対する脅威 湿地開発、自然遷移

◆特記事項 羽後町刈女木湿原の標本に基づき新種として記載発表された。短い地下茎を持ち、多くは2果室であることが特徴とされ、他の地域では発見されていない。しかし、これらの特徴は変異が大きいことからランク決定を保留した。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(高田 順)

タケ科

情報不足種

環境省：該当なし

オオクマザサ

Sasa chartacea (Makino) Makino

◆国内外の分布 北海道、本州（中部以北、滋賀県）の主に太平洋側

◆県内の分布 本荘

◆生育環境 丘陵地の林内、林縁

◆選定理由 地理的孤立

◆生存に対する脅威 土地造成

◆特記事項 自生か否かの検討が必要。

(沖田貞敏)

タケ科

情報不足種

環境省：該当なし

スズダケ

Sasamorpha borealis (Hack.) Nakai

◆国内外の分布 北海道、本州（太平洋側山地）、四国、九州；朝鮮

◆県内の分布 小坂

◆生育環境 山地の林内、林縁

◆選定理由 地理的孤立

◆生存に対する脅威 土地造成

◆特記事項 自生か否かの検討が必要。

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

イネ科

情報不足種

環境省：該当なし

オオウシノケグサ

Festuca rubra L.

◆国内外の分布 北海道、本州、四国、九州；北半球の温帯～亜寒帯

◆県内の分布 船川、真庭岳、丁岳

◆生育環境 山地の岩場

◆選定理由 分布限定、個体数極少

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆特記事項 自生品であるが、形態的に法面綠化の植栽品と区別が不明瞭。

(藤原陸夫)

カヤツリグサ科

アイズスゲ *Carex hondoensis* Ohwi

情報不足種

環境省：該当なし

◆国内外の分布 本州（中部以北）

◆県内の分布 小安温泉

◆生育環境 山地の林縁

◆選定理由 地理的孤立

◆生存に対する脅威 森林伐採、道路工事

◆特記事項 自生か偶発的なものか継続的な調査が必要。

(沖田貞敏)

カヤツリグサ科

ヌマスゲ *Carex rostrata* Stokes
var. *borealis* (Hartm.) Kük.

情報不足種

環境省：絶滅危惧 I A 類

◆国内外の分布 本州（八幡平）；朝鮮北部からシベリア、北欧

◆県内の分布 八幡平

◆生育環境 高山の湿原

◆選定理由 分布局限

◆生存に対する脅威 踏みつけ

◆特記事項 自生地について詳しい調査がなされておらず、県内にあるのか確認が必要。

◆現在講じられている保護対策 十和田八幡平国立公園指定植物、秋田県立自然公園指定植物

(沖田貞敏)

ラン科

クモイジガバチ *Liparis truncata* F.Maek.

情報不足種

環境省：絶滅危惧 I A 類

◆国内外の分布 本州（中部以北）

◆生育環境 山地帯の樹上

◆選定理由 分布局限、個体数極少

◆生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取

◆特記事項 情報が不確実。

◆現在講じられている保護対策 秋田県立自然公園指定植物

(藤原陸夫)

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

準絶滅危惧種(NT)

和名	学名	科名	環境省
ヤチスギラン	<i>Lycopodium inundatum</i> L.	ヒカゲノカズラ科	該当なし
エゾノヒメクラマゴケ	<i>Selaginella helvetica</i> (L.) Link	イワヒバ科	該当なし
ヒモカズラ	<i>Selaginella shakotanensis</i> (Franch. ex Takeda) Miyabe et Kudo	イワヒバ科	該当なし
ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i> A.Braun	ミズニラ科	絶滅危惧II類
クモノスシダ	<i>Asplenium ruprechtii</i> Sa.Kurata	チャセンシタ科	該当なし
ミヤマシシガシラ	<i>Blechnum castaneum</i> Makino	シシガシラ科	該当なし
オオクジャクシダ	<i>Dryopteris dickinsii</i> (Franch. et Sav.) C.Chr.	オシダ科	該当なし
トウゴクシダ	<i>Dryopteris nippensis</i> Koidz.	オシダ科	該当なし
イノデ	<i>Polystichum polyblepharum</i> (Roem. ex Kunze) C.Presl	オシダ科	該当なし
メニッコウシダ	<i>Thelypteris nippensis</i> (Franch. et Sav.) Ching var. <i>borealis</i> (H.Hara) H.Hara	ヒメシダ科	該当なし
ホソバイヌワラビ	<i>Athyrium iseanum</i> Rosenst.	イワデンダ科	該当なし
ミヤマシダ	<i>Diplazium sibiricum</i> (Turcz. ex Kunze) Sa.Kurata var. <i>glabrum</i> (Tagawa) Sa.Kurata	イワデンダ科	該当なし
フクロシダ	<i>Woodsia manchuriensis</i> Hook.	イワデンダ科	該当なし
ミツデウラボシ	<i>Crypsinus hastatus</i> (Thunb. ex Murray) Copel.	ウラボシ科	該当なし
コメツガ	<i>Tsuga diversifolia</i> (Maxim.) Mast.	マツ科	該当なし
ビロードシダ	<i>Pyrrosia linearifolia</i> (Hook.) Ching	ウラボシ科	該当なし
ミヤマネズ	<i>Juniperus communis</i> L. var. <i>nipponica</i> (Maxim.) Wilson	ヒノキ科	該当なし
ハイネズ	<i>Juniperus conferta</i> Parl.	ヒノキ科	該当なし
キヌヤナギ	<i>Salix schwerinii</i> E.Wolf	ヤナギ科	該当なし
サクラタデ	<i>Persicaria conspicua</i> (Nakai) Nakai ex Ohki	タデ科	該当なし
センジュガンピ	<i>Lychnis gracillima</i> (Rohrb.) Makino	ナデシコ科	該当なし
ハマツメクサ	<i>Sagina maxima</i> A.Gray	ナデシコ科	該当なし
ハマアカザ	<i>Atriplex subcordata</i> Kitag.	アカザ科	該当なし
オカヒジキ	<i>Salsola komarovii</i> Iljin	アカザ科	該当なし
フサザクラ	<i>Euptelea polyandra</i> Siebold et Zucc.	フサザクラ科	該当なし
バイカモ	<i>Ranunculus nipponicus</i> (Makino) Nakai var. <i>submersus</i> H.Hara	キンポウゲ科	該当なし
シラネアオイ	<i>Glaucidium palmatum</i> Siebold et Zucc.	シラネアオイ科	該当なし
ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i> Siebold et Zucc.	ウマノスズクサ科	該当なし
ミチノクサイシン	<i>Asarum fauriei</i> Franch.	ウマノスズクサ科	絶滅危惧II類
ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i> (Makino) Miyabe et Takeda	ボタン科	絶滅危惧II類
ヤマハタザオ	<i>Arabis hirsuta</i> (L.) Scop. subsp. <i>nipponica</i> (Franch. et Sav.) Kitam.	アブラナ科	該当なし
ミツバベンケイソウ	<i>Sedum verticillatum</i> L.	ベンケイソウ科	該当なし
コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	ベンケイソウ科	該当なし
メノマンネングサ	<i>Sedum japonicum</i> Siebold	ベンケイソウ科	該当なし
ミヤママンネングサ	<i>Sedum japonicum</i> Siebold var. <i>senanense</i> (Makino) Makino	ベンケイソウ科	該当なし
コマガタケスグリ	<i>Ribes japonicum</i> Maxim.	ユキノシタ科	該当なし
チングルマ	<i>Geum pentapetalum</i> (L.) Makino	バラ科	該当なし
イワキンバイ	<i>Potentilla dickinsii</i> Franch. et Sav.	バラ科	該当なし
ミヤマザクラ	<i>Prunus maximowiczii</i> Rupr.	バラ科	該当なし
ヒメゴヨウイチゴ	<i>Rubus pseudojaponicus</i> Koidz.	バラ科	該当なし
エゾノシロバナシモツケ	<i>Spiraea miyabei</i> Koidz.	バラ科	該当なし
フジカシヅウ	<i>Desmodium oldhamii</i> Oliv.	マメ科	該当なし
イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i> (Thunb. ex Murray) DC.	マメ科	絶滅危惧II類
センダイハギ	<i>Thermopsis lupinoides</i> (L.) Link	マメ科	該当なし
ノハラクサフジ	<i>Vicia amurensis</i> Oett.	マメ科	該当なし
ミツバフウロ	<i>Geranium wilfordii</i> Maxim.	フウロソウ科	該当なし

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

	和名	学名	科名	環境省
	ハクサンフウロ	<i>Geranium yesoense</i> Franch. et Sav. var. <i>nipponicum</i> Nakai	フウロソウ科	該当なし
	イワウメヅル	<i>Celastrus flagellaris</i> Rupr.	ニシキギ科	該当なし
	オオツリバナ	<i>Euonymus planipes</i> (Koechne) Koenhne	ニシキギ科	該当なし
	イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i> Maxim.	イイギリ科	該当なし
	アリアケスミレ	<i>Viola betonicifolia</i> Sm. var. <i>albescens</i> (Nakai) F.Maek. et Hashim.	スミレ科	該当なし
	ヒナスミレ	<i>Viola takedana</i> Makino	スミレ科	該当なし
	ミズユキノシタ	<i>Ludwigia ovalis</i> Miq.	アカバナ科	該当なし
	タチモ	<i>Myriophyllum ussuriense</i> Maxim.	アリノトウグサ科	準絶滅危惧
	フサモ	<i>Myriophyllum verticillatum</i> L.	アリノトウグサ科	該当なし
	ハクサンサイコ	<i>Bupleurum nipponicum</i> Koso-Pol.	セリ科	該当なし
	ハマボウフウ	<i>Glehnia littoralis</i> F.Schmidt ex Miq.	セリ科	該当なし
	シャクジョウソウ	<i>Monotropa hypopitys</i> L.	イチヤクソウ科	該当なし
	アキノギンリョウソウ	<i>Monotropa uniflora</i> L.	イチヤクソウ科	該当なし
	コメバツガザクラ	<i>Arcterica nana</i> (Maxim.) Makino	ツツジ科	該当なし
	サラサドウダン	<i>Enkianthus campanulatus</i> (Miq.) Nicholson	ツツジ科	該当なし
	シラタマノキ	<i>Gaultheria miquelianiana</i> Takeda	ツツジ科	該当なし
	アオノツガザクラ	<i>Phyllodoce aleutica</i> (Spreng.) A.Heller	ツツジ科	該当なし
	オオバツツジ	<i>Rhododendron nipponicum</i> Matsum.	ツツジ科	該当なし
	コメツツジ	<i>Rhododendron tschonoskii</i> Maxim.	ツツジ科	該当なし
	ヒメウスノキ	<i>Vaccinium yatabei</i> Makino	ツツジ科	該当なし
	ヒナザクラ	<i>Primula nipponica</i> Yatabe	サクラソウ科	該当なし
	ハイハマポッス	<i>Samolus parviflorus</i> Rafin.	サクラソウ科	絶滅危惧II類
	キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i> Ohwi	アカネ科	該当なし
	フタバムグラ	<i>Hedyotis diffusa</i> Willd.	アカネ科	該当なし
	スナビキソウ	<i>Messerschmidia sibirica</i> L.	ムラサキ科	該当なし
	ミズハコベ	<i>Callitrichche verna</i> L.	アワゴケ科	該当なし
	タテヤマウツボグサ	<i>Prunella prunelliformis</i> (Maxim.) Makino	シソ科	該当なし
	デワノタツナミソウ	<i>Scutellaria muramatsui</i> H.Hara	シソ科	該当なし
	ハシリドコロ	<i>Scopolia japonica</i> Maxim.	ナス科	該当なし
	オオマルバノホロシ	<i>Solanum megacarpum</i> Koidz.	ナス科	該当なし
	サワトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i> (Maxim.) T.Yamaz.	ゴマノハグサ科	該当なし
	イワテシオガマ	<i>Pedicularis iwatensis</i> Ohwi	ゴマノハグサ科	該当なし
	オニシオガマ	<i>Pedicularis nipponica</i> Makino	ゴマノハグサ科	該当なし
	シオガマギク	<i>Pedicularis resupinata</i> L.	ゴマノハグサ科	該当なし
EX	エゾルリトラノオ (ヤマルリ トランオを含む)	<i>Pseudolysimachion kiusianum</i> (Furumi) T.Yamaz. subsp. <i>miyabei</i> (Nakai et Honda) T.Yamaz.	ゴマノハグサ科	該当なし
EW				
CR	オオヒナノウスツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i> Franch.	ゴマノハグサ科	該当なし
EN	オオナンバンギセル	<i>Aeginetia sinensis</i> Beck	ハマウツボ科	該当なし
VU	イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i> R.Br.	タヌキモ科	該当なし
NT	ミニカキグサ	<i>Utricularia bifida</i> L.	タヌキモ科	該当なし
DD	タヌキモ	<i>Utricularia vulgaris</i> L. var. <i>japonica</i> (Makino) Tamura	タヌキモ科	絶滅危惧II類
LP	ムラサキミニカキグサ	<i>Utricularia yakusimensis</i> Masam.	タヌキモ科	絶滅危惧II類
RH	ソクズ	<i>Sambucus chinensis</i> Lindl.	スイカズラ科	該当なし
N	ツルカノコソウ	<i>Valeriana flaccidissima</i> Maxim.	オミナエシ科	該当なし
	チョウジギク	<i>Arnica mallotopus</i> (Franch. et Sav.) Makino	キク科	該当なし
	ヤマノコギリソウ	<i>Achillea alpina</i> L. var. <i>discoidea</i> (Regel) Kitam.	キク科	該当なし
	シロヨモギ	<i>Artemisia stelleriana</i> Besser	キク科	該当なし
	エゾノタウコギ	<i>Bidens radiata</i> Thuill. var. <i>pinnatifida</i> (Turcz.) Kitam.	キク科	該当なし
	コヤブタバコ	<i>Carpesium cernuum</i> L.	キク科	該当なし
	ウゴアザミ	<i>Cirsium ugoense</i> Nakai	キク科	該当なし
	アズマギク	<i>Erigeron thunbergii</i> A.Gray	キク科	該当なし
	ミズギク	<i>Inula ciliaris</i> (Miq.) Maxim.	キク科	該当なし

和名	学名	科名	環境省
クモマニガナ	<i>Ixeris dentata</i> (Thunb. ex Murray) Nakai var. <i>kimurana</i> (Kitam.) Ohwi	キク科	該当なし
ウスユキソウ	<i>Leontopodium japonicum</i> Miq.	キク科	該当なし
メタカラコウ	<i>Ligularia stenocephala</i> (Maxim.) Matsum. et Koidz.	キク科	該当なし
クルマバハグマ	<i>Pertya rigidula</i> (Miq.) Makino	キク科	該当なし
サジオモダカ	<i>Alisma plantago-aquatica</i> L. var. <i>orientale</i> Sam.	オモダカ科	該当なし
アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i> Makino	オモダカ科	準絶滅危惧
クロモ	<i>Hydrilla verticillata</i> (L.f.) Royle	トチカガミ科	該当なし
ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i> (L.) Pers.	トチカガミ科	該当なし
セキショウモ	<i>Vallisneria asiatica</i> Miki	トチカガミ科	該当なし
エビモ	<i>Potamogeton crispus</i> L.	ヒルムシロ科	該当なし
キバナノアマナ	<i>Gagea lutea</i> (L.) Ker-Gawl.	ユリ科	該当なし
ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>longituba</i> (Miq.) Maxim.	ユリ科	該当なし
スカシユリ	<i>Lilium maculatum</i> Thunb.	ユリ科	該当なし
ヤマスカシユリ	<i>Lilium maculatum</i> Thunb. var. <i>monticola</i> H.Hara	ユリ科	絶滅危惧Ⅱ類
クルマバツクバネソウ	<i>Paris verticillata</i> M.Bieb.	ユリ科	該当なし
ツルボ	<i>Scilla scilloides</i> (Lindl.) Druce	ユリ科	該当なし
チャボゼキショウ	<i>Tofieldia coccinea</i> Richards. var. <i>kondoi</i> (Miyabe et Kudô) H.Hara	ユリ科	該当なし
バイケイソウ	<i>Veratrum grandiflorum</i> Loes.f.	ユリ科	該当なし
ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i> A.Gray	アヤメ科	準絶滅危惧
カキツバタ	<i>Iris laevigata</i> Fisch. ex Fisch. et C.A.Mey.	アヤメ科	絶滅危惧Ⅱ類
ミヤマホソコウガイゼキ ショウ	<i>Juncus kamtschaticus</i> (Buchenau) Kudô	イグサ科	該当なし
ミヤマヌカボシソウ	<i>Luzula rostrata</i> Buchenau	イグサ科	該当なし
イワノガリヤス	<i>Calamagrostis langsdorffii</i> (Link) Trin.	イネ科	該当なし
ヒゲノガリヤス (オオヒゲガ リヤスを含む)	<i>Calamagrostis longisetosa</i> Hack.	イネ科	該当なし
タカネノガリヤス	<i>Calamagrostis sachalinensis</i> F.Schmidt	イネ科	該当なし
コメススキ	<i>Deschampsia flexuosa</i> (L.) Nees	イネ科	該当なし
ミヤマドジョウツナギ	<i>Glyceria alnasteretum</i> Kom.	イネ科	該当なし
ヒロハノドジョウツナギ	<i>Glyceria leptolepis</i> Ohwi	イネ科	該当なし
カモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i> L. var. <i>glaucum</i> (Honda) T.Koyama	イネ科	該当なし
ハマエノコロ	<i>Setaria viridis</i> (L.) P.Beauv. var. <i>pachystachys</i> (Franch. et Sav.) Makino et Nemoto	イネ科	該当なし
ミクリ	<i>Sparganium erectum</i> L.	ミクリ科	準絶滅危惧
ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i> Rothert	ミクリ科	準絶滅危惧
ヒメミクリ	<i>Sparganium stenophyllum</i> Maxim. ex Meinh.	ミクリ科	絶滅危惧Ⅱ類
ヤチスゲ	<i>Carex limosa</i> L.	カヤツリグサ科	該当なし
ホソバカンスゲ	<i>Carex morrowii</i> Boott var. <i>temnolepis</i> (Franch.) Ohwi	カヤツリグサ科	該当なし
ナガエスゲ	<i>Carex otayae</i> Ohwi	カヤツリグサ科	該当なし
シラコスゲ	<i>Carex rhizopoda</i> Maxim.	カヤツリグサ科	該当なし
サギスゲ	<i>Eriophorum gracile</i> Koch	カヤツリグサ科	該当なし
イトイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora faberi</i> C.B.Clarke	カヤツリグサ科	該当なし
コホタルイ	<i>Scirpus komarovii</i> Roshev.	カヤツリグサ科	該当なし
ヒメホタルイ	<i>Scirpus lineolatus</i> Franch. et Sav.	カヤツリグサ科	該当なし
エビネ	<i>Calanthe discolor</i> Lindl.	ラン科	絶滅危惧Ⅱ類
ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb. ex Murray) Blume	ラン科	該当なし
コイチヨウラン	<i>Ephippianthus schmidtii</i> Rchb.f.	ラン科	該当なし
エゾスズラン	<i>Epipactis papillosa</i> Franch. et Sav.	ラン科	該当なし
カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i> A.Gray	ラン科	該当なし
オニノヤガラ	<i>Gastrodia elata</i> Blume	ラン科	該当なし

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

和名	学名	科名	環境省
アケボノシュスラン	<i>Goodyera foliosa</i> (Lindl.) Benth. ex Hook.f. var. <i>maximowicziana</i> (Makino) F.Maek.	ラン科	該当なし
ノビネチドリ	<i>Gymnadenia camtschatica</i> (Cham.) Miyabe et Kudo	ラン科	該当なし
アオフタバラン	<i>Listera makinoana</i> Ohwi	ラン科	該当なし
アリドオシラン	<i>Myrmecischis japonica</i> (Rchb.f.) Rolfe	ラン科	該当なし
ハクサンチドリ	<i>Orchis aristata</i> Fisch. ex Lindl.	ラン科	該当なし
コケイラン	<i>Oreorchis patens</i> (Lindl.) Lindl.	ラン科	該当なし
ジンバイソウ	<i>Platanthera florentii</i> Franch. et Sav.	ラン科	該当なし
オオキソチドリ	<i>Platanthera ophrydioides</i> F.Schmidt	ラン科	該当なし
ホソバノキソチドリ	<i>Platanthera tipuloides</i> Lindl.	ラン科	該当なし
コバノトンボソウ	<i>Platanthera tipuloides</i> Lindl. var. <i>nipponica</i> (Makino) Ohwi	ラン科	該当なし
ヒツボクロ	<i>Tipularia japonica</i> Matsum.	ラン科	該当なし
イイヌマムカゴ	<i>Tulotis iinumae</i> (Makino) H.Hara	ラン科	絶滅危惧 I B類
ショウキラン	<i>Yoania japonica</i> Maxim.	ラン科	該当なし

分布上希少な雑種(RH)

和名	学名	科名	環境省
EX オクタマゼンマイ	<i>Osmunda ×intermedia</i> (Honda) Sugim.	ゼンマイ科	該当なし
EW ヤマドリトラノオ	<i>Asplenium ×kobayashii</i> Tagawa	チャセンシダ科	絶滅危惧 I A類
CR タカヤマナライシダ	<i>Arachniodes ×takayamensis</i> Seriz.	オシグ科	該当なし
EN ミヤマオシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i> × <i>D. monticola</i>	オシダ科	該当なし
VU フジクマワラビ	<i>Dryopteris ×fujipedis</i> Sa.Kurata	オシダ科	該当なし
NT ハコネオオクジャク	<i>Dryopteris ×hakonecola</i> Sa.Kurata	オシダ科	該当なし
DD タニヘゴモドキ	<i>Dryopteris ×kominatoensis</i> Tagawa	オシダ科	該当なし
LP アイノコクマワラビ	<i>Dryopteris ×mituji</i> Seriz.	オシダ科	該当なし
RH アイツヤナシイノデ	<i>Polystichum ×amboversum</i> Sa.Kurata	オシダ科	該当なし
N ドウリョウイノデ	<i>Polystichum ×anceps</i> Sa.Kurata	オシダ科	該当なし
Y ハコネイノデ	<i>Polystichum ×hakonense</i> Sa.Kurata	オシダ科	該当なし
Y フナコシイノデ	<i>Polystichum ×inadae</i> Sa.Kurata	オシダ科	該当なし
Y オクキヌイノデ	<i>Polystichum ×shimotsukense</i> Shimura et H.Ito nom. nud.	オシダ科	該当なし
Y チチブイノデ	<i>Polystichum ×titibuense</i> Sa.Kurata	オシダ科	該当なし
Y ハリマイノデ	<i>Polystichum ×utsumii</i> (Sa.Kurata) Sa.Kurata	オシダ科	該当なし
Y ゴテンバイイノデ	<i>Polystichum ×yuyamae</i> Sa.Kurata	オシダ科	該当なし
Y ニセコシノサトメシダ	<i>Athyrium ×bicolor</i> Seriz.	イワデンダ科	該当なし
Y ヤマカライヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i> × <i>A. vidalii</i>	イワデンダ科	該当なし
Y ヘビヤマイヌワラビ	<i>Athyrium ×mentiense</i> Sa.Kurata	イワデンダ科	該当なし
Y オゼオオサトメシダ	<i>Athyrium ×multifidum</i> Rosenst. form. <i>sakuraii</i> (Rosenst.) Sa.Kurata	イワデンダ科	該当なし
Y ヤマホソバイヌワラビ	<i>Athyrium ×pseudospinascens</i> Seriz.	イワデンダ科	該当なし
Y ヤマヒロハイヌワラビ	<i>Athyrium ×pseudowardii</i> Seriz.	イワデンダ科	該当なし
Y コセイタカシケシダ	<i>Deparia coniliifera</i> × <i>D. dimorphophylla</i>	イワデンダ科	該当なし
Y オオホソバシケシダ	<i>Deparia coniliifera</i> × <i>D. japonica</i>	イワデンダ科	該当なし
Y ホソバフモトシケシダ	<i>Deparia coniliifera</i> × <i>D. pseudoconiliifera</i>	イワデンダ科	該当なし
Y セイタカフモトシケシダ	<i>Deparia dimorphophylla</i> × <i>D. pseudoconiliifera</i>	イワデンダ科	該当なし
Y タマシケシダ	<i>Deparia japonica</i> × <i>D. pseudoconiliifera</i>	イワデンダ科	該当なし
Y ムサシシケシダ	<i>Deparia ×musashiensis</i> (H.Ohba) Seriz.	イワデンダ科	該当なし
Y ミヤマキヨタキシダ	<i>Diplazium sibiricum</i> var. <i>glabrum</i> × <i>D. squamigerum</i>	イワデンダ科	該当なし
Y ハッコウダゴヨウ	<i>Pinus ×hakkodensis</i> Makino	マツ科	該当なし
Y イケノヤナギ	<i>Salix ×ikenoana</i> Kimura	ヤナギ科	該当なし
Y トヨハラヤナギ	<i>Salix ×koidzumii</i> Kimura	ヤナギ科	該当なし
Y コイエヤナギ	<i>Salix ×koiei</i> Kimura	ヤナギ科	該当なし

和名	学名	科名	環境省
センダイヤナギ	<i>Salix ×sendaica</i> Kimura	ヤナギ科	該当なし
ヒロハハンノキ	<i>Alnus ×borealis</i> Koidz.	カバノキ科	該当なし
ミズコナラ	<i>Quercus ×crispuloserrata</i> (Sugim.) H.Ohba	ブナ科	該当なし
ホソバガシワ	<i>Quercus ×nipponica</i> Koidz.	ブナ科	該当なし
コガシワ	<i>Quercus ×takatorensis</i> Makino	ブナ科	該当なし
トガマダイオウ	<i>Rumex ×togaensis</i> T.Kawahara	タデ科	該当なし
シバコブシ	<i>Magnolia ×kewensis</i> Pearce	モクレン科	該当なし
ムラサキボタンヅル	<i>Clematis ×takedana</i> Makino	キンポウゲ科	該当なし
ツルワサビ	<i>Cardamine ×akitensis</i> Mochizuki	アブラナ科	該当なし
チダケトリニアシ	<i>Astilbe ×amabilis</i> H.Hara	ユキノシタ科	該当なし
カスミオクチョウジザクラ	<i>Prunus ×pseudoverecunda</i> H.Kubota et Moriya	バラ科	該当なし
オオミネザクラ	<i>Prunus ×takasawana</i> H.Kubota et Funatsu	バラ科	該当なし
コハマナス	<i>Rosa ×iware</i> Siebold	バラ科	該当なし
アイノコキイチゴ	<i>Rubus ×nikaii</i> Ohwi	バラ科	該当なし
アイノコフユイチゴ	<i>Rubus ×pseudohakonensis</i> Sugim.	バラ科	該当なし
オオツルツゲ	<i>Ilex ×makinoi</i> H.Hara	モチノキ科	該当なし
ノジリボダイジュ	<i>Tilia ×noziricola</i> Hisauti	シナノキ科	該当なし
スワキクバスミレ	<i>Viola ×chinsei</i> F.Maek.	スミレ科	該当なし
イワフネタチツボスミレ	<i>Viola kusanoana</i> × <i>V. rostrata</i> var. <i>japonica</i>	スミレ科	該当なし
オオタニタデ	<i>Circaeae ×dubia</i> H.Hara	アカバナ科	該当なし
ミズタキソウ	<i>Circaeae ×hybrida</i> Hand.-Mazz.	アカバナ科	該当なし
マルヤマタニタデ	<i>Circaeae ×mentiens</i> Boufford	アカバナ科	該当なし
ウラジロヨウラク	<i>Menziesia ×kamatae</i> Mochizuki	ツツジ科	該当なし
イヌヌマトラノオ	<i>Lysimachia ×pilophora</i> Honda	サクラソウ科	該当なし
ナガバシラヤマギク	<i>Aster ×sekimotoi</i> Makino	キク科	該当なし
アイノコイトモ	<i>Potamogeton ×orientalis</i> Hagstr.	ヒルムシロ科	該当なし
ヒメオヒルムシロ	<i>Potamogeton yamagataensis</i> Kadono et Wieglob	ヒルムシロ科	該当なし
ヒダカエンレイソウ	<i>Trillium ×miyabeicum</i> Tatew. ex J.Samej.	ユリ科	該当なし
オオエノコロ	<i>Setaria ×pycnocoma</i> (Steud.) Henrard ex Nakai	イネ科	該当なし
スナシバ	<i>Zoysia ×hondana</i> Ohwi	イネ科	該当なし
カヅノスゲ	<i>Carex ×akitaensis</i> Fujiw.	カヤツリグサ科	該当なし
アニアイスグ	<i>Carex ×aniaiensis</i> Fujiw. et Y.Matsuda	カヤツリグサ科	該当なし
タヌキナルコ	<i>Carex ×hosoi</i> T.Koyama	カヤツリグサ科	該当なし
モリヨシスグ	<i>Carex ×moriyoshiensis</i> Fujiw. et Y.Matsuda	カヤツリグサ科	該当なし
サドスゲモドキ	<i>Carex ×pseudosadoensis</i> Akiyama	カヤツリグサ科	該当なし
スミカワスゲ	<i>Carex ×sumikawaensis</i> Fujiw. et Y.Matsuda	カヤツリグサ科	該当なし
ミカヅキグサモドキ	<i>Rhynchospora ×hakkodensis</i> Mochizuki	カヤツリグサ科	該当なし
アイノコカンガレイ	<i>Scirpus ×uzenensis</i> Ohwi	カヤツリグサ科	該当なし

留意種(N)

和名	学名	科名	環境省
ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i> DC.	タデ科	絶滅危惧II類
ナガミノツルキケマン	<i>Corydalis ochotensis</i> Turcz. var. <i>raddeana</i> (Regel) Nakai	ケシ科	準絶滅危惧
ヤシャビシヤク	<i>Ribes ambiguum</i> Maxim.	ユキノシタ科	絶滅危惧II類
ノウルシ	<i>Euphorbia adenochlora</i> Morren et Decne.	トウダイグサ科	絶滅危惧II類
スズサイコ	<i>Cynanchum paniculatum</i> (Bunge) Kitag.	ガガイモ科	絶滅危惧II類
ティネニガクサ	<i>Teucrium teinense</i> Kudô	シソ科	絶滅危惧I B類
オオニガナ	<i>Prenanthes tanakae</i> (Franch. et Sav. ex Koidz.) Koidz.	キク科	絶滅危惧II類

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

LP

RH

N

索引 (*は口絵写真掲載)

和名	ランク	ページ		
【ア】				
アイアシ*	EN	118	イノモトソウ.....CR.....35	
アイズスゲ	DD	186	イバラモ.....CR.....64	
アイツヤナシイノデ	RH	190	イブキジャコウソウ.....VU.....156	
アイナエ	EX	30	イブキソモソモ.....EN.....119	
アイノコイトモ	RH	191	イブキトラノオ.....EN.....83	
アイノコカンガレイ	RH	191	イワウサギシダ.....DD.....173	
アイノコキイチゴ	RH	191	イワウメ.....VU.....153	
アイノコクマワラビ	RH	190	イワウメヅル.....NT.....188	
アイノコフユイチゴ	RH	191	イワオウギ.....VU.....148	
アオイチゴツナギ	CR	69	イワオモダカ.....VU.....139	
アオウシノケグサ	EN	118	イワカラマツ.....VU.....144	
アオキ	DD	179	イワギキョウ*	CR.....58
アオチドリ	EN	130	イワキンバイ.....NT.....187	
アオテンツキ*	EN	128	イワスゲ*	CR.....72
アオノイワレンゲ	EN	90	イワタバコ.....EN.....106	
アオノツガザクラ	NT	188	イワツツジ.....EN.....101	
アオフタバラン	NT	190	イワテシオガマ.....NT.....188	
アオホラゴケ	EN	77	イワテハタザオ.....DD.....175	
アオモリマンテマ*	EN	85	イワテヒゴタイ.....EN.....110	
アカネムグラ	EN	103	イワトラノオ.....EN.....78	
アカハナワラビ	DD	172	イワノガリヤス.....NT.....189	
アカヒダボタン*	CR	44	イワヒゲ.....EN.....100	
アカメガシワ	EN	95	イワヒバ.....VU.....136	
アギナシ	NT	189	イワブクロ*	CR.....56
アキノギンリヨウソウ	NT	188	イワフネタチツボスマリ.....RH.....191	
アキノハヤコグサ	DD	182	イワヘゴ.....CR.....36	
アケボノシュスラン	NT	190	イワベンケイ*	CR.....43
アケボノスマレ	EN	97	イワヤシダ.....EN.....82	
アサギリソウ	EX	31		
アザザ*	VU	155		
アズマガヤ	VU	166		
アズマギク	NT	188		
アズマレイジンソウ	EN	85		
アゼガヤツリ	EN	126		
アツモリソウ	EX	33		
アニアイスゲ	RH	191		
アブノメ	CR	55		
アマナ	CR	65		
アマモ	EN	112		
アラシグサ*	CR	44		
アリアケスマレ	NT	188		
アリドオシラン	NT	190		
アワゴケ	DD	181		
アワボスゲ	CR	70		
【イ】				
イイギリ	NT	188	ウキガヤ.....EN.....118	
イイヌマムカゴ	NT	190	ウゴアザミ.....NT.....188	
イガガヤツリ	EN	126	ウゴシオギク*	CR.....59
イケノヤナギ	RH	190	ウコンウツギ.....CR.....57	
イソツツジ	VU	153	ウサギギク.....VU.....159	
イチイ	DD	173	ウサギシダ*	VU.....138
イチゴツナギ	EN	119	ウスイロスゲ*	CR.....71
イチヨウシダ	CR	35	ウスギタンボボ.....EN.....111	
イチヨウラン	VU	171	ウスグミヤマシケシダ.....DD.....173	
イトイチゴツナギ	EN	119	ウスバスマレ.....VU.....150	
イトイヌノハナヒゲ	NT	189	ウスヒメワラビ.....EN.....81	
イトイバラモ*	CR	64	ウスユキソウ.....NT.....189	
イトキヌゲ	VU	169	ウゼントリカブト*	VU.....142
イトクズモ	EX	32	ウチョウラン.....EN.....134	
イトトリゲモ	CR	64	ウマノスズクサ.....NT.....187	
イトモ	VU	164	ウミミドリ.....EN.....102	
イヌアワ	EN	120	ウラジロコヨウラク.....RH.....191	
イヌセンブリ	EN	103	ウラジロナカマド.....EN.....93	
イヌタヌキモ	NT	188	ウラジロハナヒリノキ.....CR.....50	
イヌチャセンシダ*	CR	35		
イヌツゲ	DD	178		
イヌドクサ*	EX	29		
イヌナズナ	EN	90		
イヌニガクサ	EN	104		
イヌヌマトラノオ	RH	191		
イヌハギ	NT	187		
イノデ	NT	187		
イノデモドキ	CR	36		
【ウ】				
ウキガヤ	EN	118		
ウゴアザミ	NT	188		
ウゴシオギク*	CR	59		
ウコンウツギ	CR	57		
ウサギギク	VU	159		
ウサギシダ*	VU	138		
ウスイロスゲ*	CR	71		
ウスギタンボボ	EN	111		
ウスグミヤマシケシダ	DD	173		
ウスバスマレ	VU	150		
ウスヒメワラビ	EN	81		
ウスユキソウ	NT	189		
ウゼントリカブト*	VU	142		
ウチョウラン	EN	134		
ウマノスズクサ	NT	187		
ウミミドリ	EN	102		
ウラジロコヨウラク	RH	191		
ウラジロナカマド	EN	93		
ウラジロハナヒリノキ	CR	50		
【エ】				
エゾアオイスミレ	EN	96		
エゾイタヤメイゲツ	EN	95		
エゾウキヤガラ	VU	170		
エゾオバコ	VU	158		
エゾオオヤマハコベ	CR	40		
エゾオグルマ	CR	62		
エゾオトギリ	EN	89		
エゾスズラン	NT	189		
エゾタケシマラン	DD	183		
エゾツツジ	EN	101		
エゾツリスゲ*	EN	124		
エゾツルキンバイ*	CR	46		
エゾデンダ*	CR	38		
エゾノキツネアザミ*	EN	109		
エゾノコギリソウ	CR	58		
エゾノコリンゴ	EN	92		
エゾノシロバナシモツケ	NT	187		
エゾノタウコギ	NT	188		
エゾノタツボスマリ*	CR	48		
エゾノチャルメルソウ*	CR	44		
エゾノヒメクラマゴケ	NT	187		
エゾノヒルムシロ	VU	163		
エゾノレンリソウ	VU	148		
エゾハタザオ	EN	89		
エゾヒナノウスツボ	VU	157		

索引

エゾヒヨウタンボク*	CR	57
エゾホソイ	VU	164
エゾミクリ	EN	121
エゾヤナギモ	EN	112
エゾルリトラノオ	NT	188
エゾルリムラサキ	CR	53
エゾワサビ*	VU	145
エチゴトラノオ	VU	157
エビネ	NT	189
エビモ	NT	189

【オ】

オオアカウキクサ*	EX	29
オオアカバナ	EX	30
オオイタチシダ	EN	80
オオイトスゲ	EN	125
オオウシノケグサ	DD	185
オオウラジロノキ	CR	45
オオエノコロ	RH	191
オオカサモチ	EN	99
オオガンクビソウ	CR	58
オオキソチドリ	NT	190
オオキヌタソウ*	EN	103
オオクジャクシダ	NT	187
オオクボシダ	CR	38
オオクマザサ	DD	185
オオコメツツジ	EN	101
オオサクラソウ*	CR	51
オオシバナ*	CR	63
オオシラヒゲソウ*	EN	91
オオタカネイバラ*	EN	92
オオタチヤナギ	DD	173
オオタニタデ	RH	191
オオタヌキラン	EN	125
オオツリバナ	NT	188
オオツルツゲ	RH	191
オオトボシガラ	EN	118
オオトリゲモ*	EN	112
オオナンバンギセル	NT	188
オオニガナ	N	191
オオバショウマ	EN	87
オオバツツジ	NT	188
オオバナノエンレイソウ*	EN	115
オオバナノミミナグサ	VU	141
オオハナワラビ	EN	76
オオバノイノモトソウ	EN	77
オオバノハチジョウンダ	EN	77
オオヒゲガリヤス	NT	189
オオヒナノウスツボ	NT	188
オオベニシダ	EN	79
オオホソバシケシダ	RH	190
オオマムシグサ	EN	121
オオマルバノホロシ	NT	188
オオミネザクラ	RH	191
オオミミナグサ	VU	142
オオユリワサビ	VU	145
オガイチゴツナギ*	CR	68
オカウツボ	EN	106
オカスズメノヒエ	CR	66
オカヒジキ	NT	187
オガフウロ	EN	94
オキナグサ*	EN	87
オクキタアザミ	EN	111
オクキヌイノデ	RH	190
オクタマゼンマイ	RH	190
オクノハマイボタ	DD	180
オクヤマオトギリ	DD	175
オクヤマガラシ	EN	90
オクヤマシダ	EN	79
オクヤマワラビ	CR	37
オケラ	VU	160
オサバグサ*	EN	89
オゼオオサトメシダ	RH	190
オゼコウホネ	CR	42
オタカラコウ*	CR	61
オタルスゲ	CR	71

オナモミ	VU	162
オニカナワラビ	EN	78
オニシオガマ	NT	188
オニノヤガラ	NT	189
オニヤブマオ	VU	140
オノエラン	EN	134
オヤブジラミ	EN	99
オヤマソバ	EN	84
オヤリハグマ	CR	62
オンタデ	EN	84

【カ】

カキツバタ	NT	189
カキラン	NT	189
カクレミノ	DD	179
カスマグサ	DD	177
カスミオクチョウジザクラ	RH	191
カヅノスゲ	RH	191
カニコウモリ	VU	160
カニツリノガリヤス*	CR	67
カノコソウ	CR	57
カモノハシ	NT	189
カラクサイノデ	VU	137
カラコギカエデ	VU	150
カラフトダイコンソウ	CR	45
カラフトドジョウツナギ	VU	166
カラフトニンジン*	VU	152
カラフトメンマ	CR	36
カリガネソウ	CR	53
ガリメギイヌノヒゲ	DD	185
カワラアカザ	EN	85
カワラケツメイ	VU	148
カワラサイコ	EN	92
カワラニガナ*	CR	60
カンエンガヤツリ*	CR	72
ガンジュアザミ	CR	59

【キ】

キキョウ*	EN	108
キクムグラ	NT	188
キクモ*	CR	55
キジカクシ	VU	164
キジノオシダ*	CR	34
キセワタ*	CR	54
キダチノネズミガヤ	CR	68
キタノミヤマシダ	CR	37
キヌガサソウ*	EN	114
キヌヤナギ	NT	187
キバナウツギ	VU	159
キバナノアマナ	NT	189
キバナノコマノツメ	VU	150
キバナハタザオ*	CR	43
ギボウシラン	EN	132
ギョウジャニンニク	VU	164
キヨスミウツボ	EN	107
キヨスミヒメフラビ*	EN	79
キンスグ*	CR	72
キンセイラ	EN	129
キンチャクスゲ	EN	123
キンラン	EN	129
ギンラン	NT	189
キンロバイ*	CR	46

【ク】

クサイチゴ	EN	93
クサコアカソ	VU	140
クサスゲ	EN	124
クサボケ	EN	92
クマガイソウ	EN	130
クモイジガバチ	DD	186
クモノスシダ	NT	187
クモマニガナ	NT	189
クリロイスク	CR	70
クリンソウ	DD	180
クルマバツクバネソウ	NT	189
クルマバハグマ	NT	189

クロアブラガヤ	VU	171
クロカンバ	EN	96
クロツバラ	DD	179
クロツリバナ	CR	48
クロテンツキ	EN	127
クロバナロウゲ	VU	147
クロハリイ	EN	127
クロビイタヤ	EN	95
クロヒメシライツソウ	EN	113
クロミノウグイスカグラ	EN	108
クロモ	NT	189

【ケ】

ケキツネノボタン	VU	143
ケゴンアカバナ	VU	151
ゲジゲジシダ*	EN	80
ケハギ	CR	47
ゲンジスミレ	CR	48

【コ】

コアゼテンツキ	VU	170
コアツモリソウ	EN	130
コアニチドリ*	VU	171
コエヤナギ	RH	190
コイチヨウラン	NT	189
コイヌノハナヒゲ	VU	170
コウライイヌワラビ	EN	81
コオニタビラコ*	CR	61
コガシワ	RH	191
コガネイチゴ	EN	93
コケイラン	NT	190
コケスギラン	EN	76
コケヌマイヌノヒゲ	DD	184
コゴメウツギ	VU	148
コシカギク	DD	182
コシジタビラコ*	VU	156
コシノカンアオイ*	EN	88
コジマエンレイソウ	CR	66
コシンジュガヤ	EN	129
コスギラン	EN	75
コスマレ	EN	97
コセイタカシケシダ	RH	190
ゴテンバイノデ	RH	190
コバノイシカグマ	EN	77
コバノイチヤクソウ*	CR	50
コバノカモメヅル	EX	30
コバントンボソウ	NT	190
コハマナス	RH	191
コハリスゲ	EN	122
コホタルイ	NT	189
コマガタケスグリ	NT	187
コマクサ*	CR	43
ゴマノハグサ	CR	56
コミヤマヌカボ	VU	166
コミヤマハンショウヅル	EN	87
コメスキ	NT	189
コメツガ	NT	187
コメツツジ	NT	188
コメバツガザクラ	NT	188
コモチマンネングサ	NT	187
コモチレンゲ	VU	146
コヤブタバコ	NT	188

【サ】

サイゴクイノデ	EN	80
サイゴクベニシダ	CR	36
サギスゲ	NT	189
サギソウ*	CR	74
サクラスミレ	EN	96
サクラタデ	NT	187
サジオモダカ	NT	189
サデクサ	EN	84
サドスゲモドキ	RH	191
サナギイチゴ	VU	147
サマニヨモギ	CR	58
サラサドウダン	NT	188

ザリコミ*	CR	45
サルメンエビネ*	EN	129
サワギク	VU	162
サワシロギク*	VU	160
サフトウガラシ	NT	188
サフラン	EN	131
サンインヒキオコシ*	VU	156
サンショウモ*	VU	139
サンリンソウ	EN	86

【シ】

シオガマギク	NT	188
シオクグ	EN	125
ジガバチソウ	EN	132
シコタンソウ	EN	91
シデシャジン	EX	31
シナノキンバイ*	CR	42
シナノタイゲキ*	EN	94
シノブ	VU	136
シハイスマリ*	CR	49
シバコブシ	RH	191
シャクジョウソウ	NT	188
ショウキラン	NT	190
ジョウロウスゲ	VU	168
シラオイハコベ	CR	40
シラガミクワガタ	EN	106
シラキ	EN	95
シラコスゲ	NT	189
シラタマノキ	NT	188
シラネアオイ	NT	187
シロウマアサツキ*	EN	112
シロガヤツリ	VU	169
シロダモ	DD	174
シロヨメナ	EN	109
シロヨモギ	NT	188
ジンバイソウ	NT	190
ジンヨウイチヤクソウ	EN	99

【ス】

スカシユリ	NT	189
スギカズラ	VU	135
スギナモ*	EN	98
スギラン	EN	75
スジヌマハリイ	EN	126
スズサイコ	N	191
スズダケ	DD	185
スズムシソウ	EN	133
スズメノエンドウ	DD	177
スズラン	EN	113
スナシバ	RH	191
スナビキソウ	NT	188
スハマソウ*	EN	86
スプタ*	CR	62
スミカワスゲ	RH	191
スワキクバスミレ	RH	191

【セ】

セイタカシケシダ	EN	82
セイタカズムシソウ	EN	131
セイタカハリイ	EN	126
セイタカフモトシケシダ	RH	190
セキショウ	EN	121
セキショウモ	NT	189
セナミスミレ	EN	97
センジュガンピ	NT	187
センダイハギ	NT	187
センダイイヤギ	RH	191
センニンモ	VU	163

【ソ】

ソクシンラン	CR	65
ソクズ	NT	188

【タ】

タイトゴメ	DD	176
タカサゴソウ	EN	109

索引

タカサブロウ	VU	161
タカネイバラ*	CR	46
タカネクロスグ	EN	128
タカネコウボウ	EN	116
タカネサギソウ*	CR	75
タカネズメノヒエ	EN	116
タカネミレ*	CR	48
タカネセンブリ*	CR	52
タカネンボ*	EN	134
タカネナデシコ	VU	142
タカネナカマド	CR	47
タカネノガリヤス	NT	189
タカネヒカゲノカズラ	VU	136
タカヤマナライシダ	RH	190
タカユイヌノヒゲ*	VU	165
タガラシ	VU	144
ダケスゲ*	CR	72
タコアシオトギリ*	VU	144
タコノアシ*	EN	91
タシリダケスグ	VU	169
タチコウガイゼキショウ	VU	165
タチモ	NT	188
タテヤマウツボグサ	NT	188
タテヤマスゲ	EN	122
タテヤマリンドウ	VU	154
タニヘゴモドキ	RH	190
タヌキナルコ	RH	191
タヌキモ	NT	188
タマシケシダ	RH	190
タマミクリ*	VU	167
タマミゾイチゴツナギ	EN	119

【チ】

チシマカニツリ*	CR	69
チシマガリヤス	EN	117
チシマゼキショウ*	EN	114
チダケサシ	EN	91
チダケトリアシ	RH	191
チチブイノデ	RH	190
チトセバイカモ	EN	87
チドメグサ	DD	180
チャボゼキショウ	NT	189
チョウカイアザミ*	CR	59
チョウカイフスマ*	CR	40
チョウジギク	NT	188
チョウジソウ*	VU	155
チョウセンキバナノアツモリソウ*	CR	73
チョウセンゴミシ	EN	85
チングルマ	NT	187

【ツ】

ツガザクラ	EN	100
ツガルミセバヤ*	VU	146
ツクシガヤ*	CR	68
ツチアケビ*	EN	131
ツツイトモ	EX	32
ツヤナシイノデ	EN	80
ツルアブラガヤ	EN	128
ツルカノコソウ	NT	188
ツルコケモモ	VU	154
ツルスグ	EN	124
ツルタチツボスミレ	EN	96
ツルナ	EN	84
ツルボ	NT	189
ツルワサビ	RH	191
ツレサギソウ*	EN	135

【テ】

ティカカズラ	CR	52
ティネニガクサ	N	191
テキリスゲ	EN	123
デワノタツナミソウ	NT	188
デンジソウ	EX	29
テンツキ	EN	127

【ト】

トウオオバコ	VU	158
トウゴクシダ	NT	187
トウバナ	EN	104
ドウリヨウイノデ	RH	190
トガクシショウマ	EN	88
トガマダイオウ	RH	191
トキソウ*	VU	172
トケンラン*	EN	130
トチカガミ*	CR	62
トベラ	DD	176
トモエシオガマ	EN	105
トヨハラヤナギ	RH	190
トリゲモ*	CR	64
ドロイ	VU	165

【ナ】

ナガエスグ	NT	189
ナガエミクリ	NT	189
ナガバシラヤマギク	RH	191
ナガバツガザクラ	EN	100
ナガバノウナギツカミ	CR	39
ナガミノツルキケマン	N	191
ナツエビネ	CR	73
ナツカラマツ	DD	175
ナラガシワ	VU	140
ナンゴクナライシダ	EN	78
ナンテンハギ	VU	149
ナンブソウ*	EN	88

【ニ】

ニセコシノサトメシダ	RH	190
ニッコウアザミ*	VU	161
ニッコウシダ	VU	137
ニッコウハリスゲ	EN	122
ニラ	EN	113

【ヌ】

ヌカボタデ*	VU	141
ヌマスゲ	DD	186
ヌリワラビ*	EN	82

【ネ】

ネコシデ	EN	83
ネズ*	EN	83
ネズミモチ	DD	180
ネバリタデ*	CR	39
ネムロコウホネ*	CR	42

【ノ】

ノウルシ	N	191
ノカンヅウ	NT	189
ノジリボダイジュ	RH	191
ノダイオウ	N	191
ノニガナ	EN	110
ノハラクサフジ	NT	187
ノビネチドリ	NT	190

【ハ】

バイカウツギ	CR	45
バイカツツジ	EN	101
バイカモ	NT	187
ハイキンボウゲ	CR	41
ハイケイソウ	NT	189
ハイドジョウツナギ*	VU	166
ハイニガナ	DD	182
ハイネズ	NT	187
ハイハマボッス	NT	188
ハイホラゴケ	DD	172
ハカタシダ	EN	78
ハクウンラン	EN	135
ハクサンイチゲ*	EN	86
ハクサンオオバコ	EN	108
ハクサンサイコ	NT	188
ハクサンスゲ	VU	168
ハクサンタイゲキ*	VU	149

ハクサンチドリ.....NT.....190
 ハクサンフウロ.....NT.....188
 ハクセンナズナ.....CR.....43
 ハコネイノデ.....RH.....190
 ハコネオオクジャク.....RH.....190
 ハコネシケチシダ.....VU.....138
 ハコネシダ*.....CR.....34
 ハシカグサ.....VU.....155
 ハシナガヤマサギソウ.....VU.....171
 ハシバミ.....DD.....174
 ハシリドコロ.....NT.....188
 ハダカホオズキ.....CR.....54
 ハタガヤ.....VU.....167
 ハタザオ.....VU.....145
 ハチジョウナ.....EN.....111
 ハッコウダゴヨウ.....RH.....190
 ハナイカリ.....CR.....51
 ハマアカザ.....NT.....187
 ハマウツボ.....EN.....106
 ハマエノコロ.....NT.....189
 ハマカキラン.....CR.....73
 ハマギク.....DD.....183
 ハマゼリ.....VU.....152
 ハマツメクサ.....NT.....187
 ハマナデシコ.....DD.....174
 ハマハコベ.....VU.....142
 ハマハナヤスリ.....EN.....76
 ハマフウロ*.....EN.....94
 ハマベンケイソウ.....VU.....155
 ハマボウフウ.....NT.....188
 ハマムギ.....EN.....117
 ハライヌノヒゲ.....DD.....184
 ハリオニアザミ*.....CR.....59
 ハリマイノデ.....RH.....190
 ハンゲショウ*.....VU.....144

【ヒ】

ヒエガエリ.....EN.....120
 ヒエスゲ.....EN.....123
 ヒオウギアヤメ.....EN.....115
 ヒカゲハリスゲ.....EN.....124
 ヒゲシバ*.....EN.....120
 ヒゲノガリヤス.....NT.....189
 ヒゴスマレ*.....VU.....151
 ヒサカキ.....EN.....89
 ヒシモドキ*.....EX.....31
 ヒダカエンレイソウ.....RH.....191
 ヒトツボクロ.....NT.....190
 ヒナガリヤス*.....CR.....67
 ヒナザクラ.....NT.....188
 ヒナザサ*.....EN.....117
 ヒナスミレ.....NT.....188
 ヒナチドリ*.....EN.....134
 ヒメアカバナ.....CR.....49
 ヒメイヌノヒゲ.....DD.....184
 ヒメイワカガミ.....EN.....99
 ヒメイワショウブ.....EN.....114
 ヒメイワトラノオ.....CR.....35
 ヒメウスノキ.....NT.....188
 ヒメウメバチソウ.....CR.....44
 ヒメオヒルムシロ.....RH.....191
 ヒメカイウ*.....CR.....69
 ヒメカワズスゲ.....CR.....70
 ヒメキンポウゲ*.....CR.....41
 ヒメクロマメノキ*.....CR.....50
 ヒメクワガタ*.....CR.....56
 ヒメコウガイゼキショウ.....EX.....32
 ヒメゴヨウイチゴ.....NT.....187
 ヒメサクラタデ.....DD.....174
 ヒメサジラン.....VU.....139
 ヒメシオン.....VU.....160
 ヒメシャガ.....NT.....189
 ヒメシャクナゲ.....EN.....100
 ヒメスギラン.....VU.....136
 ヒメスミレ.....DD.....179
 ヒメタヌキモ*.....EN.....107

ヒメナエ*.....EN.....102
 ヒメヌマハリイ.....EN.....127
 ヒメノキシノブ.....EN.....82
 ヒメヒゴタイ.....EN.....110
 ヒメビシ.....VU.....151
 ヒメフタバラン.....EN.....133
 ヒメホタルイ.....NT.....189
 ヒメミクリ.....NT.....189
 ヒメミズニラ.....EN.....76
 ヒメヨモギ.....VU.....159
 ヒメワラビ.....EN.....81
 ヒモカズラ.....NT.....187
 ヒヨウノセンカタバミ.....DD.....177
 ヒヨクソウ*.....VU.....158
 ヒラギシスゲ.....EN.....122
 ヒロードシダ.....NT.....187
 ヒロハイヌワラビ.....VU.....138
 ヒロハカツラ*.....CR.....41
 ヒロハクサフジ.....VU.....149
 ヒロハツリッシュラン.....EN.....131
 ヒロハノエビモ.....VU.....163
 ヒロハノカワラサイコ.....VU.....147
 ヒロハノコウガイゼキショウ.....DD.....183
 ヒロハノコメスキ.....EN.....117
 ヒロハノドジョウツナギ.....NT.....189
 ヒロハノハネガヤ.....EN.....120
 ヒロハハンノキ.....RH.....191

【フ】

フガクスズムシソウ.....EN.....132
 フクジュソウ*.....VU.....143
 フクロシダ.....NT.....187
 フサザクラ.....NT.....187
 フサタヌキモ*.....EN.....107
 フサモ.....NT.....188
 フジカンゾウ.....NT.....187
 フジクマワラビ.....RH.....190
 フシグロセンノウ.....EX.....29
 フジチドリ*.....CR.....74
 フタバムグラ.....NT.....188
 フタバラン.....EN.....133
 フナコシノデ.....RH.....190
 フナバラソウ.....CR.....52
 フモトシケシダ.....VU.....138
 フモトシダ.....CR.....34

【ヘ】

ペニシュスラン.....CR.....74
 ペニバナイチヤクソウ.....VU.....153
 ヘビヤマイヌワラビ.....RH.....190

【ホ】

ホザキイチヨウラン*.....CR.....75
 ホザキノフサモ.....EN.....98
 ホザキノミミカキグサ.....VU.....158
 ホザキヤドリギ.....CR.....38
 ホシクサ.....EX.....32
 ホソコウガイゼキショウ.....EN.....115
 ホソバアカバナ.....EN.....98
 ホソバイヌワラビ.....NT.....187
 ホソバイワベンケイ.....VU.....146
 ホソバガシワ.....RH.....191
 ホソバカンスゲ.....NT.....189
 ホソバコケシノブ.....CR.....34
 ホソバコゴメグサ.....EN.....105
 ホソバタマミクリ.....VU.....167
 ホソバツルリンドウ.....EN.....103
 ホソバノアマナ.....EN.....114
 ホソバノキソチドリ.....NT.....190
 ホソバノシバナ*.....CR.....63
 ホソバフモトシケシダ.....RH.....190
 ホタルブクロ.....VU.....159
 ホッスモ*.....CR.....63
 ホロムイスゲ.....VU.....169
 ホロムイソウ.....VU.....163
 ポントクタデ.....VU.....141

索引

【マ】	
マイヅルテンナンナンショウ*	CR..... 69
マスクサ.....	VU..... 168
マツカサススキ.....	EN..... 128
マツバグ.....	VU..... 168
マツバニンジン.....	EX..... 30
マツムシソウ.....	EX..... 31
ママコナ*	EN..... 105
ママダオシ.....	DD..... 181
マルバウスゴ.....	EN..... 102
マルバオモダカ.....	VU..... 162
マルバグミ.....	VU..... 150
マルバサンキライ.....	CR..... 65
マルバシャリンバイ*	CR..... 46
マルバダケブキ.....	CR..... 61
マルバノサワトウガラシ.....	EN..... 105
マルバヨノミ.....	EN..... 108
マルホハリイ*	EN..... 127
マルヤマタニタデ.....	RH..... 191
【ミ】	
ミカヅキグサモドキ.....	RH..... 191
ミカワイヌノヒゲ.....	DD..... 184
ミギワグラシ.....	EN..... 90
ミクリ.....	NT..... 189
ミクリゼキショウ*	CR..... 66
ミサキカグマ.....	VU..... 137
ミズアオイ*	EN..... 115
ミズオオバコ.....	NT..... 189
ミズキカシグサ.....	EN..... 97
ミズギク.....	NT..... 188
ミズコナラ.....	RH..... 191
ミズスギ*	CR..... 33
ミズタキソウ.....	RH..... 191
ミズチドリ*	EN..... 135
ミズトンボ*	EN..... 132
ミズニラ.....	NT..... 187
ミズハコベ.....	NT..... 188
ミズマツバ.....	EN..... 98
ミズメ.....	VU..... 140
ミズユキノシタ.....	NT..... 188
ミソガワソウ.....	CR..... 54
ミチノククワガタ.....	EN..... 106
ミチノクコゴメグサ*	CR..... 55
ミチノクコザクラ*	CR..... 51
ミチノクサイシン.....	NT..... 187
ミチバタガラシ.....	DD..... 176
ミツデウラボシ.....	NT..... 187
ミツバノバイカオウレン.....	VU..... 143
ミツバフウロ.....	NT..... 187
ミツバベンケイソウ.....	NT..... 187
ミドリアカザ*	CR..... 40
ミドリヒメワラビ.....	EN..... 81
ミドリワラビ.....	CR..... 37
ミネアザミ.....	DD..... 182
ミネズオウ.....	VU..... 153
ミネハリイ.....	VU..... 170
ミノゴメ.....	EN..... 116
ミノボロ*	CR..... 68
ミミカキグサ.....	NT..... 188
ミミコウモリ.....	VU..... 161
ミヤマアカバナ.....	VU..... 152
ミヤマアケボノソウ.....	CR..... 52
ミヤマアズマギク*	CR..... 60
ミヤマイワニガナ*	CR..... 60
ミヤマウスユキソウ*	CR..... 61
ミヤマウラジロイチゴ.....	EN..... 93
ミヤマオシダ.....	RH..... 190
ミヤマオダマキ.....	CR..... 41
ミヤマキタアザミ.....	EN..... 110
ミヤマキヨタキシダ.....	RH..... 190
ミヤマキンバイ.....	VU..... 147
ミヤマキンボウゲ.....	VU..... 143
ミヤマコウゾリナ.....	VU..... 161
ミヤマザクラ.....	NT..... 187
ミヤマシオガマ.....	CR..... 55
ミヤマシキミ.....	DD..... 178
ミヤマシシガシラ.....	NT..... 187
ミヤマシダ.....	NT..... 187
ミヤマダイコンソウ.....	VU..... 146
ミヤマタゴボウ.....	CR..... 51
ミヤマタムラソウ.....	EN..... 104
ミヤマツチトリモチ.....	CR..... 39
ミヤマドジョウツナギ.....	NT..... 189
ミヤマヌカボ.....	VU..... 165
ミヤマヌカボシソウ.....	NT..... 189
ミヤマネズ.....	NT..... 187
ミヤマノガリヤス.....	CR..... 67
ミヤマハタザオ.....	VU..... 145
ミヤマハハソ.....	CR..... 47
ミヤマハンショウヅル.....	EN..... 87
ミヤマヒナホシクサ*	EN..... 116
ミヤマビャクシン.....	VU..... 139
ミヤマフタバラン.....	EN..... 133
ミヤマホソコウガイゼキショウ.....	NT..... 189
ミヤマママコナ.....	VU..... 157
ミヤママンネングサ.....	NT..... 187
ミヤマヨメナ.....	DD..... 181
ミヤマラッキョウ.....	CR..... 65
ミヤマリンドウ.....	VU..... 154
【ム】	
ムカゴソウ.....	EX..... 33
ムカゴトラノオ.....	CR..... 39
ムカゴニンジン.....	VU..... 152
ムカシヨモギ*	CR..... 60
ムクゲシケシダ.....	CR..... 37
ムサシシケシダ.....	RH..... 190
ムシリスミレ*	EN..... 107
ムジナスゲ.....	VU..... 169
ムシャリンドウ*	CR..... 53
ムラサキ*	CR..... 53
ムラサキボタンヅル.....	RH..... 191
ムラサキマユミ.....	CR..... 47
ムラサキミミカキグサ.....	NT..... 188
【メ】	
メガルガヤ.....	EN..... 121
メギ.....	EN..... 88
メタカラコウ.....	NT..... 189
メニッコウシダ.....	NT..... 187
メノマンネングサ.....	NT..... 187
メハジキ.....	VU..... 156
【モ】	
モクゲンジ.....	DD..... 178
モッコク.....	DD..... 175
モメンヅル.....	EN..... 94
モリアザミ.....	EN..... 109
モリヨシスゲ.....	RH..... 191
【ヤ】	
ヤガミスゲ*	CR..... 71
ヤシャゼンマイ*	CR..... 33
ヤシャビシヤク.....	N..... 191
ヤチスギラン.....	NT..... 187
ヤチスゲ.....	NT..... 189
ヤチツツジ*	CR..... 50
ヤチラン.....	CR..... 74
ヤナギスブタ.....	VU..... 162
ヤナギヌカボ.....	VU..... 141
ヤナギラン*	VU..... 151
ヤハズトウヒレン.....	EN..... 111
ヤブソテツ.....	EN..... 79
ヤブツルアズキ.....	DD..... 177
ヤブミョウガ.....	CR..... 67
ヤプラン.....	DD..... 183
ヤマアイ.....	VU..... 149
ヤマアゼスゲ.....	EN..... 123
ヤマウグイスカグラ.....	CR..... 57
ヤマエンゴサク.....	CR..... 42
ヤマカラインフラビ.....	RH..... 190

ヤマサギソウ.....	VU.....	171	ヤワラスゲ.....	EN.....	125
ヤマザクラ.....	DD.....	176	【ユ】		
ヤマジソ.....	EN.....	104	ユウシュンラン.....	CR.....	73
ヤマジノタツナミソウ*	CR.....	54	ユキグニミツバツツジ.....	EN.....	100
ヤマシャクヤク.....	NT.....	187	ユキワリコザクラ.....	VU.....	154
ヤマスカシユリ.....	NT.....	189	ユズリハ.....	DD.....	178
ヤマスズメノヒエ.....	CR.....	66	ユビソヤナギ.....	CR.....	38
ヤマゼリ.....	CR.....	49	【ヨ】		
ヤマタヌキラン.....	VU.....	167	ヨツバシオガマ.....	VU.....	157
ヤマトキソウ.....	VU.....	172	【リ】		
ヤマトグサ.....	CR.....	49	リシリシノブ*	VU.....	137
ヤマトミクリ*	CR.....	70	リュウキンカ*	EN.....	86
ヤマドリトラノオ.....	RH.....	190	リュウノヒゲモ.....	CR.....	63
ヤマノコギリソウ.....	NT.....	188	リンドウ.....	EN.....	102
ヤマハタザオ.....	NT.....	187	リンネソウ*	CR.....	56
ヤマヒロハイヌワラビ.....	RH.....	190	【レ】		
ヤマホソバイヌワラビ.....	RH.....	190	レンプクソウ.....	EN.....	108
ヤマホタルブクロ.....	DD.....	181	レンリソウ.....	EN.....	94
ヤマミズ*	EN.....	83			
ヤマラッキョウ*	EN.....	113			
ヤマルリトラノオ.....	NT.....	188			
ヤラメスゲ.....	CR.....	71			

秋田県の絶滅のおそれのある野生生物2002
—秋田県版レッドデータブック— 植物編
Threatened Wildlife of Akita Prefecture 2002
— Red Data Book of Akita Prefecture — Plants

2002年3月 初版第1刷発行

編集 秋田県生活環境文化部自然保護課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号
電話 018-860-1613 FAX 018-860-3835
発行 秋田県環境と文化のむら協会
〒018-1723 南秋田郡五城目町上樋口字山田沢156-1
電話 018-852-2134 FAX 018-852-5251
